

村石 麻子、田口 武史

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義及び演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：授業時間割：前期：火・5 時限 試験時間割：

概要

現代の日本においてヨーロッパについて学ぶ意味とは何か、この根本的問いと向き合い、実習を通して自分なりの学修の展望を得ることが、ヨーロッパ学入門の全般的目標です。

ヨーロッパないし欧米の文化は、近代以降の世界を強力に牽引し、方向付けてきました。我々の価値観や振る舞いも欧米の強い影響下にあることは間違いありません。ところが21世紀の現在、欧米の支配的地位はあきらかに揺らぎつつあります。グローバル化、世界の多極化です。この新しい時代状況に臨んで、我々の現在地を、すなわちヨーロッパが作り上げてきた世界と人間像とはどのようなものなのかを、多様な観点から反省的に捉える必要があるでしょう。そのためにまず、現代世界が直面している諸問題を把握し、現代（あるいは未来）から過去への視線でヨーロッパ文化を洞察します。

授業の進行・方法

最初の4回は、ヨーロッパ文化の諸相にアクセスし、知識を広げるための技術（インプットの手法）や、得た情報を整理し活用する技術（アウトプットの手法）を紹介するガイダンスに当てられます。

5回目以降は、テキスト『21 Lessons』を用いて、各章の内容を分かりやすく他者に説明する実践練習を行います。テキストの内容を的確に把握するとともに、未知の事項に関する情報を集め、理解を深め、活用すべく整理する手法を身につけるための作業です。口頭発表およびレポートの形で報告してもらいます。レポートにおいては、執筆のマナー、とりわけ引用の作法や、パソコンでの入力技術を身につけることができるよう、指導を行います。

アクティブ・ラーニング

はい / Yes

到達目標

ヨーロッパの文化、思想、歴史の基本的知識を有している(知識・理解)

欠けている知識について情報を集め、簡潔な文章の形で整理することができる(技能)

ヨーロッパ文化に対する学術的興味と探究心を有している(態度・志向性)

自分とは関心のありかを異にする他の学生の発言に耳を傾け、積極的に質問したり意見を述べたりする志向性を有している(態度・志向性)

授業時間外の学習(予習・復習)

指定されたテキストを熟読し、未知の事項について情報を補う。得られた知識を整理し、（担当時は発表のかたちで）他者に説明できるようまとめる(120分)

学習事項を振り返り、コメント（ミニッツペーパー）を書く(60分)

成績評価基準および方法

ヨーロッパ文化の基礎的事項を理解しているか、資料をきちんと活用してレポートを書けるかを中心に、到達目標に照らして評価します。

口頭発表2割、授業の参加度＝発言・質問・コメント（ミニッツペーパー）など3割、レポート5割を目安として、総合的に評価します。

この授業は定期試験を実施しないため、再試験を受験することはできません。

テキスト

ユヴァル・ノア・ハラリ『21 Lessons：21世紀の人類のための21の思考』柴田裕之訳、河出文庫、2021年 ISBN：4309467458

参考書

授業中に適宜指示します。

履修上の留意点

* 授業内での考察や意見交換・議論を重視します。共に授業を作り上げる姿勢を期待しています。
* 入念な予習とコンスタントな出席が必須です。
* 本授業ではカードリーダーの記録に基づいて出席管理します。学生証をカードリーダーにかざし忘れた場合は、必ずその授業の直後までに申し出てください。
* 当科目は定期試験を行わないので、再試験を受験することはできません。

授業計画

第1回 シラバスの説明およびガイダンス：ヨーロッパ文化へのアクセス（スタートアップ授業）（田口・村石）
第2回 ガイダンス：インプットの手法（田口・村石）
第3回・第4回 ガイダンス：アウトプットの手法（田口・村石）
第5回～第15回 『21 Lessons』発表と討論（田口・村石）
第15回 授業アンケートFURIKAの実施

スタートアップ授業

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/8088rszofjez88ejmfny5dtz4zd4gxas>)

堀 雅志

期別：前期 単位数：2 開講年次：3 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：中級 試験実施：有り

授業時間割：前期：水・2 時限 試験時間割：2025/07/24 6 時限

- - - 概要 - - -

ヨーロッパの言語文化 多様性の諸相

ヨーロッパの多様な言語文化を知り，その歴史的，地理的背景を考察します。

音，文字，語彙，文法の違いがどこからくるのか，そしてそれがどう保存され，展開するのかを，古代から紐解いてゆきます。具体的には，民族の移動や宗教の影響，伝説の伝播，辞書の編纂，翻訳などを例に概観します。とくに考察対象とするのは，ドイツ語とフランス語です。

ヨーロッパの言語文化を俯瞰することを通じて，受講者自身にとっての独仏両言語文化の位置づけを確認しましょう。

- - - 授業の進行・方法 - - -

授業は原則として，講義形式で行われますが，各回授業後半にグループ討議を行い，グループごとに議事録（ミニッツペーパー）を提出してもらいます。

- - - アクティブ・ラーニング - - -

はい / Yes

- - - 到達目標 - - -

ヨーロッパの言語の特質およびその文化的背景に関して幅広い知識をうる。(知識・理解)

ヨーロッパの言語文化において用いられる基礎的な専門用語に関する知識をうる。(知識・理解)

ヨーロッパの言語文化をふまえて，言語をめぐるさまざまな現象について考えをまとめることができる。(技能)

ヨーロッパの言語的特徴やその文化的背景に対する興味関心を持つ。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

復習：講義後にノート及び配布プリントを読みかえして言語論の歴史的な流れを把握し，それぞれの時代を特徴づける事象や言語現象に関する基礎知識を確実に身につける。(90分)

予習：授業内容をふまえて指示された言語現象・社会現象について自分の意見をまとめて提出できるようにする。(90分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

ミニッツペーパー，トピック毎の小レポート50%。

ヨーロッパの言語の特質，文化的背景に関する知識が定着しているか（ ）を評価基準とします。

定期試験50%。

言語論において用いられる専門用語を正しく使用し，言語をめぐる現象について考えをまとめることができているか（ ）を評価基準とします。

- - - テキスト - - -

適宜自作プリントを配布します。

- - - 参考書 - - -

泉井久之助『ヨーロッパの言語』，岩波新書，1968年。
ISBN 978-4004121039

根本道也『ドイツの標準語』，同学社，2008年。 ISBN 978-481020455

- - - 履修上の留意点 - - -

ドイツ語学科，フランス語学科両学科学生の受講を歓迎します。

- - - 授業計画 - - -

- 1 オリエンテーション（スタートアップ授業）
- 2 ヨーロッパの言語分布
- 3 文字のはなし
- 4 インド・ヨーロッパ祖語のはなし
- 5 ギリシア語とラテン語
- 6 ゲルマン語とロマンス語
- 7 聖書のはなし
- 8 ヨーロッパ中世
- 9 フランクということば
- 10 トリスタン伝説
- 11 ルネサンス
- 12 啓蒙とことば
- 13 辞書のはなし
- 14 翻訳のはなし
- 15 これからのヨーロッパの言語 討論とまとめ，授業アンケートFURIKAの実施

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/4hpl4w7ppdybwhh2r5ugl6sf1nhgje02>)

川島 浩一郎

期別：前期 単位数：2 開講年次：3 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：中級 試験実施：有り
授業時間割：前期：水・2 時限 試験時間割：2025/07/30 5 時限

- - - 概要 - - -

フランス語学とは、フランス語を対象とした言語学のことを指します。言語学とは、言葉を研究の対象とし、その仕組み、法則性を明らかにしていく学問の一分野です。本講義はフランス語を題材に、言語学という学問分野を体系的に学びます。よりよい理解のためフランス語だけでなく日本語についても取り上げます。基本的に講義形式で進行しますが、受講者が自分自身で考えることを重視するため、発言や個人あるいはグループでの口頭発表を随時求めます。以上を通して、事象を観察する・問題を発見する・法則性を見出す、という言語研究の基本的な姿勢を身に付けます。

【科目の位置づけ】

主に次のことを行うための授業です。
・フランス語学(フランス語を対象とした言語学)の基本的な考え方を学ぶ
・言語を考察の対象とするという(つまり言語を客観化するという)姿勢を身につける
・主に、言語の定義、形態論、音声学、音韻論の基本を学ぶ
・言語に関する論点を検討し、それについて口頭発表をする

【科目のねらい】

主に次のことを目標とします。
・文法的な知識を言語学の理解に活用できる
・授業で学習したフランス語学の基本概念を説明することができる
・適切な手順をふまえて口頭発表をすることができる
・口頭発表に積極的に取り組むことができる

- - - 授業の進行・方法 - - -

・講義形式で進行する
・ただし発言や個人あるいはグループでの口頭発表を随時求める
・自分で考えた(言語に関する)論点について口頭発表を行う

- - - アクティブ・ラーニング - - -

はい / Yes

- - - 到達目標 - - -

文法的な知識を言語学の理解に活用できる。(知識・理解)

授業で学習したフランス語学の基本概念を説明することかてきる。(知識・理解)

適切な手順をふまえて口頭発表をすることかてきる。(技能)

口頭発表に積極的に取り組むことかてきる。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：すでに授業で学習したことを確認し、問題意識を明確にしておいてください。宿題や口頭発表の準備がある場合は、それを行ってください。(90分)

復習：その回の授業内容が理解できているかを確認し、疑問があれば、次回の授業で質問できるように準備してください。(90分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

(1) 評価基準

文法的な知識を言語学の理解に活用できることを評価の基準とする。
授業で学習したフランス語学の基本概念を説明できることを評価の基準とする。
適切な手順をふまえて口頭発表ができることを評価の基準とする。
口頭発表に積極的に取り組めることを評価の基準とする。

(2) 評価方法

定期試験は、フランス語学の基本概念を自分の言葉で、具体例と結びつけて正確に説明できているかどうかを評価の基準とする。
口頭発表は、適切な資料を作成し、定められた発表時間を守って、それぞれの課題にたいする自分の見解と論拠を明確に示していることを評価の基準とする。なお授業時間内での口頭発表をしないことは、大幅な減点の対象となります。

(3) 割合

定期試験の成績60%、口頭発表等の平常点40%で総合的に評価する。

- - - テキスト - - -

教員が配布するプリントによる。

- - - 参考書 - - -

フランス語学小事典 ISBN 978-4-411-02126-7

フランス語学概論 ISBN 978-4-411-02232-5

- - - 履修上の留意点 - - -

言語学の授業です。フランス語の運用能力を高めることを目的とする授業ではありません。
口頭発表の内容と日程を第2回目の授業で決めますので、欠席しないようにしてください。
授業の撮影や録音を、原則、禁止します。ノートを適切にとることも、授業の一部だからです。
講義に出席しなければ、平常点が加算されません。全授業回数の3分の1以上欠席すると単位取得が困難となります。

- - - 授業計画 - - -

第1回 イントロダクション(スタートアップ授業)

授業週開始までに、スタートアップ授業動画を視聴してください。

第2回 言語の定義と言語学(1)

第3回 言語の定義と言語学(2)

第4回 言語記号と形態論(1)

第5回 言語記号と形態論(2)

第6回 言語記号と形態論(3)

第7回 音声学(1)

第8回 音声学(2)

第9回 音声学(3)

第10回 音声学(4)

第11回 音韻論(1)

第12回 音韻論(2)

第13回 音韻論(3)

第14回 音韻論(4)

第15回 まとめ

第15回【まとめ】+【授業アンケートFURIKAの実施】

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/v97hhj6w32y2gir4m00tpzsgm10slblj>)

林 信蔵

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り

授業時間割：前期：木・2 時限 試験時間割：2025/07/31 1 時限

- - - 概要 - - -		- - - テキスト - - -	
・本科目の位置付け 本科目は、比較文学という学問についての概説を行うものである。日本文学を専門とする学生にもそれ以外の学生にも、比較文学とは、どのような学問であるかをイメージできるようにして、今後の学習につなげるように促すものである。 ・本科目のねらい 比較文学という学問が、どのような必要に応じて生まれて来たか、どのような実践例があるのかを概説的に学ぶことで、日本文学の研究において比較文学という方法論がいかに機能するかについて学ぶことができる。また、日本文学を専門としない学生に関しては、分野を超えた学問的知識を分析に活用することでどんなメリットがあるかを学ぶことができる。 本科目の概要： この授業では、比較文学とはどのような学問なのか、どのような方法論を用いるのかを実例に即しながら概説的に見ていく。 基本的には、比較文学という視点から、日本近代文学を眺めることにどのような意味があるのかという問題を中心に扱うが、日本文学の海外での受容、翻訳など、文学やその関連分野に関わる広い問題関心に対応した授業も行う。		授業内でレジュメを配布する。なお、このレジュメは著作権を侵害するものではない。 - - - 参考書 - - - 特になし。 - - - 履修上の留意点 - - - 授業内で毎回、数名の学生を指名して、授業内容に関して発言を求めます。この発言内容によっては、平常点が減点される場合があることを理解して受講すること。 - - - 授業計画 - - - 1) ガイダンス：スタートアップ授業（動画配信） 2) 海外文学の受容（題材の変形 1） 3) 海外文学の受容（題材の変形 2） 4) 海外文学の受容（方法論の模倣 1） 5) 海外文学の受容（方法論の模倣 2） 6) 海外文化の移入（都市文化の移入 1） 7) 海外文化の移入（都市文化の移入 2） 8) 海外文化の移入（絵画と文学者 1） 9) 海外文化の移入（絵画と文学者 2） 10) 海外文化の移入（音楽と文学者 1） 11) 海外文化の移入（音楽の文学者 2） 12) 翻訳論 1 13) 翻訳論 2 14) 比較文学の最近の傾向 15) まとめ・授業アンケートFURIKA	
- - - 授業の進行・方法 - - -		- - - スタートアップ授業 - - -	
本科目は講義形式の授業で、主にスライドを用いて要点を説明する。ただし、授業内で学生を指名し、意見を求めることがある（おおよそ 5 問ほど）。また、授業後、ポータルのアンケート機能を用いて授業内容を確認する小テストを課すことがある。そして、後日、小テストの解説を行いフィードバックする。		スタートアップ授業 (https://fukuoka-u.box.com/s/i671ciheb5ml4vu8qoi4xdnvcirp77rt)	
いいえ / No			
- - - 到達目標 - - -			
比較文学的方法の特徴を理解し、説明できる。(知識・理解) 分野横断的な方法論の利点を理解することができる。(知識・理解)			
- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -			
配布されたプリントの内容で次回授業に関係ある部分を予習しておく。(予習)(60分) 授業後、授業内容を復習し疑問点を明確にする。(復習)(60分) 小テストの解答や質問・コメントを所定の様式に書き込む。(60分)			
- - - 成績評価基準および方法 - - -			
定期試験実施科目			
「比較文学的方法の特徴」と「分野横断的方法論の利点」に関する理解という到達目標を評価するために以下のような評価基準を設定している。 ・小テスト：成績全体の20％ ・小レポート：成績全体の20％ ・平常点：成績全体の10％ ・定期試験：成績全体の50％ ・小テストと定期試験に関しては、主に「比較文学的方法の特徴」の理解を評価するために、授業内容を満遍なく理解し、その内容を説明できるかという点を評価するための問題を作成する。 ・小レポートに関しては、1000字程度で「分野横断的な方法論の利点」の理解を評価するためのテーマを設定する。 ・授業内で積極的に学生として責任を持った発言ができるかを平常点として評価する。			

恩田 正行

期別：前期 単位数：4 開講年次：2 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：初級 試験実施：有り

授業時間割：前期：月・3時限, 4時限 試験時間割：2025/07/24 5時限

- - - 概要 - - -

- - - テキスト - - -

福岡大学経済学部と他学部の履修生を対象とする労働経済学の講義です。この労働経済学の講義では、応用ミクロ経済学としての労働経済学を解説します。理論の解説と応用例の紹介をすることで、理論が労働市場の現象を分析する道具であることを示すように心がけます。労働供給（基礎編）、労働需要（基礎編）、労働市場の均衡、補償賃金格差、人的資本投資などに関連する理論モデルを、教科書に沿って解説します。この科目の講義は、講義形式で進めます。

大森 義明(2008年)「労働経済学」日本評論社 3,500円
ISBN 9784535555662

- - - 参考書 - - -

Serge Lang 訳者 松坂 和夫 片山 孝次「解析入門 原書第3版」 ISBN 9784000051514
川口 大司 「労働経済学---理論と実証をつなぐ」
ISBN 9784641165076
大森義明 永瀬伸子 「労働経済学をつかむ」 ISBN 9784641177307

- - - 授業の進行・方法 - - -

スライドを用い、数式の導出などを板書で補足する講義を実施します。

- - - アクティブ・ラーニング - - -

いいえ / No

- - - 到達目標 - - -

市場の労働供給曲線を導出できるようになる。(知識・理解)

市場の労働需要曲線を導出できるようになる。(知識・理解)

労働市場均衡モデルで政策の効果を理論分析できるようになる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：教科書の該当箇所を読んでください。(90分)

復習：講義と教科書で定義された労働経済学の用語を、覚えてください。(90分)

微分積分学に不安のある、または学んだことがない履修生：解析学の知識なくして、近代経済学を理解できません。参考書「解析入門 原書第3版」の全ての問いを解くことをお勧めします。(180分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

中間試験(40%)と定期試験(60%)の合計100%で評価します。中間試験は第15回目に実施します。

中間試験で、履修生がどの程度次の二つの到達目標に関する評価対象を修得しているかを測定します。

1.労働経済学の用語を修得しているか否か。

2.理論モデルで経済主体である労働者や企業の行動を説明できるか否か。

定期試験で、履修生がどの程度次の二つの到達目標に関する評価対象を修得しているかを測定します。

1.労働経済学の用語を修得しているか否か。

2.理論モデルで経済主体である政府、（進学を検討している学生を含む）労働者、企業の行動を説明できるか否か。

- - - 履修上の留意点 - - -

解析学を応用し、数式でこの講義の内容を理解するように努めてください。

- - - 授業計画 - - -

第1回目：イントロダクション（スタートアップ授業）

第2-8回目：労働供給

第9-14回目：労働需要

第15回目：中間試験

第16回目：前半の復習（中間フォローアップ授業）

第17-20回目：労働市場の均衡

第21-26回目：補償賃金格差

第27-29回目：人的資本投資

第30回目：補償賃金格差の続きとまとめ・授業アンケート
FURIKAの実施

合計30回の授業を、上記の予定で実施する予定です。しかし、授業の進捗度に応じ、予定を変更する可能性があります。

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/xy0r9sk8z5w6by591hfdfcuog61pphdi>)

渡邊 淳一

期別：前期 単位数：2 開講年次：3 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：中級 試験実施：無し
授業時間割：前期：水・2時限 試験時間割：定期試験なし

概要

テキスト

今日の社会では人間関係の重要性は十分に認識され、カウンセリングやコーチングなどの実務が多く企業の企業や組織において必要不可欠なものとなっています。「人間関係論A」は「ベンチャー起業論」を補完する関連科目として、社会や組織での人間関係を実務家の方々によるオムニバス形式により、現場に則した観点からケーススタディとして展開していきます。

2000年にノーベル経済学賞を受賞したジェームズ・ジョセフ・ヘックマンの研究を始め、近年の調査や研究で知能指数やペーパーテストなどでは測ることができない非認知能力と呼ばれる能力が、数値化できる認知能力以上に人生の成功に重要な役割を果たしていることが明らかになっています。非認知能力にはいくつかのがありますが、その代表的なものとして「他者と協力できる社会的能力やコミュニケーション力」があります。

「より良い人間関係を作るためにはどうコミュニケーションすれば良いのか」が「人間関係論A」のテーマです。この授業で学ぶことによって、あなたが近い将来社会に出たときに「どうすれば組織の劣化を防ぎ、業績アップを実現できるか」をスムーズに理解でき、組織を担い頼りにされる人材に成長できると思います。

また、現場経営の実務や業界の現状に関する話しも当然出てきます。卒業後の進路を考える際に役に立ててください。この授業で学んだことを知識として身に付けるだけでなく、実践することで自分の成長につなげていくことを期待しています。

授業の進行・方法

授業は講師の方の講義に引き続き、学生からの質問を含め、講師と学生との間のディスカッションを進めていきます。積極的な授業参加が求められます。

アクティブ・ラーニング

はい / Yes

到達目標

社会や組織における人間関係の重要性を認識し、社会や組織において生産性を上げるより良い人間関係を構築する具体的な方法を習得している。(態度・志向性)

授業時間外の学習(予習・復習)

授業に来られる講師やその方の会社などをホームページなどで調べて、講義の予備知識としてください。それを予習とします。(30分)

毎週、レポートの提出を課します。レポートでは
1) ノートや配付資料を読み直し、講義内容を1,000字から1,500字程度で要約し、
2) それに対する(感想ではなく)自分の意見や考えを1,000字から1,500字程度にまとめてください。講義の理解を確かにするためです。それを復習とします。(150分)

成績評価基準および方法

評価は下記の10回以上の条件を満たしたうえで、レポート(約70%)と授業中の発言・質問など(約30%)で行います。
レポートは到達目標の達成度を測るために、
1) 講義の本旨を捉え内容を的確に要約できているか
2) 講義の内容に対して(感想ではなく)自分の考え・意見を明瞭に表現できているかを評価基準とします。

レポートは講義があった週の金曜日の16:30までに、
1) プリントアウトしたものを文系センター1階のレポートボックスに入れること、それと、2) レポートを指定されたアドレスにメールにファイルを添付して送ること。
両方をおこなって「提出」とみなします。

期限を過ぎたレポートは一切受け付けません。
レポートをメールで送信する場合は、必ず@cisから送ってください。
この講義はその性格上、毎回出席することが求められます。したがって、14回の対面授業のうち出席しかつレポートを提出する回数が10回に満たなければ、出席停止や忌引などの例外的なことがない限り(就活や部活、教育実習による欠席は考慮しません)、成績は不可(60点未満)とします。もちろん、10回以上出席すれば必ず60点以上になるというわけではありません。
欠席や遅刻、授業中の居眠りなどに対しては厳しく対応します。減点の対象になるということです。
レポートや出席に関して一度でも不正行為をした者の成績は不可(60点未満)とします。
定期試験を実施しないため、追試験および再試験を受験することはできません。

なし

履修上の留意点

この科目は登録制限科目です。授業を欠席するような人は登録の申し込みをしないでください。

緊張感を持って講義に出席してください。学外の講師の方々が貴重なお時間を割いて福岡大学に来てくださいます。受講生には失礼のない態度を求めます。

この講義用にB5版のノートを用意し、講義を聞く際にはノートをきちんと取るようにしてください。授業中のノートパソコンやタブレット、スマホの使用は禁止します。ノートパソコンを使った学生の理解度は紙とペンを使った学生よりかなり悪かったというさまざまな研究や実験の結果があるからです。この講義でもその傾向は強くあります。

講義に出席の際は学生証を必ずカードリーダーを通してください。

授業計画

1. 渡邊淳一・イントロダクション(スタートアップ授業)「アカデミック・インテグリティ」
 2. 4/16 渡邊淳一・安恒陽平(積水ハウス福岡支社営業)「相手基準と表現」
 3. 4/23 渡邊淳一「ゲストスピーカー:マイクコニシ・ゴルフティーチングプロ」
 4. 4/30 渡邊淳一・藤重知子(合同会社ふじこカンパニー代表)「声と話し方でプラスコミュニケーション」
 5. 5/7 渡邊淳一・高橋美紀(コーディアル社会保険労務士事務所代表)「感情のコントロールとメンタルヘルス」
 6. 5/14 渡邊淳一・高巣和宏(中央復建コンサルタンツ株式会社業務推進室サプリーダー)「コミュニティ形成の傾向と対策」
 7. 5/21 渡邊淳一・只松崇(ビッグ・フィールド・マネジメント(株)取締役)「アクティブリスニング」
 8. 5/28 渡邊淳一・有吉みよ子((有)シアンデザインマネジメント代表)「広告と広報」
 9. 6/4 渡邊淳一・大野尚(ビッグ・フィールド・マネジメント(株)代表取締役)「企業の未来は非財務情報にある」
 10. 6/11 渡邊淳一・平川雅樹((有)アサム代表取締役)「手書き通信文による人間関係構築」
 11. 6/18 渡邊淳一・只松崇(ビッグ・フィールド・マネジメント(株)取締役)「アサーション」
 12. 6/25 渡邊淳一・杉岡世邦((有)杉岡製材所取締役社長)「日本の森林 宝の山」
 13. 7/2 渡邊淳一・林敏之((株)MARUプロ 代表取締役社長)「スポーツを通しての人間教育」
 14. 7/9 渡邊淳一・平田淳二(joyent!代表)「主体性と共働性」
 15. 7/16 渡邊淳一・大城大((株)グスク代表取締役)「社員教育と子育て」
- 最終回の授業でFURIKAを実施します。

スタートアップ授業

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/93u5imaezwrsukmg8141y3u78jm0obe7>)

杉本 宏幸、木藤 亮太、與田 靖子

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：有り 科目水準：入門 試験実施：有り
授業時間割：前期：月・1 時限 試験時間割：2025/07/23 5 時限

概要

流通・マーケティング入門は、福岡大学商学部商学科でマーケティングや流通を学ぶ上で基礎になる科目です。商学科でマーケティングや流通を学ぶとする人は、必ずこの科目を受講するようにしてください。
あなたが普段小売店で何気なく買う商品がどのように流通してきたのか、それはどう製造されたのか考えてみたことはあるでしょうか。あなたが小売店で見る商品がどう並べられているのか考えてみたことはあるでしょうか。私たちが今日もその生活を滞りなく過ごせるのは、流通やマーケティングの仕組みが円滑に機能しているからです。
流通、マーケティングは実践的な分野です。実践的に学ぶために、普段から現実を観察していただきます。同時に、現実とは理論という知識体系で裏づけられる必要もあります。理論と現実の往復をこの授業では求めます。
授業では地域やブランディングを理解するために、ビジネスの最先端で活躍する二人の実務家を招きます。木藤先生は日南市油津商店街はじめまちづくりの実務経験を活かし、まちや地域での最新の取り組みについて、與田先生は広告代理店での実務経験を活かし、九州・福岡の最前線で働くマーケターの取り組み等について解説します。

授業の進行・方法

講義形式で実施します。流通・マーケティングに関する課題（全8回）を行います。

アクティブ・ラーニング

いいえ / No

到達目標

現実の流通システムで、メーカー、流通業者等がどのような役割を持っているか、業者間にどのような利害関係や利益（率）の違いが存在するのか、それらは何故生じるのか、事実在即して理論的に説明できる。(知識・理解)

地域はどのように創られているのか、それらを創るプレーヤーの取り組みと意義を理解し、他地域と比較しながら事実在即して説明できる。(知識・理解)

現実の企業・組織がマーケティング活動を遂行する上でどのような課題があるか発見して具体的に説明でき、マーケティング戦略の枠組み（STPおよび4P）を用いて事実を整理できる。(技能)

現実の企業・組織がマーケティング活動を遂行する上での課題をどう解決すべきか第三者が理解できるように説明できる。(技能)

授業時間外の学習（予習・復習）を通じて、それらと現実との対応や参考文献などの内容について自主的に考察でき、授業外でも学びを深めることができる。(態度・志向性)

授業時間外の学習(予習・復習)

毎回の授業の内容を各自で復習し、自分で整理してノートを作成すること(40分)

配布資料に記載されている参考文献・参考資料を各自ですべて探して読むこと(30分)

授業で指示するニュース番組や経済番組等を毎週必ず見ること(120分)

配布資料で指示する各授業内容にあわせた予習および復習(30分)

成績評価基準および方法

成績評価基準は到達目標に準じ、定期試験(40%)、課題提出全8回(60%)で評価します。提出期限を過ぎた課題は、理由に関わらず受理しません。課題は、オンラインでの提出を予定していますので、インターネットに接続できる環境を用意してください。
定期試験の受験は必須です。定期試験を受験しなかった場合、当該科目の成績は「放棄（H）」となります。

テキスト

指定しません。
授業ではオンラインで資料を配布します。非常勤講師の授業は資料の配布がありません。

参考書

参考書は必要に応じて入手してください。
崔容熏・原頼利・東伸一、『はじめての流通』、有斐閣、2014年、1,900円（税別）、ISBN 978-4-641-15010-2
久保田進彦・澁谷覚・須永努、『はじめてのマーケティング』、有斐閣、2013年、1,800円（税別）、ISBN 978-4-641-15003-4
阿部誠、『東大教授が教えるヤバいマーケティング』、KADOKAWA、2019年、1,500円（税抜）、ISBN-13:978-4-046-04060-2
東伸一他、『流通と商業 データブック』、有斐閣、2022年、4,200円（税抜）、ISBN-13:978-4-641-16599-1

履修上の留意点

・授業に関係ない私語、遅刻等に対しては厳しく対処します。
・課題は、オンラインで実施することを予定しています。講義の資料はオンラインで配布することを予定しています。インターネットに接続できる環境を用意してください。
・この授業はBYODではありませんが、授業中の学習を効果的にするために、ノートパソコンなどの活用も勧めます。

授業計画

- 1 イントロダクション（スタートアップ授業）：杉本
- 2 マーケティングの基礎理論（1）：杉本
- 3 マーケティングの基礎理論（2）：杉本
- 4 マーケティング戦略（1）：杉本
- 5 マーケティング戦略（2）：杉本
- 6 マーケティング戦略（3）：杉本
- 7 マーケティング戦略（4）：杉本
- 8 流通の基礎理論（1）：杉本
- 9 流通の基礎理論（2）：杉本
- 10 流通企業の活動と取引（1）：杉本
- 11 流通企業の活動と取引（2）：杉本
- 12 流通企業の活動と取引（3）：杉本
- 13 地域とまちづくり：木藤、杉本
- 14 地域とマーケティング：與田、杉本
- 15 講義の整理と授業アンケート FURIKAの実施：杉本
- 以上の講義進行予定は、受講生の理解度や新たに扱うべきテーマが生じた場合に応じて、順番等が変更されることがあります。
- スタートアップ授業

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/7ytd8ept19ws7rv4mdagjd7bo5qt52r3>)

長束 航

期別：前期 単位数：2 開講年次：2 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：初級 試験実施：有り
授業時間割：前期：月・二部 1 時限 試験時間割：2025/07/28 夜 1 限

- - - 概要 - - -

会計とは、ある経済主体に関する経済事象を、主として貨幣額で測定し、それを記録・整理して作成した情報（会計情報）を、当該経済主体の利害関係者に報告する一連の行為をいう。この会計という行為を研究対象とする学問が、会計学である。

会計は、個人という小さい単位から国家という大きい単位まで様々な経済主体によって行われており、それぞれ重要な役割を果たしているが、特に企業において会計が果たしている役割は、どんなに大きく評価してもしすぎることはない。経営意思決定、財産管理、資金調達、人事考課、配当可能額の算定、課税所得の計算など、あらゆる場面で会計情報が利用される。企業会計が、「ビジネスの言語」と称されることがあるのも、あながち大げさな表現というわけではない。

したがって、会計学も企業会計を研究の対象とすることが多く、この講義でも企業会計を中心として取り扱う。なお、企業会計の研究分野は、企業外部の利害関係者（投資家、株主、銀行、税務署など）に対して報告される会計情報を研究対象とする「財務会計論」という分野と、企業内部の利害関係者（経営者など）に対して報告される会計情報を研究対象とする「管理会計論」という分野に大別される。この講義では、やや「財務会計論」の分野を重視した講義を行うが、それは企業会計が、最終的には企業外部の利害関係者向けの内容・形式で会計情報を作成しなければならないという制約のもとで行われているからである。

この講義は、皆さんが会計学を学び始めるにあたって、まず知っておくべき会計学という学問の全体像を理解してもらうためのものである。「財務会計論」、「管理会計論」、「監査論」、「税務会計論」、「経営分析論」その他の会計諸学を専攻するための基礎としてはもちろん、昨今、社会で強く求められるようになってきている「数字の読めるビジネス・パーソン」をめざすための第一歩として、ぜひ履修してほしい。

- - - 授業の進行・方法 - - -

会計学総論の講義は、毎回最初に前回の質問への回答や補足説明を行ったうえで講義を行い、その後提出課題をformsで出してもらう形で進めていく。提出課題の提出期限は厳守すること。
なお、講義資料（スライド資料）はPDF形式で配信するので、各自事前にプリントアウトしたうえで、授業を受けながら空欄を補充し、さらに必要に応じてメモを書き加えて完成させること。

- - - アクティブ・ラーニング - - -

いいえ / No

- - - 到達目標 - - -

会計の制度的および理論的フレームワークに関する基礎知識を身につけている。(知識・理解)

会計の制度的および理論的フレームワークを理解し、企業会計の現状と課題を説明することができる。(技能)

会計の制度的および理論的フレームワークを理解し、企業会計の課題に対する解決策を説明することができる。(技能)

予習・復習や提出課題への取り組みなどの授業時間外の学習を通じて、会計学に関する関心を高め、授業の内容以上に学びを深めることができる。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前に授業管理から配信した講義資料をダウンロードし、各回の学修内容を概観しておくこと。(60分)

授業の内容を復習して上記講義資料にメモ等を加筆し、資料の完成度を高めるとともに、毎回の課題を提出すること（forms）。(120分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

原則として定期試験により評価する。ただし、授業後に提出してもらう課題の取り組み状況により、若干の加点を行うことがある（最大10点程度）。些末な知識の有無よりも、会計学の全体像の把握および会計の理論的フレームワークと制度的フレームワークの理解がなされているかどうかを単位認定の判断基準とする。

- - - テキスト - - -

特に使用しない。

- - - 参考書 - - -

中央経済社編『新版会計法規集』第12版 中央経済社
ISBN 978-4502393013
広瀬義州『財務会計』第13版 中央経済社 /
978-4502163418

- - - 履修上の留意点 - - -

会計を理解するためには、簿記の知識がある程度必要となる。したがって、「簿記原理」を履修済みであることが望ましい。

- - - 授業計画 - - -

- 1 会計および会計学の意義と種類（スタートアップ授業）
- 2 財務会計の制度的フレームワーク
金融商品取引法会計
- 3 財務会計の制度的フレームワーク
会社法会計
- 4 財務会計の制度的フレームワーク
会計基準
- 5 財務会計の制度的フレームワーク
財務諸表監査制度
- 6 財務会計の理論的フレームワーク
会計公準と概念フレームワーク
- 7 財務会計の理論的フレームワーク
企業会計原則の一般原則
- 8 財務会計の理論的フレームワーク
財務会計の目的と会計情報の質的特性
- 9 財務会計の理論的フレームワーク
資産負債アプローチと収益費用アプローチ
- 10 財務会計の理論的フレームワーク
財務諸表の表示と財務諸表分析
- 11 財務会計の理論的フレームワーク
資産概念と資産の測定
- 12 財務会計の理論的フレームワーク
負債概念と負債の測定 / 資本概念と資本維持
- 13 財務会計の理論的フレームワーク
収益および費用の意義と計上基準
- 14 財務会計の理論的フレームワーク
財務報告——財務諸表と非財務情報
- 15 管理会計の意義
授業アンケートFURIKAの実施

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/jsv9nsdo517w710ncytfjv8v6ktlslwh6>)

森田 泰暢

期別：前期 単位数：2 開講年次：2 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：初級 試験実施：有り
授業時間割：前期：火・3時限 試験時間割：2025/07/29 5時限

- - - 概要 - - -

本講義では、地域経営という複雑なテーマを、コミュニティという概念を基軸に理解していきます。地域活性化には、企業、行政、NPO、そして住民といった多様な主体の連携が不可欠です。講義では、「コミュニティ・オブ・プラクティス」や「コミュニティキャピタル」などのコミュニティ作りに関する理論を学び、ゲスト講師の実体験に基づいた事例を通して、重層的に理解を深めます。

具体的には、事業承継、まちづくり、地域文化の継承、地域での教育、地域に根ざしたスタートアップといった多様なテーマを扱います。これらのテーマを通して、地域経営における主体間の連携と協働の重要性を理解し、地域活性化に貢献できる実践的な知見を習得します。

講義では、自治体の首長、地域企業経営者、NPOリーダー、スタートアップ経営者といった多様なゲスト講師も招き、それぞれの立場から地域経営の実践について語っていただきます。

- - - 授業の進行・方法 - - -

授業は、教員が作成した講義資料や企業の事例に係る動画をもとに講義形式で行います。毎回の授業内容を確認するためにGoogleFormを用いた講義の整理や振り返りに関する課題に取り組んでいただきます。また、数回の授業ではSlidoなどのインタラクティブなツールを用いて、質疑応答を通して理解を深めていきます。

- - - アクティブ・ラーニング - - -

はい / Yes

- - - 到達目標 - - -

本講義に出てくる理論や概念の説明ができる(知識・理解)

本講義に出てくる理論や概念を地域内で応用する場合に重要な点が何か説明できる(知識・理解)

地域のプレイヤーが語るケースに現れる課題について理解し、その背景と要点について説明できる(技能)

地域のプレイヤーが語る課題に対して、そのプレイヤーが取った対応、背景そしてその論理について説明ができる(技能)

地域のプレイヤーの実践と講義内で学ぶ理論や概念とを結びつけ、地域の担い手として持つべき姿勢を言語化できる(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

前回の内容を復習し、わからない点は質問をしておくこと(60分)

講義で習った理論に関連するトピックについて調べて学習をしておくこと(60分)

講義内容についてのまとめと振り返りを行うこと(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験（70％）と講義内課題（30％）で評価を行います。定期試験では用語理解、理論の理解、ゲスト講師の内容に関する理論を用いた分析をし、課題解決策について問う予定です。講義内課題はゲスト講師による講義内容に関して出します。

- - - テキスト - - -

テキストは指定しません。講義はレジュメをもとに進めます。

- - - 参考書 - - -

コミュニティ・オブ・プラクティス: ナレッジ社会の新たな知識形態の実践 ISBN 4798103438
コミュニティを変えるアクションリサーチ: 参加型調査の実践手法 ISBN 4623094766
コミュニティー・キャピタル -- 中国・温州企業家ネットワークの繁栄と限界 ISBN 4641164827

- - - 履修上の留意点 - - -

ゲスト講師が来ることもあります。遅刻はしないように気を付けてください。積極的なコメントや質問をお願いします。

登録については『学修ガイド』の「登録制限科目について」を参照してください。

- - - 授業計画 - - -

1. 地域経営論とは（スタートアップ授業）
2. 地域経営に係る理論
3. 地域企業と事業承継
4. 事業承継とまちづくり
5. 事業承継と親子関係
6. コミュニティキャピタル
7. 自治体の経営
8. 地域コミュニティと学び
9. 地域文化とビジネス
10. ビジネスで文化を残す
11. 文化財と不動産ビジネス
12. 地域コミュニティとスタートアップ
13. 地域におけるコミュニケーション
14. コミュニティを変えるアクションリサーチ
15. まとめ（授業アンケートFURIKAの実施）

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/so1pnjf2topps8fmweeriuck3at9h4ex>)

森田 泰暢

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
授業時間割：前期：火・4 時限 試験時間割：2025/07/28 2 時限

- - - 概要 - - -

本講義では1年生向けに「経営とはなにか」「そもそもどのような問題を扱い、現代社会で経営学はどのように活用されているのか」といった問いへの理解を深め、学生自身が今後、経営に関する専門を各自で深めていくための基礎を築くことを目的とします。消費者や利用者として過ごす日々から、それらを提供する企業側へと視点を移し、知識や理論を学ぶ中で日常に新たな視点を増やしていきます。大学入学後に取り組みまれるアルバイトやサークル活動なども経営とは関連が深く、非常に身近な現象です。受講者には自分自身の生活と結びつけながら、講義内容を理解していく想像力と好奇心が求められます。また実際に企業に勤務する方からの講演も予定しています。

- - - 授業の進行・方法 - - -

授業は、教科書に加えて教員が作成した講義資料や企業の事例に係る動画をもとに講義形式で行います。毎回の授業内容を確認するためにGoogleFormを用いた講義の整理や振り返りに関する課題に取り組んでいただきます。また、数回の授業ではSlidoなどのインタラクティブなツールを用いて、質疑応答を通して理解を深めていきます。

- - - アクティブ・ラーニング - - -

はい / Yes

- - - 到達目標 - - -

経営に関する基礎知識を身につけ、知識に基づいて身近な企業の活動を理解することができる。(知識・理解)

学んだ知識を用いて、企業の現状とあるべき姿の差異について説明することができる。(技能)

学んだ知識を用いて、現状とあるべき姿の差異を埋めるアイデアを提示できる(技能)

教員が提示した資料以外の情報を含めてレポート作成ができる(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

講義に関連した資料を配布するので、目を通して復習し、分からない点を質問すること(60分)

講義内容に関連するニュースを調べ目を通しておくこと(60分)

講義内容に関するまとめと振り返りを行うこと(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

レポート40%（20%を2回）と期末試験60%で評価をします。レポートでは企業を取り巻く環境要因への理解（20%）、企業内部のマネジメントへの理解（20%）、期末試験では各種用語や理論について理解できているかどうか（60%）、について問います。

- - - テキスト - - -

高橋伸夫編著(2011)『よくわかる経営管理』ミネルヴァ書房、ISBN:978-4623061044

- - - 参考書 - - -

『1からの経営学』（第3版） ISBN 978-4502375217
授業で習った項目や概念について、もう少し深く知りたい場合におすすめできる経営学の基本書です。

- - - 履修上の留意点 - - -

・受講に際しての条件はありません。

- - - 授業計画 - - -

- 1 イン트로ダクション（スタートアップ授業）
- 2 企業経営の全体像
- 3 経営学とは何か？
- 4 企業と会社：株式会社の仕組み
- 5 企業経営に関する講演1
- 6 企業と金融市場
- 7 企業と労働市場
- 8 企業とアウトプット市場との関わり
- 9 企業の競争戦略
- 10 企業経営に関する講演2
- 11 イノベーションと商品開発
- 12 マクロ組織の理論
- 13 ミクロ組織の理論
- 14 企業経営に関する講演3
- 15 まとめ（授業アンケートFURIKAの実施）

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/k08alj5kq3mbjtyqfojnpiawad8libxj>)

長束 航

期別：前期 単位数：2 開講年次：3 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：初級 試験実施：有り
授業時間割：前期：金・3時限 試験時間割：2025/07/29 1時限

- - - 概要 - - -

会計とは、ある経済主体に関する経済事象を、主として貨幣額で測定し、それを記録・整理して作成した情報（会計情報）を、当該経済主体の利害関係者に報告する一連の行為をいう。この会計という行為を研究対象とする学問が、会計学である。

会計は、個人という小さい単位から国家という大きい単位まで様々な経済主体によって行われており、それぞれ重要な役割を果たしているが、特に企業において会計が果たしている役割は、どんなに大きく評価してもしすぎることはない。経営意思決定、財産管理、資金調達、人事考課、配当可能額の算定、課税所得の計算など、あらゆる場面で会計情報が利用される。企業会計が、「ビジネスの言語」と称されることがあるのも、あながち大げさな表現というわけではない。

したがって、会計学も企業会計を研究の対象とすることが多く、この講義でも企業会計を中心として取り扱う。なお、企業会計の研究分野は、企業外部の利害関係者（投資家、株主、銀行、税務署など）に対して報告される会計情報を研究対象とする「財務会計論」という分野と、企業内部の利害関係者（経営者など）に対して報告される会計情報を研究対象とする「管理会計論」という分野に大別される。この講義では、やや「財務会計論」の分野を重視した講義を行うが、それは企業会計が、最終的には企業外部の利害関係者向けの内容・形式で会計情報を作成しなければならないという制約のもとで行われているからである。

この講義は、皆さんが会計学を学び始めるにあたって、まず知っておくべき会計学という学問の全体像を理解してもらうためのものである。「財務会計論」、「管理会計論」、「監査論」、「税務会計論」、「経営分析論」その他の会計諸学を専攻するための基礎としてはもちろん、昨今、社会で強く求められるようになってきている「数字の読めるビジネス・パーソン」をめざすための第一歩として、ぜひ履修してほしい。

- - - 授業の進行・方法 - - -

会計学総論の講義は、毎回最初に前回の質問への回答や補足説明を行ったうえで講義を行い、その後提出課題をformsで出してもらう形で進めていく。提出課題の提出期限は厳守すること。
なお、講義資料（スライド資料）はPDF形式で配信するので、各自事前にプリントアウトしたうえで、授業を受けながら空欄を補充し、さらに必要に応じてメモを書き加えて完成させること。

- - - アクティブ・ラーニング - - -

いいえ / No

- - - 到達目標 - - -

会計の制度的および理論的フレームワークに関する基礎知識を身につけている。(知識・理解)

会計の制度的および理論的フレームワークを理解し、企業会計の現状と課題を説明することができる。(技能)

会計の制度的および理論的フレームワークを理解し、企業会計の課題に対する解決策を説明することができる。(技能)

予習・復習や提出課題への取り組みなどの授業時間外の学習を通じて、会計学に関する関心を高め、授業の内容以上に学びを深めることができる。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前に授業管理から配信した講義資料をダウンロードし、各回の学修内容を概観しておくこと。(60分)

授業の内容を復習して上記講義資料にメモ等を加筆し、資料の完成度を高めるとともに、毎回の課題を提出すること（forms）。(120分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

原則として定期試験により評価する。ただし、授業後に提出してもらう課題の取り組み状況により、若干の加点を行うことがある（最大10点程度）。些末な知識の有無よりも、会計学の全体像の把握および会計の理論的フレームワークと制度的フレームワークの理解がなされているかどうかを単位認定の判断基準とする。

- - - テキスト - - -

特に使用しない。

- - - 参考書 - - -

中央経済社編『新版会計法規集』第12版 中央経済社
ISBN 978-4502393013
広瀬義州『財務会計』第13版 中央経済社 /
978-4502163418

- - - 履修上の留意点 - - -

会計を理解するためには、簿記の知識がある程度必要となる。したがって、「簿記原理」を履修済みであることが望ましい。

- - - 授業計画 - - -

- 1 会計および会計学の意義と種類（スタートアップ授業）
- 2 財務会計の制度的フレームワーク
金融商品取引法会計
- 3 財務会計の制度的フレームワーク
会社法会計
- 4 財務会計の制度的フレームワーク
会計基準
- 5 財務会計の制度的フレームワーク
財務諸表監査制度
- 6 財務会計の理論的フレームワーク
会計公準と概念フレームワーク
- 7 財務会計の理論的フレームワーク
企業会計原則の一般原則
- 8 財務会計の理論的フレームワーク
財務会計の目的と会計情報の質的特性
- 9 財務会計の理論的フレームワーク
資産負債アプローチと収益費用アプローチ
- 10 財務会計の理論的フレームワーク
財務諸表の表示と財務諸表分析
- 11 財務会計の理論的フレームワーク
資産概念と資産の測定
- 12 財務会計の理論的フレームワーク
負債概念と負債の測定 / 資本概念と資本維持
- 13 財務会計の理論的フレームワーク
収益および費用の意義と計上基準
- 14 財務会計の理論的フレームワーク
財務報告——財務諸表と非財務情報
- 15 管理会計の意義
授業アンケートFURIKAの実施

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/lgff2fp1ad3cj7zkc0htw9e3cubiucwc>)

渡辺 亮一

期別：前期 単位数：2 開講年次：3 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：中級 試験実施：有り
授業時間割：前期：月・1 時限 試験時間割：後日発表

- - - 概要 - - -	- - - 授業計画 - - -
人間にさまざまな恩恵をもたらすとともに、ときとして甚大な被害を与えることもある河川とどのようにつきあうか、この課題に応えようとする経験と理論の体系が河川工学である。本講義ではこのような河川工学の基礎的な知識を身につけてもらうために、おもに水理学の手法を援用しながら講義を進める。 また近年、河川のもつ自然環境としての機能の保全や回復が重視されつつある。そこでこのための自然復元・多自然川づくりの意義と方法について学ぶと伴に、流域治水の概念についても理解を進める。 講義は、教科書をベースとして、授業計画にある内容を各回に理解しながら知識を深めていく形式で進めていきます。	1．河川工学と河川学（スタートアップ授業） 2．日本と世界の河川比較 3．河川の調査（河川の分類法） 4．降雨データ（水文量） 5．流域解析手法 6．治水史と治水計画 7．河川横断構造物 8．基本高水の設定方法 9．河川整備基本方針 10．河川整備計画策定 11．流出解析 12．不等流計算と河川計画 13．多自然川づくりと河川改修 14．流域治水による流出抑制 15．総まとめ及び授業アンケートFURIKA実施
- - - 授業の進行・方法 - - -	- - - スタートアップ授業 - - -
授業は、教員が作成した講義資料や動画をもとに講義形式で行います。毎回の授業内容を確認するために、講義中の理解を確認する講義ノートを講義中に配布するシートに書き込み、講義終了時に提出していただく。	スタートアップ授業 (https://fukuoka-u.box.com/s/humm8nc0ve83nd4dmac8nyu1boe6b3pb)
- - - アクティブ・ラーニング - - -	- - - 必修・選択の区分 - - -
いいえ / No	必修
- - - 到達目標 - - -	- - - 授業時間外の学習（予習・復習） - - -
過去から現在に至る日本の治水の歴史および社会資本整備における治水の意義を学び、将来の担当業務において習得した知識を活用できる。（知識・理解） 社会デザイン工学の技術者として必要な河川工学に関する技術を学び、将来の担当業務において活用できる。（技能） 社会デザイン工学の技術者として、河川工学が社会に及ぼす影響を理解し、環境を守る技術とは何かを学習し、日本の河川を素晴らしい川にする際にその技術を用いることができる。（技能）	講義前に教科書の指定箇所を読んで予習を90分程度実施するとともに、講義中にまとめたノートの内容に関して、各自で自主的に90分程度調べること。
- - - 成績評価の基準および方法 - - -	- - - JABEEの学習・教育到達目標 - - -
（1）評価基準 上記到達目標を達成しているかを評価の基準とする （2）評価方法 1) 定期試験 2) 講義中提出ノートなど 3) 最終評価=定期試験×0.6+講義中ノートなど×0.4	Dに該当
- - - 教科書・参考書 - - -	
教科書 高橋裕著，新版河川工学，東京大学出版会，2008，ISBN978-4-13-062817-4 参考書 沖大幹監修，水の日本地図，朝日新聞出版，2012． 島谷幸宏著，河川環境の保全と復元，鹿島出版会，2000 島谷幸宏著，中小河川の技術基準 解題 多自然川づくりのすすめ，2010	
- - - オフィスアワー - - -	
下記のURLに記されている予定表を参照して、空き時間を確かめた後、メールにて予約すること． URL： https://calendar.google.com/calendar/u/0?cid=d2F0YUBmdWt1b2thLXUuYWWMuanA	
- - - 履修上の留意 - - -	
基礎水理学・応用水理学を習得しておくことが望ましい。 遅刻した場合には、毎回提出するノートの評価点から-1点とするので、遅刻しないこと。	
- - - その他・必要な予備知識 - - -	
2年次の基礎・応用水理学に関する内容を確実に習得しておくことが望ましい。	

鈴木 慎也

期別：前期 単位数：1 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し
授業時間割：前期：月・4 時限 試験時間割：定期試験なし

――― 概要 ―――		――― 授業計画 ―――	
本講義は、新入生を対象に実施する社会デザイン工学科の「初年次教育科目」である。社会デザイン工学は英語でCivil Engineeringといわれるように、人々の生活や産業の基盤を作り、その生活を便利に効率的に、安全にかつ快適にする環境づくりを目指しており、その歴史も非常に古い。我が国では「インフラストラクチャー」整備がようやく成熟期に達しており、これまで以上にインフラストラクチャーの管理や運営、維持管理が重要となっている。またインフラストラクチャー事業は到底一人で成し遂げられるものではなく、多様な専門性を持つ一人ひとりが、それぞれの能力を最大限に発揮しつつもチームとして協働しながら進めていくことが不可欠である。コミュニケーション能力の習得が重要とされる所以である。 本講義では、インフラストラクチャー事業にあたる組織の形態や機能、影響を受ける地域や人々の特性、用地の取得、環境保全、ならびに契約方式、海外事業への参画などについて学習する。さらに、レポート・論文の書き方、プレゼンテーションの技法などの学習を通して問題認識・解決策の議論を進めるための基礎的な表現能力を習得する。 本講義は、講義形式で進める。学習の進捗状況に応じてレポート課題を課し、確認テストを実施する。		1．シラバスの説明およびイントロダクション(スタートアップ授業) 2．ガイダンス、- レポート・論文の書き方 - 3．種々のインフラストラクチャーとその発展―ローマ水道・利根川東遷・測量など― 4．種々のインフラストラクチャーとその発展―琵琶湖疏水・玉川上水・下水・橋梁・港湾など― 5．インフラストラクチャー事業の実例―黒部ダム― 6．インフラストラクチャー事業の構想―鉄道事業・都市開発などを通して― 7．インフラストラクチャー事業の構想―小樽運河・東海道新幹線などを通して― 8．インフラストラクチャー事業の実例―青函トンネル― 9．インフラストラクチャーの事業化と事業主体―事業主体の類型― 10．インフラストラクチャーの事業化と事業主体―様々な事業主体・手法― 11．インフラストラクチャー事業の実例―瀬戸大橋― 12．インフラストラクチャーの建設 13．インフラストラクチャーの管理運営と活用 14．インフラストラクチャーの海外展開 15．総括 - 社会デザインとの出会いで学んだこと -、授業アンケートFURIKAの実施	
――― 授業の進行・方法 ―――		――― スタートアップ授業 ―――	
授業では、スライドを主として用い、適宜動画視聴を通してインフラストラクチャー事業の実例を紹介する。スライド資料は、事前にmoodle上にアップロードするので、確認すること。適宜確認テストを行い、動画視聴の際にはレポート課題を課す。		スタートアップ授業 (https://fukuoka-u.box.com/s/8w9t16ubfotsmu6atiwbxyhvu5in13h5)	
――― アクティブ・ラーニング ―――		――― 必修・選択の区分 ―――	
いいえ / No		必修	
――― 到達目標 ―――		――― 授業時間外の学習（予習・習） ―――	
これから学ぶ社会デザイン工学の重要性を認め、人に伝えることができる(技能) 計画的、継続的、自主的に学習を進める能を養成できる(態度・志向性) 自ら問題を認め、解決策を出すことができる(態度・志向性) 社会問題や環境、資源、エネルギー問題を解し、その解決策を講ずることができる(態度・志向性)		到達目標の達成のため、まず教科書、筆記用具、ノートを必ず持参し、板書の内容を各自ノートに取りまとめておくこと。小テストに備え教科書・板書ノートをもとに復習しておくこと。(予習60分・復習60分)	
――― 成績評価基準および方法 ―――		――― JABEEの学習・教育到達目標 ―――	
各回の講義に対する確認テストをもとにインフラストラクチャー事業の基礎知識に対する理解度を評価の基準とする。またインフラストラクチャー事業に対する効果の検証、課題認識などをまとめたレポートをもとに、十分なデータを集めたか、そのデータに基づいて自分の見解を明確に記述しているかを評価の基準とする。講義全体の総括プレゼンテーションを通してコミュニケーション能力を評価し、プレゼンテーション形式で自分の意見を適切に述べることができるかを評価の基準とする。確認テスト(40%)と総括プレゼンテーション含むレポート(60%)で評価する。定期試験は行わない。フィードバックとして確認テスト回収後、解答の解説を行う。		F, Hに該当	
――― テキスト・参考書 ―――			
テキスト：「インフラストラクチャー概論」中村英夫編著 日経BP社 ISBN-978-4-8222-0063-3 3200円+税 参考書：「土木の仕事ガイドブック」柴田久編著 学芸出版社 ISBN-978-4-7615-2772-3 2000円+税 「ようこそドボク学科へ！」佐々木葉監修 株式会社学芸出版社 ISBN-978-4-7615-1349-8 1800円+税 「現代日本土木史第二版」高橋裕著 株式会社彰国社 ISBN-978-4-395-04031-5 2857円+税			
――― 履修上・受講上の注意点 ―――			
特になし			
――― オフィスアワー ―――			
FUポータルのオフィスアワーを参照のこと			
――― その他・必要な予備知識 ―――			
特になし			

渡辺 浩、大隣 昭作

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：有り 科目水準：初級 試験実施：有り
授業時間割：前期：火・2 時限 試験時間割：後日発表

- - - 概要 - - -	- - - 授業計画 - - -
地形を正確に知することは都市計画や構造物の設計における第一歩である。また、それらを作り上げるためには設計どおりに地形上に目印を設置していく必要がある。これらのプロセスを測量といい、建設技術者の基本的な能力のひとつとされている。ここでは、古代からの測量の歴史をもとに「測る」ことの方法や難しさを学び、続いて基本的な測量の方法や技術と、どうしても避けられない誤差を処理し精度よい結果を得る方法について学習する。 なお渡辺ら担当教員は、測量のフィールドでの実践、橋梁点検への応用等の広範な実務に関わっている。これらの経験を踏まえ、様々な条件下での測量手法の選択と精度向上に関する話題にも触れる。	1. 測量の世界への招待（スタートアップ授業） 2. 測量学とは 3. 測量と誤差 4. 小テスト1 / 距離測量(1) - 方法 5. 小テスト1の解説 / 距離測量(2) - 誤差と補正 6. 小テスト2 / 水準測量(1) - 機器と方法 7. 小テスト2の解説 / 水準測量(2) - 誤差と調整 8. 水準測量(3) - 調整 9. 小テスト3 / 角測量(1) - 機器 10. 小テスト3の解説 / 角測量(2) - 方法 11. 角測量(3) - 誤差と調整 12. 小テスト4 / トラバース測量(1) - 測角の調整と方位角 13. 小テスト4の解説 / トラバース測量(2) - 方位と緯距・経距 14. トラバース測量(3) - 閉合誤差と調整 15. トラバース測量(4) - 測点の展開 / 授業アンケート FURIKAの実施 (渡辺は全回を担当 / 大隣は4,6,9,12～15を担当)
- - - 授業の進行・方法 - - -	- - - スタートアップ授業 - - -
授業は講義形式で進める。ただし、考える機会とディスカッションの時間を頻繁に設ける。知識の習得だけでなく、その理由や背景も意識しながら考察していきたい。	スタートアップ授業 (https://fukuoka-u.box.com/s/gorv8689g47ayciqj56ojplveisjs4n4)
- - - アクティブ・ラーニング - - -	- - - 必修・選択の区分 - - -
はい / Yes	必修
- - - 到達目標 - - -	- - - 授業時間外の学習（予習・復習） - - -
測定と誤差に関する基本を理解できる (知識・理解)	学習・教育到達目標の達成のため、指示する範囲に対する90分の予習と、学習内容に対する90分の復習が求められる。
測量の意義や目的を理解できる (知識・理解)	- - - JABEEの学習・教育到達目標 - - -
距離・水準・角測量の目的と方法を理解できる (技能)	Dに該当
観測データを適切にとりまとめ補正することができる (技能)	
- - - 成績評価の基準および方法 - - -	
評価基準は、到達目標の達成度とする。その方法は、講義中の小テスト、および期末試験の結果を50:50の重みとし、総合的に評価するものとする。フィードバックとして小テストの返却時に解答の解説を行う。	
- - - 教科書・参考書 - - -	
教科書：「改訂測量学I」堤隆著, コロナ社, 2014, 3080円, ISBN:978-4-339-05524-5 参考書：「絵解き測量 改訂3版」栗津清蔵監修, オーム社, 2010, ISBN:978-4274208874	
- - - 修得しておくべき科目 - - -	
なし	
- - - オフィスアワー - - -	
FUポータルを参照のこと	
- - - その他・必要な予備知識 - - -	
なし	

高橋 伸弥、渡邊 朝子

期別：前期 単位数：2 開講年次：2 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：初級 試験実施：有り
授業時間割：前期：火・3時限 試験時間割：後日発表

概要

《授業内容》 アルゴリズムとは問題解決の手続きである．本格的なプログラムを作成するにはアルゴリズムに関する知識が欠かせない．また効率の良いアルゴリズムを作成しようと思えば，問題に適したデータ構造を採用する必要がある．本科目では特定の分野に限定されない共通的なアルゴリズムとそのデータ構造について学習を進める．
《位置づけ》 この科目は，電子情報工学科2年次全コース必修科目となっている．いずれのコースの学生にとっても電子情報技術者となる上で知っておくべき基本的な内容を学習する．
《ねらい》 アルゴリズムの学習においては，それらを知識として理解することも重要であるが，具体的なプログラムとして実現できることが重要である．従って本科目では，あわせてプログラミング能力を向上させることも大きな目標とする．
《到達目標との関係性》 到達目標に掲げた各項目を順次学習する．いずれもアルゴリズムを学ぶ上で知っておくべき基本的な事項である．それぞれ独立した内容ではあるが，互いに関連しているので，取りこぼしのないよう学習してもらいたい．
《授業の進行・方法》 本科目は，講義形式で授業を進め，理解度確認のための演習を中間と最終に行う．

授業の進行・方法

本科目は，講義形式で授業を進め，理解度確認のための演習を中間と最終に行う．
毎回の授業内容を確認するために Moodle 上のミニッツペーパーを必ず提出し，課題にも取り組んでおくこと．
課題やミニッツペーパーへのフィードバックは，翌週以降の授業で適宜行う．

アクティブ・ラーニング

はい / Yes

到達目標

計算機やコンパイラ，プログラミングの基礎知識を身につけ，アルゴリズムと計算量の関係を説明できる．(知識・理解)

配列を用いた基本的なデータ構造を理解し，各種探索法および各種ソート法の基本的なアルゴリズムを説明できる．(知識・理解)

構造体などの動的確保やポインタによるアクセス法，リスト構造などの基本を理解し，スタックとキューの実現方法を説明できる．(知識・理解)

授業時間外の学習（予習・復習）

・予習のために講義スライドを事前公開するので，教科書と合わせ読みながら予習をしておくこと（60分）
・講義内容で理解が十分でない事項があれば，次回までに復習しておくこと（30分）
・講義内で取り組んだ演習課題が時間内に解けなかった場合は，次回までに解いておくこと（30分）
・理解度を確保するためのテストを中間と最終に実施するので，そのための復習を十分に行っておくこと（60分）

成績評価の基準

到達目標に挙げた各項目に対応する設問が解けることを成績評価の基準とする．

成績評価の方法

定期試験（70％）と平常点（30％）で評価する．平常点は，ミニッツペーパーの提出状況と演習課題にて評価する．

履修上の条件・履修上の留意点

（１）「プログラミング」を充分理解し，基本的なプログラミング能力を身に付けておくこと．
（２）各種アルゴリズムは，実際にプログラムとして実現し，動作させることによってはじめて充分に理解できる．積極的に端末やパソコンを利用して，自分でプログラムを作ってみること．

JABEE学習・教育到達目標

コンピュータシステムとシステムプログラムの原理や構造を理解し，その設計や実現を効果的に行う能力（JABEE学習・教育到達目標の(SA-3)に対応）

授業計画

授業計画学習目標

1イントロダクション（スタートアップ授業）（高橋）
講義全体の概要を理解し，アルゴリズムの概念，考え方を知る．

2アルゴリズムの表現方法（高橋）フローチャートやPAD，擬似コードなどのアルゴリズムを表現する方法について学ぶ．
3計算機とプログラム（高橋）
計算機やコンパイラの機能の概要と，プログラムにおける関数の呼び出し，引数・戻り値の引渡し，再帰呼び出しなどについて理解する．
4データの型とアルゴリズム（高橋）
プログラミング言語におけるデータの型を復習し，データの性質に最適なデータ構造を理解する．
5関数とアルゴリズム（高橋）
プログラミング言語における関数呼び出しについて復習し，再帰的アルゴリズムについて学ぶ．
6基本的な探索アルゴリズム（高橋）
表構造での線形探索，2分探索を学習し，アルゴリズムによる処理効率の相違を理解する．

7アルゴリズムと計算量（高橋）
時間計算量，O記法，領域計算量などについて理解する．

8ポインタ，動的記憶域（高橋）
動的記憶域の確保方法，ポインタによるデータへのアクセス方法などについて理解する．

9演習1（渡邊）
1～8に関する演習を行い理解度を確認する．

10 11ソート（渡邊）
単純なソート（バブルソート，挿入ソートなど）のアルゴリズムと問題点を理解する．
また効率を改善したソート法（クイックソート，マージソートなど）のアルゴリズムと，計算量を理解する．

12スタック（高橋）
配列を用いたスタックの実現法を理解する．

13 14基本的なリスト構造（高橋）
連結リスト，待ち行列などの実現法を理解する．

15演習2（高橋）
10～14に関する演習を行い，理解度を確認する．

授業アンケートFURIKAは、第15回目の講義時間内で実施します

スタートアップ授業

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/n77jqesi8unj1ss3xt0n0xgo1jp51bvbv>)

テキスト

森元：「Cをさらに理解しながら学ぶデータ構造とアルゴリズム」，2007年，共立出版，2600円，ISBN978-4-320-12197-3

参考書

浅野哲夫：「データ構造」（近代科学社）ISBN：978-4764901995
茨木俊秀：「Cによるアルゴリズムとデータ構造」（昭晃堂）ISBN：978-4274223914
東野、臼田、霞谷：「C言語によるアルゴリズムとデータ構造入門」（森北出版）ISBN：978-4627826014

名倉 徹

期別：前期 単位数：2 開講年次：2 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：有り 科目水準：初級 試験実施：有り

授業時間割：前期：火・4 時限 試験時間割：後日発表

- - - 概要 - - -

- - - 授業計画 - - -

電気磁気学は電子情報工学の重要な基礎科目の一つで、今後の半導体工学や通信工学などを理解するために必要な科目である。電荷、電界と電位、静電容量、誘電体、磁界、電磁誘導の法則などについて、実践的応用へと発展させるために深く数学解析的に取り扱い、最終的にはマクスウェル方程式を導出する。企業において研究開発に従事してきた実務経験を活かし、実際に携わった事例等を参考に、講義内容を取捨選択して実践的な講義を行う。

- - - 授業の進行・方法 - - -

スライドを用いた講義形式とする。毎回の講義最初に紙の資料を配布する。講義では資料に書き込みながら学習することを前提とする。また、配布資料 pdf を講義前に Moodle に載せる。iPad 等で pdf にデジタル的に書き込みながら受講してもよい。毎回講義の最後に演習や小テストを行う。

- - - アクティブ・ラーニング - - -

はい / Yes

- - - 到達目標 - - -

微分解析系で表現されたガウスの法則、ポアソン・ラプラスの式といった電界基本法則を理解し、電界や電位、静電容量、静電エネルギーなどの計算に応用できる。(知識・理解)

微分解析系で表現されたアンペアの法則といった磁界基本法則を理解し、磁界やベクトルポテンシャル、磁界のエネルギーなどの計算に応用できる。(知識・理解)

微分解析系で表現されたファラデーの法則といった電磁誘導を理解して誘導起電力を計算できる。(知識・理解)

マクスウェル方程式を理解できる。(知識・理解)

- - - 成績評価の基準 - - -

- 1) 静電界基本法則の物理的意味とその解析式を理解できており、実際の計算に応用できる。(授業計画1～7)
- 2) 動的な電界に対する変位電流の概念を理解し、静電界の基本法則を発展させて適用できる。(授業計画8)
- 3) 静磁界基本法則の物理的意味とその解析式を理解できており、実際の計算に応用できる。(授業計画9～11)
- 4) 動的な磁界に対してファラデーの法則を理解し電磁誘導の法則を適用できる。(授業計画12～13)
- 5) マクスウェル方程式を理解できる。(授業計画14)

- - - テキスト - - -

「電気磁気学基礎論」河野照哉・桂井誠・岡部洋一(電気学会: 1988 年発行) 2484円 ISBN-10: 488686208X

- - - 成績評価の方法 - - -

(毎回の小テスト 30%、定期試験 70%) と (定期試験 100%) の大きい方を採用する。

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回講義内容に関する演習と小テストを行うので解答を各自で確認するとともに、講義資料で復習すること。予習・復習各 90 分程度を目安とする。

1. はじめに (スタートアップ授業)
2. 電磁気で扱う数学
3. 電荷と静電界その 1
4. 電荷と静電界その 2
5. 導体系
6. 誘電体
7. 静電界の解法
8. 電流
9. 磁界その 1
10. 磁界その 2
11. 磁性体
12. 電磁誘導の法則その 1
13. 電磁誘導の法則その 2
14. マクスウェル方程式
15. 演習
- (14回目もしくは15回目に授業アンケート FURIKA を実施する)

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/scb6p9fm2k8hx27d0yam937zc80169so>)

- - - 履修の条件・履修上の留意点 - - -

1年次後期科目「基礎電気磁気学」を履修しておくことが望ましい。

渡辺 亮一

期別：前期 単位数：2 開講年次：2 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：初級 試験実施：有り
授業時間割：前期：水・2 時限 試験時間割：後日発表

- - - 概要 - - -

- - - 授業計画 - - -

上下水道学では、社会資本の中で重要な水の供給および汚水・雨水の処理に関してデザイン能力を身につけることを目的としている。上水道・下水道ともにいわゆるシビルミニマム（人間の文化的生活に欠くことのできない社会資本）であり、我々の生活と直接的に密接に関係している社会資本である。都市生活を快適に過ごすための水系の流れに関してこの講義では学んでいき、将来のキャリアにおいてこの技術が活用できるようになることを目的としている。なお、この授業は教科書を参照しながら、講義形式で進める。

1．シビルミニマムとは何か（スタートアップ授業）
2．水道原単位と計画給水量
3．水道水質基準
4．水道システム概略
5．浄水処理（沈殿池理論）
6．高度処理の必要性
7．下水道システム概略
8．計画雨水量の設定方法
9．下水道への汚水の量と質
10．合流式下水道と分流式下水道
11．エアレーションタンク内の微生物量の収支
12．污泥処理
13．下水道の高度処理
14．社会基盤における上下水道の未来
15．まとめと授業アンケートFURIKA実施

- - - 授業の進行・方法 - - -

- - - スタートアップ授業 - - -

授業は、教員が作成した講義資料や動画をもとに講義形式で行います。毎回の授業内容を確認するために、講義中の理解を確認する講義ノートを講義中に配布するシートに書き込み、講義終了時に提出していただく。

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/dpkg2zu9tllaehf8jqzjny3axb4ht5d>)

- - - アクティブ・ラーニング - - -

- - - 必修・選択の区分 - - -

いいえ / No

必修

- - - 到達目標 - - -

- - - 授業時間外の学習（予習・復習） - - -

シビルミニマムとしての上下水道の役割を学び、その知識をキャリアの中で活用できる。(態度・志向性)

講義前に教科書の指定箇所を読んで90分程度予習するとともに、講義中に作成した講義内容確認ノートにかんして、自主的に90分程度調べること。

社会デザイン工学の技術者として必要な上下水道技術を習得し、将来の設計業務においてその知識を活用できる。(態度・志向性)

- - - JABEEの学習・教育到達目標 - - -

社会デザイン工学の技術者として、上記の技術が社会に及ぼす影響を理解し、市民に安全な技術とは何かを習得し、社会デザイン技術者として活用できる。(態度・志向性)

Aに該当

- - - 成績評価の基準および方法 - - -

- (1) 評価基準
上記到達目標を達成しているかを評価の基準とする
- (2) 評価方法
1) 定期試験
2) 講義中提出ノート
3) 最終評価=定期試験×0.6+講義中提出ノート×0.4

- - - 教科書・参考書 - - -

教科書: わかり易い土木講座15 衛生工学 土木工学会編集
彰国社刊、ISBN4-395-41065-0

- - - 修得しておくべき科目 - - -

基礎水理学・工業数学

- - - オフィスアワー - - -

下記のURLに記されている予定表を参照して、空き時間を確かめた後、メールにて予約すること。
URL : <https://calendar.google.com/calendar/u/0?cid=d2F0YUBmdWt1b2thLXUuYWYWMuanA>

田中 守

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：初級 試験実施：有り
授業時間割：前期：金・1時限 試験時間割：後日発表

- - - 概要 - - -		- - - テキスト - - -	
体力という言葉に親しみのある人は多いであろう。「健康・体力づくり」「体力トレーニング」「日本選手は体力不足」などよく聞きする。しかし体力とはどのように捉えられているのだろうか？競技力や健康とどのように関わるのか？体力は遺伝的に決まっているのだろうか？体力を効率よく高めるにはどうしたらよいか？さまざまな疑問が沸いてくる。 もう少し具体的に書いてみよう。身体は適度に使うと機能が向上する。例えばかなり重いバーベルを何度か持ち上げると筋力がついてくることは誰もが知っている。しかしどの程度の重量をどれだけ繰り返して持ち上げれば良いのだろうか？一方使わないと筋力は低下する。低下をくい止めるには最低どの程度の負荷が必要なのだろうか？筋力が付くと身体にはどんな変化が起こっているのだろうか？どこまで高められるのだろうか？筋力と競技力、健康とはどのような関わりがあるのだろうか？このような疑問に答えるには身体の適応性ということを理解することが大切である。 体力学を学ぶためには基本的な解剖生理学やスポーツ生理学の知識も欠かせないので、併せて学んでいってほしい。体力学を学ぶことは実際の健康づくりや競技力向上に欠かせないし、またすぐに役立つことが多い。身近な話題も交えて講義を展開していくので、授業中は活発な質問、あるいはミニッツペーパーへのコメント、質問、要望を期待している。 従って、授業形態は講義形式である。		必要な資料を事前にPDFで送り、当日も配布する。 - - - 履修上の留意点 - - - 飲食、携帯電話の使用、イヤホン付携帯オーディオの使用、私語等の禁止 - - - 授業計画 - - - 1 イントロダクション（スタートアップ授業） シラバスを中心に、授業概要、理解の仕方、予習と復習の実践、授業の取り組み等 2 体力学を学ぶための基礎知識（エネルギー論、代謝系） ATP再合成過程、エネルギー源の代謝過程 3 体力学を学ぶための基礎知識（筋系） 筋の構造と機能、特性と運動 4 体力学を学ぶための基礎知識（神経系） 神経の構造と機能、特性と運動 5 体力学を学ぶための基礎知識（呼吸循環系） 呼吸循環系の構造と機能、特性と運動 6 無気的パワーとトレーニング 無気的パワー特性、SSC、反射と反応 7 筋力・筋持久力とトレーニング 筋力特性、生理的限界、局所筋持久力 8 有気的パワーとトレーニング 無気的持久力、有気的持久力、インターバルトレーニング 9 調整力・柔軟性とトレーニング 巧緻性・平衡性・敏捷性、コーディネーショントレーニング、動的・静的柔軟性 10 発育期の体力とトレーニング 発育・発達の体力特性、ゴールデンエイジ 11 女性の体力とトレーニング 女性特有の形態、体力機能 12 加齢と体力・トレーニング 中高年期の体力特性 13 高齢者の体力と介護予防 高齢者の体力測定、介護予防と体力測定 14 体力トレーニング計画の作成と立案 鍛練期・試合期・移行期での体力トレーニング 15 FURIKAの実施とまとめ 全体の振り返り、スポーツ科学の実践	
- - - 授業の進行・方法 - - -		- - - スタートアップ授業 - - -	
毎回、テーマに沿った講義を進めていくので、その予習として事前配布した資料の予習をし、簡単なレポートを提出して授業に臨む。 授業中に、心拍数の測定や皮下脂肪厚のチェック、膝蓋腱反射の実践など、一部実習も入れながら議論することもある。 なお、授業の最初に、前回の復習も兼ねてミニッツペーパーあるいはグーグルフォームでの一部の質問に回答する。		スタートアップ授業 (https://fukuoka-u.box.com/s/zqxrmpphn6lxwk0led94rs5o6gcdyj79)	
はい / Yes			
- - - 到達目標 - - -			
体力の科学的基礎知識について理解し、説明できる。(知識・理解)			
体力要素について理解し、説明できる。(知識・理解)			
体力トレーニングの指導方法について理解し、説明できる。(知識・理解)			
- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -			
毎回のテーマについて、事前配布資料とインターネットでの事前調査を行い、レポートしてまとめる（予習）(90分) 授業内容の実践と疑問点の調査。いろいろなスポーツ科学情報満載なので、授業後に課外活動や指導実践の場等で試してみる（復習）。(90分)			
- - - 成績評価基準および方法 - - -			
毎回の予習レポート提出と授業参加状況（20％）、定期試験の結果（80％）から評価する。すなわち、定期試験での記述内容の評点から、実践してきたスポーツを体力的に理解できているかを評価の第一基準とする。なお、予習レポート作成に際し、インターネットや生成系AIの活用を是非進めてほしいが、必ず自身の見解を入れること。			

田中 守

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：初級 試験実施：有り

授業時間割：前期：金・3時限 試験時間割：後日発表

- - - 概要 - - -

- - - テキスト - - -

体力という言葉に親しみのある人は多いであろう。「健康・体力づくり」「体力トレーニング」「日本選手は体力不足」などよく見聞きする。しかし体力とはどのように捉えられているのだろうか？競技力や健康とどのように関わるのか？体力は遺伝的に決まっているのだろうか？体力を効率よく高めるにはどうしたらよいか？さまざまな疑問が湧いてくる。

もう少し具体的に書いてみよう。身体は適度に使うと機能が向上する。例えばかなり重いバーベルを何度か持ち上げると筋力がついてくことは誰もが知っている。しかしどの程度の重量をどれだけ繰り返して持ち上げれば良いのだろうか？一方使わないと筋力は低下する。低下をくい止めるには最低どの程度の負荷が必要なのだろうか？筋力が付くと身体にはどんな変化が起こっているのだろうか？どこまで高められるのだろうか？筋力と競技力、健康とはどのような関わりがあるのだろうか？このような疑問に答えるには身体の適応性ということを理解することが大切である。

体力学を学ぶためには基本的な解剖生理学やスポーツ生理学の知識も欠かせないので、併せて学んでいってほしい。体力学を学ぶことは実際の健康づくりや競技力向上に欠かせないし、またすぐに役立つことが多い。身近な話題も交えて講義を展開していくので、授業中は活発な質問、あるいはミニッツペーパーへのコメント、質問、要望を期待している。

従って、授業形態は講義形式である。

- - - 授業の進行・方法 - - -

毎回、テーマに沿った講義を進めていくので、その予習として事前配布した資料を予習し、簡単なレポートを提出して授業に臨む。

授業中に、心拍数の測定や皮下脂肪厚のチェック、膝蓋腱反射の実践など、一部実習も入れながら議論することもある。

なお、授業の最初に、前回の復習も兼ねてミニッツペーパーあるいはグーグルフォームでの一部の質問に回答する。

- - - アクティブ・ラーニング - - -

はい / Yes

- - - 到達目標 - - -

体力の科学的基礎知識について理解し、説明できる。(知識・理解)

体力要素について理解し、説明できる。(知識・理解)

体力トレーニングの指導方法について理解し、説明できる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回のテーマについて、事前配布資料とインターネットでの事前調査を行い、レポートとしてまとめる(8予習)。(90分)

授業内容の実践と疑問点の調査。いろいろなスポーツ科学情報満載なので、授業後に課外活動や指導実践の場等で試してみる。(90分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

毎回の予習レポート提出と授業参加状況(20%)、定期試験の結果(80%)から評価する。すなわち、定期試験での記述内容の評点から、実践してきたスポーツを体力学的に理解できているかを評価の第一基準とする。なお、予習レポート作成に際し、インターネットや生成系AIの活用を是非進めてほしいが、必ず自身の見解をいれること。

必要な資料を配布する。

- - - 履修上の留意点 - - -

飲食、携帯電話の使用、イヤホン付携帯オーディオの使用、私語等の禁止

- - - 授業計画 - - -

1 イントロダクション(スタートアップ授業)
シラバスを中心に、授業概要、理解の仕方、予習と復習の実践、授業の取り組み等

2 体力学を学ぶための基礎知識(エネルギー論、代謝系)

ATP再合成過程、エネルギー源の代謝過程

3 体力学を学ぶための基礎知識(筋系)
筋の構造と機能、特性と運動

4 体力学を学ぶための基礎知識(神経系)
神経の構造と機能、特性と運動

5 体力学を学ぶための基礎知識(呼吸循環系)
呼吸循環系の構造と機能、特性と運動

6 無気的パワーとトレーニング
無気的パワー特性、SSC、反射と反応

7 筋力・筋持久力とトレーニング
筋力特性、生理的限界、局所筋持久力

8 有気的パワーとトレーニング
無気的持久力、有気的持久力、インターバルトレーニング

9 調整力・柔軟性とトレーニング
巧緻性・平衡性・敏捷性、コーディネーショントレーニング、動的・静的柔軟性

10 発育期の体力とトレーニング
発育・発達の体力特性、ゴールデンエイジ

11 女性の体力とトレーニング
女性特有の形態、体力機能

12 加齢と体力・トレーニング
中高年期の体力特性

13 高齢者の体力と介護予防
高齢者の体力測定、介護予防と体力測定

14 体力トレーニング計画の作成と立案
鍛練期・試合期・移行期での体力トレーニング

15 FURIKAの実施とまとめ
全体の振り返り、スポーツ科学の実践

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/hdvd15uitwct8h6i5kzosi9xg555vag3>)

築山 泰典

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：初級 試験実施：有り
授業時間割：前期：金・4時限 試験時間割：後日発表

- - - 概要 - - -

「スポーツ=身体活動」といった認識が一般的かもしれないが、この授業での目標は「スポーツの社会的役割を考える」である。

生涯スポーツという言葉は聞き慣れない言葉かもしれない。そのため、「生涯スポーツとは何か？」から授業を始める。

授業では、オリンピックに関する内容から展開を始める。その後、サービスとしてのスポーツを解釈しながら、スポーツの多様性を読み取ることを企図する。その後、近年アダプティッドスポーツと表現される障害者スポーツを題材に、誰のためのスポーツなのかを考える。授業後半では、レクリエーションやキャンプに関しての知見も深める。

授業内では視聴覚教材を積極的に用いていく。また、毎回授業の最後にレポートを作成する時間を設け、提出を求める。この授業を通じて、スポーツを考えるということを受講生が自ら気づく機会になるよう、積極的に授業展開を図る。

- - - 授業の進行・方法 - - -

授業内では視聴覚教材を積極的に用いていく。また、毎回授業の最後にレポートを作成する時間を設け、提出を求める。この授業を通じて、スポーツを考えるということを受講生が自ら気づく機会になるよう、積極的に授業展開を図る。

- - - アクティブ・ラーニング - - -

いいえ / No

- - - 到達目標 - - -

多様なスポーツとの関わりの1つとして「考えること」が実践できる(知識・理解)

スポーツと健康や教育の関わりについて興味を持ち理解し説明することができる(知識・理解)

スポーツやレクリエーションの技術ついて理解し、説明することができる(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

各回の授業終了時に示される次回授業内容の情報収集等の予習(90分)

授業からの気づきや学びに関する自身での整理(90分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

1．学期末にテストを実施する。
2．受講態度を考慮する。
3．授業時の提出物も評価の対象となる。
原則として、定期試験6割、平常点2割、レポート等2割。尚、定期試験により、知識の確認及び「スポーツを考えること」の定着度合いを測る内容を組み入れる。
尚、レポート作成に関して、生成AIツールでの出力結果をそのまま提出することは、この実習での到達目標に達することが出来なくなり、剽窃や不正行為と判断することもありますので、ご注意ください。

- - - テキスト - - -

配布プリントをテキスト代わりとする

- - - 参考書 - - -

特に指定しない。授業内で紹介する。

- - - 履修上の留意点 - - -

詳しくは、ガイダンス時に言及するが、スポーツマン（ウーマン）シップに則った受講態度を求める。

- - - 授業計画 - - -

- 1 生涯スポーツ論の目指すところ【スタートアップ授業】
- 2 生涯スポーツの意味
- 3 オリンピックを考える
- 4 スポーツとジェンダー
- 5 産業としてのスポーツ 1
- 6 産業としてのスポーツ 2
- 7 スポーツ指導者を考える
- 8 アダプティッドスポーツ1
- 9 アダプティッドスポーツ2
- 10 ドーピングを考える
- 11 生涯スポーツとしてのレクリエーション1
- 12 生涯スポーツとしてのレクリエーション2
- 13 生涯スポーツとしての野外教育1
- 14 生涯スポーツとしての野外教育2
- 15 まとめ
- 授業アンケートFURIKAの実施

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/mj22imno0030umo5gbxdiobz9vqmuflly>)

富重 純子

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
授業時間割：前期：月・5 時限 試験時間割：2025/07/26 4 時限

概要

西洋文学は、聖書やギリシア神話がおおよその出発点であるとするれば、二千年以上の時間的広がりを持ち、言語も古代の言語から現代ヨーロッパの諸言語にわたります。また、詩、演劇、小説、批評的・哲学的エッセイ等、さまざまなジャンルがあります。これだけ多岐にわたる「文学」でありながら、そこにはさまざまな結びつきがあって、境界を定めることはできないながら、「西洋文学的なもの」がたしかに存在しているのです。そしてふしぎなことに、それは、現在私たちが鑑賞する映画や舞台、音楽に引き継がれているのです。（「テセウスの船」、『ハウルの動く城』、楽曲名の「罪と罰」、バレエ「くるみ割り人形」・・・）

さまざまな言語にわたり、また大きな変遷を経ながら、批判の対象としても引き継がれている「西洋文学」について考えるには、言語自体の変遷や歴史を知ることが不可欠です。この講義は、さまざまな作品を紹介しながら、歴史を軸に西洋文学の世界を描きだすことを目標とします。これはもちろん、大胆で不可能な目標ですが、この広大な世界に分け入っていきましょう。とりあげる作品と結びつきの深い現代の芸術作品、とくに映画に触れていきたいと思えます。

授業の進行・方法

授業は基本的に講義形式で行いますが、紹介する作品のシノプシス（梗概）や本文の抜粋を日本語で読むほか、原語でも示すので、部分的には講読形式の授業でもあります。数回、授業の内容を確認したり、理解を深めたりするための小課題を出します。

アクティブ・ラーニング

いいえ / No

到達目標

著名な西洋文学の作家と文学作品について知識を有している。
(DP1-1)(知識・理解)

文学や思想について、自分のことばで知見を述べるができる。
(DP1-1)(技能)

ヨーロッパに関わる世界史の基本的知識を有している。(DP2-1)(知識・理解)

文学や芸術作品を通じて、他者・異文化・異文脈を理解することができる。(DP2-2)(技能)

現代の世界の諸問題についての関心を持ち、積極的に理解しようとする。(DP4-2)(態度・志向性)

授業時間外の学習(予習・復習)

予習：提示された資料を読んでおく。(45分)

復習：授業でわからなかったところを確認し、授業で得られた知見を図書館等で補う。(45分)

ヨーロッパの文学作品を読む。(90分)

成績評価基準および方法

各到達目標の達成度を基準として、下記の方法と割合により成績評価します。

平常点（小課題提出、授業での発言）30%

定期試験70%

いずれも、授業でとりあげた作家・作品について、どれだけの知識を有しているか、また自分の頭で理解しているかを問います。

テキスト

ホフマン『砂男/クレスペル顧問官』大島かおり訳、光文社古典新訳文庫、ISBN：4334752837

参考書

渡辺京二『私の世界文学案内』ちくま学芸文庫、ISBN：4480094334

履修上の留意点

授業で触れた作品について、図書館などで手に取ってみるよう心がけてください。文学、音楽、美術など、広くヨーロッパの芸術に触れてみましょう。

授業計画

- 1.（スタートアップ授業）授業の進め方と「西洋文学」について
2. 聖書とギリシア神話
3. ローマ帝国のはなし
4. 中世文学の成立
5. 中世文学の伝播
6. 東欧世界のはなし
7. ルネサンスと「各国文学」
8. バロック 音楽と美術と建築のはなし
9. 啓蒙の時代、「自然」と「教育」
10. ロマン主義 詩と音楽のはなし
11. ホフマン「クレスペル顧問官」
12. ホフマン「大晦日の夜の冒険」
13. ホフマン「砂男」
14. バレエのはなし
15. まとめ 授業アンケートFURIKAの実施

スタートアップ授業

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/l821u7cbls1qz3j8m41dnsezj43c453y>)

川島 浩一郎

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
授業時間割：前期：月・4時限、木・2時限 試験時間割：2025/07/26 1時限

概要

コミュニケーションの土台となる、フランス語の文を組み立てる際の決まり、すなわち文法を、体系的に学習する授業です。フランス語を使ったコミュニケーションの実践に必要不可欠となる、基礎的な文法事項を学びます。言語の長期的な学習過程においては、文法を理解し実践できるようになることが必要です。

【内容】具体的には、綴と発音、動詞の活用、否定文、疑問文、名詞、冠詞、動詞avoir、動詞être、形容詞、比較級、最上級、動詞aller、動詞venir、前置詞と国名、複合過去形などの文法項目を学びやすい順番で学習します。

【方法】ひとつひとつの規則を、基本的な文を作る練習問題をとおして定着させます。

【目的】フランス語検定4級レベルの能力を1年間で(前期のフランス語IAと後期のフランス語IBでの学習によって)獲得することを目指します。

【授業形式】授業は、講義形式で文法解説を行ったのち、文法理解を中心とした練習問題に取り組みます。教科書で提供されている練習問題を解くことが中心になりますが、補助的なプリントを用いることもあります。ペアで問題を解いたり、教員に倣って発音練習をしたり、フランス語による一問一答など、インタラクティブ(双方向的)な作業を行うこともあります。積極的な参加を心がけてください。

【注意】なお、このフランス語IAは週に2回授業があります。

授業の進行・方法

- 【講義形式による授業】は、教員が準備した講義資料あるいは直接教科書を使用して進行していきます。
- 【練習問題】に関しては、文法理解の確認を中心に進めていきます。
- 基本的に、予習や(以前の授業の)復習がなされていることを前提に授業を進めます。

アクティブ・ラーニング

はい / Yes

到達目標

フランス語の文法・語彙について基礎的な知識を有している。(DP1-1)(知識・理解)

初歩的なフランス語を理解し、聞き、話し、読み、書くことができる。(DP1-1)(技能)

正確さを重んじ、外国語の習得のために必要な自主的努力を惜しまない。(DP1-1)(態度・志向性)

各回の授業で得た知識を自分なりの方法で自分の中に定着させることができる。(DP1-2)(技能)

フランスを中心に諸外国の文化的・社会的背景について基本的な知識を有している。(DP2-2)(知識・理解)

異文化に適応する柔軟性、また自国の文化を発信する積極性を培う。(DP2-2)(態度・志向性)

外国語によるコミュニケーションを通じて、違いを認め合い相互理解を図ることができる。(DP4-2)(技能)

授業時間外の学習(予習・復習)

予習：テキストのフランス語を書き写し、声に出して読んでください。(45分)

復習：テキストを広げて毎回の授業を振り返り、新たに覚えたことを整理してください。(45分)

成績評価基準および方法

本授業は、各到達目標の達成度を基準として、下記の方法と割合により成績評価します。

- 平常点(積極的な授業参加・発言・小テストなど)：60%(到達目標 〃, 〃, 〃, 〃)
- 定期試験：40%(到達目標 〃, 〃, 〃, 〃)

テキスト

『Voilà -grammaire française de base- ヴワラ!』(著者)伊勢晃、谷口千賀子：早美出版社：2100円(税抜)
ISBN：978-4860420994

履修上の留意点

- 予習および復習がなされていることを前提とした授業です。継続的に出席することが非常に重要です。
- 6回以上の欠席は、授業参加の姿勢において、大幅な減点の対象となります。
- 授業の録画や録音を原則禁止します。
- 定期試験を実施します。

授業計画

- 01.イントロダクション【スタートアップ授業】
授業週開始までに、スタートアップ授業動画を視聴してください。
- 02.アルファベ・綴と発音【0課】
- 03.挨拶・自己紹介【0課】
- 04.数(0 10)【0課】
- 05.動詞の活用【1課】
- 06.否定文【1課】
- 07.疑問文【2課】
- 08.倒置疑問文【2課】
- 09.名詞【3課】
- 10.冠詞【3課】
- 11.ゼロ冠詞【3課】
- 12.動詞avoir【4課】
- 13.動詞être【4課】
- 14.所有形容詞【4課】
- 15.形容詞【5課】
- 16.前半の【まとめ】(中間フォローアップ授業・動画配信)
- 17.指示形容詞【5課】
- 18.比較級(1)【6課】
- 19.比較級(2)【6課】
- 20.最上級【6課】
- 21.allerとvenir【7課】
- 22.前置詞【7課】
- 23.国名【7課】
- 24.助動詞aller【8課】
- 25.助動詞venir【8課】
- 26.複合過去(avoir)(1)【9課】
- 27.複合過去(avoir)(2)【9課】
- 28.複合過去(être)(1)【10課】
- 29.複合過去(être)(2)【10課】
- 30.【まとめ】+【授業アンケートFURIKAの実施】

スタートアップ授業

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/iqo34tr7t1rfw97kfoiirc3loqn1g4s>)

明神 実枝

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：有り 科目水準：入門 試験実施：有り
授業時間割：前期：水・1時限 試験時間割：2025/07/24 4時限

- - - 概要 - - -

マーケティングは社会の中でどのような役割を果たしているのか、それらを上手く行うには理論がどのように役に立つのかを学びます。私たちが生活の中で手にしているブランドや商品・サービスの背後にある、それらの誕生から私たちの手もとに届くまでのプロセス、これが学びの対象です。

まずは、マーケティングと販売の違いを知ることから始めます。一般的にはマーケティング＝販売と誤解されていることがありますが、ピーター・ドラッカー氏は「マーケティングは販売を不要にすること」だと説明します。両者の違いを理解することが基礎として重要です。

次に、どのようにして販売を不要にすることが可能なのでしょう。か。実社会の実践において工夫が重ねられ、それが整理されて基本戦略と呼ばれるようになってきました。製品戦略や流通戦略、ブランド戦略といった概念はその代表です。基本戦略と呼ばれるものは一通り知っておきたいものです。

最後に、マーケティングの理論を用いて国際社会の課題を探り、さらには解決策を考えることによって、理論がどのように役に立つのかが分かり、授業外の出来事について理解を深められるようになることを目指します。

この授業はBYOD（Bring Your Own Device）で実施します。ノートパソコンを持参してください。

*ドイツの企業でマーケティングに従事した実務経験を活かし、欧米のマーケティングと日本のそれとの違い等も踏まえて講義します。

- - - 授業の進行・方法 - - -

授業は、デジタル教科書をもとにした講義形式と、事例に関する議論を行うケース・スタディ方式で行います。ケース・スタディとは、事例に関する議論を通して理論を学ぶ学習方式です。受講者は予習を行って授業に備えます。授業では予習紹介、クイズ、グループでの議論、理解度チェック問題に取り組んで復習します。

- - - アクティブ・ラーニング - - -

はい / Yes

- - - 到達目標 - - -

マーケティングの基礎的な知識を身につけている。(DP1-1)(知識・理解)

商学分野のマーケティングにおいて経営者と顧客の関係を学ぶことを通じて広い視野を培い、物事を多角的に見ることができる。(DP2-1)(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：教科書該当章を読み、重要だと考えるキーワードにマーカーを入れ、そう考えた理由と関連事例を挙げる(90分)

復習：講義中に示された課題に取り組む。(90分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価基準は、上述の到達目標に準じます。
定期試験50%、平常点50%（予習28%、講義中の取り組み・復習22%）で評価します。
尚、講義中の発言・発表、レポートの提出・報告に加点があります。

- - - テキスト - - -

石井淳蔵・廣田章光・清水信年編著『1からのマーケティング 第4版』碩学舎、2019年、本体2,400円+税、ISBN 4502327719

*購入後、以下URL(EDX UniText)からログイン
<https://www.d-text-service.jp/product/>
・組織コードは fufoe
・ログインID・パスワードは購入後に設定可

- - - 履修上の留意点 - - -

この授業はBYOD（Bring Your Own Device）で実施します。ノートパソコンを持参してください。

- - - 授業計画 - - -

- 1.イントロダクション（スタートアップ授業）：販売とマーケティングの違い
- 2.マーケティングの基礎 1 成り立ち
- 3.マーケティングの基礎 2 基本概念
- 4.マーケティング戦略 1 製品
- 5.マーケティング戦略 2 価格
- 6.マーケティング戦略 3 広告
- 7.マーケティング戦略 4 チャネル
- 8.流通の基礎 1 SCM
- 9.流通の基礎 2 営業
- 10.流通の基礎 3 関係構築
- 11.グローバル・ブランド 1 ブランド構築
- 12.グローバル・ブランド 2 ブランド組織
- 13.C S Rとマーケティング
- 14.優秀レポート報告
- 15.まとめ・授業アンケートFURIKA実施

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/cmdhu4oqh02ao0yb2vysz5qbfzqhrol6>)

近藤 祐磨

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し
授業時間割：前期：金・5 時限 試験時間割：定期試験なし

- - - 概要 - - -

地理学は、地域差を追究する学問であり、「空間」の科学である。本授業では、人間が地域や空間をどのようにとらえ、どのように利用してきたのかを、農山村や都市に大きく分けて、さまざまな具体的な事例を挙げながら解説する。それにより、日々の生活上の身近で親しみやすい事例が、地理学や周辺分野との研究と結びつくことで、知的な刺激を喚起する。

地理学の扱う研究対象や内容は多岐にわたり、全てを本授業で網羅することは困難であるが、地理学の基本的な見方・考え方を修得し、本授業以外の学びや日常生活において、地理学的な好奇心・行動力・考察力を発揮できるようになることを目指す。

本授業は講義形式で行われる。

- - - 授業の進行・方法 - - -

本授業は、教員が作成した講義資料をもとに講義形式で行います。講義資料は事前にMoodle上で掲載するので、各自でダウンロードまたは印刷して持参してください。

なお、本授業はアクティブ・ラーニング形式には該当しませんが、数々の問いを適宜受講者に対して投げかけます。そのため、受動的ではなく、積極的に思考しながら受講してください。

授業支援と双方向性確保のため、Moodle上に掲示板（フォーラム）を設置します。授業を聞いて考えたことや質問などを自由に投稿してください。

- - - アクティブ・ラーニング - - -

いいえ / No

- - - 到達目標 - - -

地理学の基礎的な学説・理論を理解し、説明できる。(DP1-1)(知識・理解)

本講義以外の学びや日常生活において、地理学的な好奇心・行動力・考察力を発揮できる。(DP1-1)(態度・志向性)

多様な考え方・価値観に触れ、地理的な事象を多角的に見ることができる。(DP2-1)(知識・理解)

地域や空間に対する人々の多様な考え方・価値観を整理したうえで、自らの考えや立ち位置を表現することができる。(DP2-2)(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

【予習】初回に挙げた文献を読んでおくこと。(60分)

【復習】その回に別途挙げた文献を読んでおくこと。また、授業で学んだ理論や事例について、各自追加で調べて、知見を深掘りしたり広げたりしておくこと。(120分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価基準：授業内容に基づく地理学の見方・考え方や基本的な学説を理解できているか、そしてその学説について考察して自分の言葉で表現できるかを、授業内に実施する2回の振り返りの試験で評価します。

評価方法：授業内試験（前半50%＋後半50%）。Moodle上で実施します。

加えて、掲示板（フォーラム）に書き込んだ内容のうち、特に授業への貢献度が高いものについては、上記の合計点に上限10点で加算します。

本授業は定期試験を実施しないため、再試験を受験することができません。

- - - テキスト - - -

使用しません。配布資料をMoodle上にアップロードします。各自でダウンロードまたは印刷して持参してください。

- - - 参考書 - - -

都市の人文地理学 ISBN 9784772253253

現代農村の地理学 ISBN 9784772231947

はじめて地理学 ISBN 9784860645298

その他は適宜指示します。

- - - 履修上の留意点 - - -

授業内でMoodleを使用するため、ノートPCまたはタブレット端末、スマートフォンの持参が必要です。

履修にあたり、予備知識は特に要しませんが、一斉型の講義形式ながらも、思考や自学を促す場面を多く設定しています。人数の多い講義ですが、能動的・積極的な態度で受講してください。

日常のさまざまな場面が地理学的な考察につながります。講義内容を日常生活のあらゆる場面と関連させ、興味のあることを自ら深めるようにしてください。

履修にあたって合理的配慮が必要な場合は、あらかじめ障がい学生支援センターに相談・申請してください。

出席登録後の退室や代理出席登録（いわゆる「ピ逃げ」や代返）は実態なき出席であり、出席に関する公的記録を欺く重大な不正行為です。試験やレポートなどにあたって生成AIを利用または大きく依拠することも重大な不正行為です。厳正に対応します。

- - - 授業計画 - - -

オリエンテーションと本講義の理念（スタートアップ授業）

地理学の基礎

地図から見える世界

農村の成立と構造

里山という概念とその位置づけ

里山の利用と再評価

食と農業

前半の振り返り（試験と解説）

都市の成立と構造

面と点で考える都市

距離の克服とリアル／バーチャル

身近な交通と暮らし

都市における再開発

景観と場所の文化

後半の振り返り（試験と解説）・授業アンケート

FURIKAの実施

内容は進度などにより変更する場合があります

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

([https://fukuoka-u.box.com/s/](https://fukuoka-u.box.com/s/dk0z65j2ubx0rla77i18l5byww7gq88u)

[dk0z65j2ubx0rla77i18l5byww7gq88u](https://fukuoka-u.box.com/s/dk0z65j2ubx0rla77i18l5byww7gq88u))

片岡 宜行

期別：通年 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し
授業時間割：通年：金・5時限 試験時間割：定期試験なし

- - - 概要 - - -

この授業では、ドイツ語の基礎的な文法を学びながら聞き取りと会話の練習を行い、ドイツ語で簡単な会話ができるようになることをめざします。易しい文から少しずつ学んでいくので、英語に苦手意識がある人も不安に思う必要はありません。異なる文化に属する人たちと心を通わせ、異文化を理解するには、互いの言葉を学ぶことが必要不可欠です。しっかり勉強して、ぜひ旅先で学んだ表現を使ってみましょう。

外国語の運用力を身につけることは、言葉への理解を深める出発点にもなります。ドイツ語は英語ととても近い関係にある言語で、ドイツ語を学ぶことで英語の特徴がよく見えてきます。また、母語を再認識し、母語の運用力を高めるという効果もあります。さらに、ドイツ語学習を通して新しい知識や技能を着実に習得するスキルを身につけておけば、将来どんな場面でも役に立ちます。

この授業では、ドイツに関わる様々なテーマについて簡単な調査を行い発表してもらい、討論を行うことも予定しています。発表や討論は、教科書各課の「プロジェクト活動（Projektarbeit）」を扱う際に行いますが、テーマは受講者の皆さんの関心に基づいて選択することもあります。授業後には発表と討論の成果を簡単にまとめてもらいます。受講者相互で発表しあい、楽しく知識を深めていきましょう。

- - - 授業の進行・方法 - - -

この授業は、知識の習得を授業前に済ませ、その知識を用いた活動（会話練習など）を授業時に行う反転授業の形で行います。また、発表や討論を通じて受講者がともに学ぶ機会を設けます。

- - - アクティブ・ラーニング - - -

はい / Yes

- - - 到達目標 - - -

(1) 学んだドイツ語の知識を活用し、簡単な聞き取りと会話ができる(DP1-2)(技能)

(2) 新しい知識や技能を積極的に習得する姿勢を持っている(DP1-2)(態度・志向性)

(3) ドイツ語圏の文化・社会に関する特定のテーマについて説明できる(DP2-2)(知識・理解)

(4) 発表や討論に積極的に取り組み、共同での学習に貢献することができる(DP4-2)(技能)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：教科書の文章を読み、文章中の語句の意味を調べる。また、発表を行う授業の前にはその準備を行う。(45分)

復習：授業で学んだ表現を繰り返し口頭で練習し、知識を定着させる。また、発表と討論を行った際には、その成果をまとめる。(45分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

本授業は、各到達目標の達成度を基準として、下記の方法と割合により成績評価します。

授業期間内テスト：50%（到達目標：1、2）

平常点（予習・復習への取り組み、授業での発表や討論への積極的な参加）：50%（到達目標：1、2、3、4）

このクラスは定期試験期間中に試験を実施しません。よって再試験も実施しませんので注意してください。

- - - テキスト - - -

[Title] 『ドイツ語の時間 わくわくライブツィヒ』
[Author(s)] 清野智昭
[Publisher] 朝日出版社
[ISBN] 978-4-255-25460-9
「ドイツ語IA」と共通

教科書のサンプル動画はこちら

- - - 履修上の留意点 - - -

段階的に学習するため、授業に出席することが重要です。また、授業時間外の学習に着実に取り組んでください。辞書を購入する必要はありません。

- - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション（スタートアップ授業）
2. あいさつ表現など
3. 第1課 場面1（ライブツィヒ中央駅）
4. 第1課 場面2（まだライブツィヒ中央駅）
5. 第1課 プロジェクト活動（ヨーロッパの都市）
6. 第2課 場面1（まだまだライブツィヒ中央駅）
7. 第2課 場面2（シューベルト家）
8. 第2課 プロジェクト活動（部屋の名称）
9. 第3課 場面1（市場で）
10. 第3課 場面2（焼きソーセージ・インピスの前で）
11. 第3課 プロジェクト活動（レシピを読む）
12. 第4課 場面1（私の日常）
13. 第4課 場面2（ローゼンタールでのジョギング）
14. 第4課 プロジェクト活動（天気）
15. 授業期間内テスト1
16. 前期の復習（中間フォローアップ授業）
17. 第5課 場面1（動物園で）
18. 第5課 場面2（学生食堂で）
19. 第5課 プロジェクト活動（動物園）
20. 第6課 場面1（諸国民戦争記念碑）
21. 第6課 場面2（診療所で）
22. 第7課 場面1（ブティックで）
23. 第7課 場面2（アウアーバッハス・ケラー）
24. 第7課 プロジェクト活動（モードと衣料）
25. 第8課 場面1（ワインテイスティング）
26. 第8課 場面2（中庭で）
27. 第9課 場面1（トーマス教会で）
28. 第9課 場面2（旧国家保安省博物館前）
29. 第9課 プロジェクト活動（ドイツの歴史）
30. 授業期間内テスト2、授業アンケートFURIKA実施

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/5kgeh5r9bgaotrnrwhktsxzwzbaj6towx>)

村石 麻子、田口 武史

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義及び演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：授業時間割：後期：火・5 時限 試験時間割：

概要

現代の日本においてヨーロッパについて学ぶ意味とは何か、この根本的問いと向き合い、実習を通して自分なりの学修の展望を得ることが、ヨーロッパ学入門の全般的目標です。

ヨーロッパないし欧米の文化は、近代以降の世界を強引に牽引し、方向付けてきました。我々の価値観や振る舞いも欧米の強い影響下にあることは間違いありません。ところが21世紀の現在、欧米の支配的地位はあきらかに揺らぎつつあります。グローバル化、世界の多極化です。この新しい時代状況に臨んで、我々の現在地を、すなわちヨーロッパが作り上げてきた世界と人間像とはどのようなものなのかを、多様な観点から反省的に捉える必要があるでしょう。

そこで本授業では、（前期とは逆方向に）過去から現代と未来への視線でヨーロッパ文化を洞察します。

授業の進行・方法

最初の2回は前期を振り返りつつ、後期の学習内容を導入するガイダンスに当てられます。

3回目以降の授業では、前半部で、ヨーロッパ文化の根幹をなす物語である「ギリシア・ローマ神話」と「聖書」（[参考書]に挙げた文献などを用いて、各自で情報収集してもらいます）に触れます。語られている内容について紹介しあうとともに、それらの物語を題材として作られた後代の文学・芸術作品、娯楽作品ないしは前期に取り扱った現代的諸問題との連関について検討します。

後半部では、自分の選んだ本（配布する「おすすめ本リスト」から選択）についてプレゼンテーションします。また学期末には、発表内容をレポートにして提出します。レポートにおいては、執筆のマナー、とりわけ引用の作法や、パソコンでの入力、とくに原語を引く際のドイツ語・フランス語入力のしかたを身につけることができるよう、指導を行います。

アクティブ・ラーニング

はい / Yes

到達目標

ヨーロッパの人々が古来親しんできたさまざまな物語についての知識を有している(知識・理解)

欠けている知識について情報を集め、簡潔な文章の形で整理することができる(技能)

ヨーロッパ文化に対する学術的興味と探究心を有している(態度・志向性)

自分とは関心のありかを異にする他の学生の発言に耳を傾け、積極的に質問したり意見を述べたりする志向性を有している(態度・志向性)

授業時間外の学習(予習・復習)

指定されたテキストを熟読し、未知の事項について情報を補う。得られた知識を整理し、（担当時は発表のかたちで）他者に説明できるようまとめる(120分)

学習事項を振り返り、コメント（ミニツツペーパー）を書く(60分)

成績評価基準および方法

資料をきちんと活用してレポートを書けるか、ヨーロッパ文化の基礎的事項を理解しているかどうかを中心に、到達目標に照らして評価します。

発表2割、授業の参加度＝発言・質問・コメント（ミニツツペーパー）など3割、レポート5割を目安として、総合的に評価します。

＊この授業は定期試験を実施しないため、再試験を受験することはできません。」

テキスト

『旧約聖書・創世記』（改版）関根正雄訳、岩波書店、1967年

参考書

- ブルフィンチ『ギリシア・ローマ神話』野上弥生子訳、岩波文庫、1978年 ISBN：4003222512
 - 庄子大亮『世界の見方が変わるギリシア・ローマ神話』河出書房新社、2022年 ISBN：4309228453
 - 『聖書 新共同訳NI53』日本聖書協会、1996年 ISBN：4820212117
- その他、授業中に適宜指示します。

履修上の留意点

- ＊授業内での考察や意見交換・議論を重視します。共に授業を作り上げる姿勢を期待しています。
- ＊入念な予習とコンスタントな出席が必須です。
- ＊本授業ではカードリーダーの記録に基づいて出席管理します。学生証をカードリーダーにかざし忘れた場合は、必ずその授業の直後までに申し出てください。
- ＊当科目は定期試験を行わないので、再試験を受験することはできません。

授業計画

- 第1回 シラバスの説明およびガイダンス：発表のしかた・レポートの書き方（スタートアップ授業）（田口・村石）
- 第2回 ガイダンス：レポートとレジュメの書き方（田口・村石）
- 第3回～第15回 発表と討論（田口・村石）
- 第15回 授業アンケートFURIKAの実施

スタートアップ授業

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/qo8dgubgb5xig1z02mmbqq76fpbbbaq6>)

堀 雅志

期別：後期 単位数：2 開講年次：3 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：中級 試験実施：有り
授業時間割：後期：水・2 時限 試験時間割：2026/01/15 6 時限

- - - 概要 - - -

ライン河の言語文化

ライン河を主人公に据え、ドイツ語とフランス語の対立、影響、共存の関係を地理的、歴史的に考察します。その際、源流を持つスイス、河口域のネーデルラントも考察対象とします。

第一に、古代ローマとガリアとゲルマンの関係から、ドイツ語圏とフランス語圏に分かれてゆくさまを眺め、第二に、ライン河に纏わる伝説の伝播を概観します。第三にアルザス（エルザス）地方を例に、近世から現代までの「言語戦争」のありさまを文学作品なども参照しながら検証します。そして最後にドイツ語とフランス語が共存する現在の状況について考えてゆきます。

ライン河を言語的に辿ることを通じて、独仏両文化に受講者自身にとっての「橋」を渡してみましょ

- - - 授業の進行・方法 - - -

授業は原則として、講義形式で行われますが、各回授業後半にグループ討議を行い、グループごとに議事録（ミニッツペーパー）を提出してもらいます。

- - - アクティブ・ラーニング - - -

はい / Yes

- - - 到達目標 - - -

ヨーロッパの言語の特質およびその文化的背景に関して幅広い知識をうる。(知識・理解)

言語論において用いられる基礎的な専門用語に関する知識をうる。(知識・理解)

ヨーロッパの言語論をふまえて、言語をめぐるさまざまな現象について考えをまとめることができる。(技能)

ヨーロッパの言語的特徴やその文化的背景に対する興味関心を持つ。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

復習：講義後にノート及び配布プリントを読みかえして言語論の歴史的な流れを把握し、それぞれの時代を特徴づける事象や言語現象に関する基礎知識を確実に身につける。(90分)

予習：それをふまえて指示された言語現象・社会現象について自分の意見をまとめて提出できるようにする。(90分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

ミニッツペーパー、トピック毎の小レポート50%。
ヨーロッパの言語の特質、文化的背景に関する知識が定着しているか（ ）を評価基準とします。

定期試験50%。
言語論において用いられる専門用語を正しく使用し、言語をめぐる現象について考えをまとめることができているか（ ）を評価基準とします。

- - - テキスト - - -

適宜自作プリントを配布します。

- - - 参考書 - - -

加藤雅彦『ライン河』，岩波新書，1999年。 ISBN 978-4004306399
ウージェーヌ・フィリップス『アルザスの言語戦争』，白水社，1994年。 ISBN 978-4560080771

- - - 履修上の留意点 - - -

ドイツ語学科，フランス語学科両学科学生の受講を歓迎します。

- - - 授業計画 - - -

- 1 オリエンテーション（スタートアップ授業）
2 ライン河源流のはなし
3 古代ローマとガリアとゲルマン
4 ライン河をめぐる伝説
5 ニーベルンゲン
6 ローレライ
7 アルザスとエルザス
8 ライン河とルネサンス
9 ナポレオンとライン河
10 ユーゴ『ライン河幻想紀行』
11 ドーデ『最後の授業』
12 二十世紀の言語戦争
13 ジンメル『橋と扉』
14 現在のライン河
15 これからのライン河 討論とまとめ，授業アンケート
FURIKAの実施

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/50c7u2a45vm5bfoacj749merc15ql4n7>)

川島 浩一郎

期別：後期 単位数：2 開講年次：3 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：中級 試験実施：有り
授業時間割：後期：水・2 時限 試験時間割：2026/01/23 5 時限

概要

フランス語学とは、フランス語を対象とした言語学のことを指します。言語学とは、言葉を研究の対象とし、その仕組み、法則性を明らかにしていく学問の一分野です。本講義はフランス語を題材に、言語学という学問分野を体系的に学びます。よりよい理解のためフランス語だけでなく日本語についても取り上げます。基本的に講義形式で進行しますが、受講者が自分自身で考えることを重視するため、発言や個人あるいはグループでの口頭発表を随時求めます。以上を通して、事象を観察する・問題を発見する・法則性を見出す、という言語研究の基本的な姿勢を身に付けます。

【科目の位置づけ】

主に次のことを行うための授業です。
・フランス語学（フランス語を対象とした言語学）の基本的な考え方を学ぶ
・言語を考察の対象とするという（つまり言語を客観化するという）姿勢を身につける
・言語学史、言語研究方法、記号論、意味論、語用論、社会言語学の基本を学ぶ
・言語に関する論点を検討し、それについて口頭発表をする

【科目のねらい】

主に次のことを目標とします。
・文法的な知識を言語学の理解に活用できる
・授業で学習したフランス語学の基本概念を説明することができる
・適切な手順をふまえて口頭発表をすることができる
・口頭発表に積極的に取り組むことができる

授業の進行・方法

・講義形式で進行する
・ただし発言や個人あるいはグループでの口頭発表を随時求める
・自分で考えた（言語に関する）論点について口頭発表を行う

アクティブ・ラーニング

はい / Yes

到達目標

文法的な知識を言語学の理解に活用できる。（知識・理解）

授業で学習したフランス語学の基本概念を説明することができる。（知識・理解）

適切な手順をふまえて口頭発表をすることができる。（技能）

口頭発表に積極的に取り組むことができる。（態度・志向性）

授業時間外の学習(予習・復習)

予習：すでに授業で学習したことを確認し、問題意識を明確にしておいてください。宿題や口頭発表の準備がある場合は、それを行ってください。（90分）

復習：その回の授業内容が理解できているかを確認し、疑問があれば、次の授業で質問できるように準備してください。（90分）

成績評価基準および方法

(1) 評価基準

文法的な知識を言語学の理解に活用できることを評価の基準とする。
授業で学習したフランス語学の基本概念を説明できることを評価の基準とする。
適切な手順をふまえて口頭発表ができることを評価の基準とする。
口頭発表に積極的に取り組めることを評価の基準とする。

(2) 評価方法

定期試験は、フランス語学の基本概念を自分の言葉で、具体例と結びつけて正確に説明できているかどうかを評価の基準とする。
口頭発表は、適切な資料を作成し、定められた発表時間を守って、それぞれの課題にたいする自分の見解と論拠を明確に示していることを評価の基準とする。なお授業時間内での口頭発表をしないことは、大幅な減点の対象となります。

(3) 割合

定期試験の成績60%、口頭発表等の平常点40%で総合的に評価する。

テキスト

教員が配布するプリントによる。

参考書

フランス語学小事典 ISBN 978-4-411-02126-7

フランス語学概論 ISBN 978-4-411-02232-5

履修上の留意点

言語学の授業です。フランス語の運用能力を高めることを目的とする授業ではありません。
口頭発表の内容と日程を第2回目の授業で決めますので、欠席しないようにしてください。
授業の撮影や録音を、原則、禁止します。ノートを適切にとることも、授業の一部分だからです。
講義に出席しなければ、平常点が加算されません。全授業回数の3分の1以上欠席すると単位取得が困難となります。

授業計画

第1回 イントロダクション（スタートアップ授業）
授業週開始までに、スタートアップ授業動画を視聴してください。
第2回 言語研究方法 (1)
第3回 言語研究方法 (2)
第4回 言語学史 (1)
第5回 言語学史 (2)
第6回 記号論 (1)
第7回 記号論 (2)
第8回 意味論 (1)
第9回 意味論 (2)
第10回 意味論 (3)
第11回 意味論 (4)
第12回 語用論 (1)
第13回 語用論 (2)
第14回 社会言語学
第15回【まとめ】+【授業アンケートFURIKAの実施】

スタートアップ授業

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/5nasp8sf2i45f74vxdxae1w1bqxr26xp>)

廣澤 孝之

期別：後期 単位数：2 開講年次：2 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：初級 試験実施：有り
授業時間割：後期：火・3 時限 試験時間割：2026/01/15 5 時限

- - - 概要 - - -

近現代の日本政治外交史について概説する。西洋の衝撃による幕末の開国以来、日本は、殖産興業・富国強兵を合言葉に急速な近代国家の形成を目指し、また日清戦争以来幾たびの対外戦争によって帝国主義国の仲間入りをしてきた。そうした近代国家の歩みが敗戦により挫折したのちは、経済大国を目指してひたすら経済の拡大による豊かな社会の実現を図ろうとしてきた。こうした約150年間の近代日本社会の歩みについてまず理解することが重要である。さらに本格的な人口減少・経済の縮小によって根本的な転換を迫られている現在の観点から改めて歴史を振り返り、日本政治外交の課題について考えることにしたい。

講義の進め方としては、テキストに沿って基礎的な概念が理解できるように板書の内容を工夫するなど理解のスピードに配慮して丁寧に授業を進める。復習を効果的に行うためにも講義ノートをしっかりとることが重要である。

受講生の日本近現代史に関する知識が必ずしも十分ではないことに配慮して、適宜資料等を配布して知識を補いながら、いくつかのトピックを取り上げて講義を進めていく。日本政治外交の歴史を振り返りながら、現代の日本政治が抱えているさまざまな政策的諸課題を考察することが目標である。

- - - 授業の進行・方法 - - -

この授業では教科書の内容を深める形で、具体的事例を取り上げながら講義を進めていきます。集中して講義を聞き、要点を適切にノートにとることが必須です。必要に応じて年票を座右に置くなど、受講者も史実の把握に努める必要があります。

- - - アクティブ・ラーニング - - -

いいえ / No

- - - 到達目標 - - -

- 日本政治外交についての基礎的な知識を習得する。(知識・理解)
- 日本政治の政策課題について、幅広い視点から考察する能力を養う。(技能)
- 日本や近隣諸国の地理や歴史に興味を持ち、日本を取り巻く国際環境に関して広く関心を持つ。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- 予習 テキストを熟読し、基本的史実をしっかり把握する。(90分)
- 復習 講義内容を踏まえて、歴史的展開過程を説明できるように講義ノートを整理する。(90分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験60%と平常点40%(平常点はレポートやノート提出等による)との総合評価とする。到達目標にある歴史に対する広い関心と政策課題に対する合理的な思考力の有無を基準として平常点を評価し、自分の言葉で日本政治外交について説明するための基礎的知識の定着度を定期試験の重要な評価基準とする。

- - - テキスト - - -

廣澤孝之著『日本政治の政策課題』晃洋書房、2012年、2800円,ISBN978-4-7710-2385-7

- - - 参考書 - - -

講義のなかで適宜指示する。

- - - 授業計画 - - -

- はじめに{スタートアップ授業}
- 近現代日本政治の歩み(概説)
- 西洋の衝撃と明治維新
- 天皇制国家の形成
- 大正デモクラシー
- 大日本帝国の崩壊
- 戦後改革
- 「55年体制」の成立
- 自民党支配体制
- 保守政治の転換
- 新しい政党システムの模索
- 日米安保体制の転換
- 新しい東アジア地域秩序
- 日本政治の政策課題
- まとめ FURIKA実施

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/309okqs3k6h6w5ve0wexy4dtwu39q8dq>)

恩田 正行

期別：後期 単位数：4 開講年次：2 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：初級 試験実施：有り
授業時間割：後期：月・3時限, 4時限 試験時間割：2026/01/22 1時限

- - - 概要 - - -

福岡大学経済学部と他学部の履修生を対象とする経済統計論の講義です。コンピュータを用いたデータの取り扱いと統計的思考は、よき社会人にとって必須の能力・資質となりつつあります。この講義は、大卒人材として求められる最低限の統計リテラシーを履修生に指導し、データプロダクトのよき消費者を育成することを目指します。

この講義は、前半と後半で異なる内容を学びます。授業計画の前半で、履修生はExcelの基本操作とExcelを用いたデータの整理および可視化を学びます。後半で、記述統計、データの加工、GDPや物価指数などの経済統計の基礎知識と活用方法を学びます。

この科目の講義は、講義形式で進めます。

- - - 授業の進行・方法 - - -

講義形式で実施します。履修生はテキストの出版社が提供する動画を視聴し、知識や技能を講義の前に学びます。講義中、履修生は個票記録を含むデータを用いた課題に取り組み、知識および技能の習熟を目指します。

- - - アクティブ・ラーニング - - -

いいえ / No

- - - 到達目標 - - -

- Excelを用いた個票記録を含むデータの整理および可視化を行うことができる。(技能)
- 経済統計を活用して論文およびレポートを作成することができる。(技能)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- 予習：教科書を読む。テキストの出版社が提供する動画を視聴する。(90分)
- 復習：授業で学んだことを整理する。(90分)
- 微分積分学に不安のある、または学んだことがない履修生：解析学の知識なくして、近代経済学を理解できません。参考書「解析入門 原書第3版」の全ての問いを解くことをお勧めします。(180分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価方法：中間試験(40%)と定期試験(60%)の合計100%で評価します。中間試験は第15回目に実施します。

中間試験で、履修生がどの程度次の二つの到達目標に関する評価対象を修得しているかを測定します。

- 記述統計、データ可視化、そして経済統計の基礎知識を理解しているか否か
- Excelの基本的な使い方を習得できているか否か。

定期試験で、履修生がどの程度次の二つの到達目標に関する評価対象を修得しているかを測定します。

- データ可視化の基礎知識を理解しているか否か。
- 経済統計の基礎知識を理解しているか否か。

- - - テキスト - - -

1. 羽毛田睦土 & できるシリーズ編集部 『できるExcel2021 Office 2021 & Microsoft 365両対応』インプレス 2022年1,298円 ISBN 9784295013242
2. 立教大学社会情報教育研究センター 『日本の公的統計・統計調査 第三版』三恵社 2023年2,200円 ISBN 9784866937748

- - - 履修上の留意点 - - -

1. Bring Your Own Device (BYOD)科目です。講義にノートパソコンを持ってくるください。
2. 【テキスト】1を第2回目講義で使います。
3. 【テキスト】2を第15回目以降の講義で使う予定です。

- - - 授業計画 - - -

- 第1回目：イントロダクション（スタートアップ授業）
第2回目：Excelを使ってみよう
第3回目：入力の基本操作をマスターしよう
第4回目：セルの操作方法を覚えよう
第5回目：数式や関数を使ってみよう
第6回目：表の見栄えを整えよう
第7回目：グラフと図形の使い方を学ぼう
第8回目：データ可視化の基礎知識
第9回目：色とデザインの基礎知識
第10回目：ブックとシートの使い方を学ぼう
第11回目：数式と参照を使いこなそう
第12回目：必須の関数を使いこなそう
第13回目：関数で作業効率をアップしよう
第14回目：データ集計をマスターしよう
第15回目：中間試験
第16回目：復習（中間フォローアップ授業）
第17回目：ピボットテーブルを使いこなそう
第18回目：データの分布をとらえる
第19回目：分布の特性
第20回目：変化の記述 (1) 時系列データ、季節性と季節調整
第21回目：変化の記述 (2) 変化率・寄与度、指数、名目と実質
第22回目：統計の役割と統計法規
第23回目：わが国の統計作成のしくみ
第24回目：統計調査の実際
第25回目：人口統計
第26回目：雇用統計
第27回目：生活関連統計
第28回目：物価統計
第29回目：産業・企業統計
第30回目：国民経済計算とまとめ・授業アンケートFURIKAの実施

合計30回の授業を、上記の予定で実施する予定です。しかし、授業の進捗度に応じ、予定を変更する可能性があります。

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/t1nzs74pkahoxza3m56jqjqqvert88i98b>)

渡邊 淳一

期別：後期 単位数：2 開講年次：3 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：中級 試験実施：無し
授業時間割：後期：水・2時限 試験時間割：定期試験なし

- - - 概要 - - -

今日の社会では人間関係の重要性は十分に認識され、カウンセリングやコーチングなどの実務が多くの企業や組織において必要不可欠なものとなっています。「人間関係論B」は「ベンチャー起業論」を補完する関連科目として、社会や組織での人間関係を実務家の方々によるオムニバス形式により、現場に則した観点からケーススタディとして展開していきます。

2000年にノーベル経済学賞を受賞したジェームズ・ジョセフ・ヘックマンの研究を始め、近年の調査や研究で知能指数やペーパーテストなどでは測ることができない非認知能力と呼ばれる能力が、数値化できる認知能力以上に人生の成功に重要な役割を果たしていることが明らかになっています。非認知能力にはいくつかのものがあありますが、その代表的なものとして「意欲を高く集中して取り組む夢中力」があります。

「モチベーション（＝やる気）を上げていくにはどうすれば良いのか」が「人間関係論B」のテーマです。この授業で学ぶことによって、あなたが近い将来社会に出たときに「自分は何を期待されているのか」「どう行動すればよいのか」をスムーズに理解でき、組織を担い頼りにされる人材に成長できると思います。

また、現場経営の実務や業界の現状に関する話しも当然出てきます。卒業後の進路を考える際に役に立ててください。この授業で学んだことを知識として身に付けるだけでなく、実践することで自分の成長につなげていくことを期待しています。

- - - 授業の進行・方法 - - -

授業は講師の方の講義に引き続き、学生からの質問を含め、講師と学生との間のディスカッションを進めていきます。積極的な授業参加が求められます。

- - - アクティブ・ラーニング - - -

はい / Yes

- - - 到達目標 - - -

社会や組織における人間関係の重要性を認識し、社会や組織において生産性を上げるより良い人間関係を構築する具体的な方法を習得している。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業に来られる講師やその方の会社などをホームページなどで調べて、講義の予備知識としてください。それを予習とします。(30分)

毎週、レポートの提出を課します。レポートでは
1) ノートや配付資料を読み直し、講義内容を1,000字から1,500字程度で要約し、
2) それに対する(感想ではなく)自分の意見や考えを1,000字から1,500字程度にまとめてください。講義の理解を確かにするためです。それを復習とします。(150分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価は下記の10回以上の条件を満たしたうえで、レポート(約70%)と授業中の発言・質問など(約30%)で行います。

レポートは到達目標の達成度を測るために、
1) 講義の本旨を捉え内容を的確に要約できているか
2) 講義の内容に対して(感想ではなく)自分の考え・意見を明瞭に表現できているかを評価基準とします。

レポートは講義があった週の金曜日の16:30までに、
1) プリントアウトをしたものを文系センター1階のレポートボックスに入れること、それと、2) レポートを指定されたアドレスにメールにファイルを添付して送ること。

両方をおこなって「提出」とみなします。
期限を過ぎたレポートは一切受け付けません。
レポートをメールで送信する場合は、必ず@cisから送ってください。

この講義はその性格上、毎回出席することが求められます。したがって、14回の対面授業のうち出席しかつレポートを提出する回数が10回に満たなければ、出席停止や忌引などの例外的なことがない限り(就活や部活、教育実習による欠席は考慮しません)、成績は不可(60点未満)とします。もちろん、10回以上出席すれば必ず60点以上になるというわけではありません。

欠席や遅刻、授業中の居眠りなどに対しては厳しく対応します。減点の対象になるということです。

レポートや出席に関して一度でも不正行為をした者の成績は不可(60点未満)とします。

定期試験を実施しないため、追試験および再試験を受験することはできません。

- - - テキスト - - -

なし

- - - 履修上の留意点 - - -

この科目は登録制限科目です。授業を欠席するような人は登録の申し込みをしないでください。

緊張感を持って講義に出席してください。学外の講師の方々が貴重なお時間を割いて福岡大学に来てくださいます。受講生には失礼のない態度を求めます。

この講義用にB5版のノートを用意し、講義を聞く際にはノートをきちんと取るようにしてください。授業中のノートパソコンやタブレット、スマホの使用は禁止します。ノートパソコンを使った学生の理解度は紙とペンを使った学生よりかなり悪かったというさまざまな研究や実験の結果があるからです。この講義でもその傾向は強くあります。

講義に出席の際は学生証を必ずカードリーダーを通してください。

- - - 授業計画 - - -

1. 渡邊淳一・イントロダクション(スタートアップ授業)
「アカデミック・インテグリティ」
2. 9/17 渡邊淳一・前田拓邦(社会保険労務士法人プロフェス代表)
「社会保険労務士の職務」
3. 9/24 渡邊淳一・古賀正博(一般社団法人福岡中小企業経営者協会常務理事)
「出会い力」
4. 10/1 渡邊淳一・松居峻介(ビッグ・フィールド・マネジメント(株)取締役)
「コミュニケーションの幅を広げるソーシャルスタイル思考法」
5. 10/8 渡邊淳一・松居峻介(ビッグ・フィールド・マネジメント(株)取締役)
「自分の持つ力と可能性を引き出すセルフコーチング法」
6. 10/15 渡邊淳一・納富大輔((有)一柳執行役員営業本部長)
「100年企業と後継者」
7. 10/22 渡邊淳一・筑前りょう太(NPO法人九州プロレス理事長)
「プロレスを通じての不登校児・ニート対策や老人ホーム・障がい者施設慰問」
8. 10/29 渡邊淳一・森五岳((株)プレミアムロジックス代表取締役)
「JR九州における私の人間関係論」
9. 11/5 渡邊淳一・包行良光((株)筑水キャニコム取締役社長)
「ものづくりは演歌だ、全てはお客様のために」
10. 11/12 渡邊淳一
「ゲストスピーカー：緒方大助・(株)マイスタヴェルク取締役」
11. 11/19 渡邊淳一
「ゲストスピーカー：鈴木啓之・シロアム教会牧師」
12. 11/26 渡邊淳一・井上泰寿((有)ウエル総合企画代表取締役社長)
「夢はつかみ取り：いつからだって何だって夢はなくとも起業はできる」
13. 12/3 渡邊淳一・藤本亨(元西部ガスリビング(株)代表取締役社長)
「職場の人間関係」
14. 12/10 渡邊淳一・飯田剛也((株)タウンズポスト社長)
「公益資本主義」
15. 12/17 渡邊淳一・大野尚(ビッグ・フィールド・マネジメント(株)代表取締役)
「ガバナンスの真実」

最終回の授業でFURIKAを実施します。

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/afymjhikj0irrlscoj92m7jwr4zkhheb>)

大上 麻海

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り

授業時間割：後期：火・1時限 試験時間割：2026/01/19 2時限

- - - 概要 - - -

- - - テキスト - - -

今日，外部環境の変化のスピードはますます速まり，組織は常に変化を余儀なくされています。また，社会の様相が変化していくに従って従業員個人が日々の仕事を行う上でどのように感じ，考え，行動するのかも変化していきます。したがって，組織は外部環境だけでなく組織内部の従業員に，そして従業員の心理にも注意を払い経営をしなければなりません。

開本浩矢編著（2019）ベーシック＋（プラス）／組織行動論．中央経済社．2,640円（税込）
ISBN：978-4-502-29561-4

- - - 参考書 - - -

この授業では，組織における従業員の心理をどのように捉えれば良いのかについて理論を通じ学びます。その上で，事例を交えながら，また自身の言葉を用いて，理論を説明できるようになることを目指します。さらに，理論の学習を通じ自身が組織の中で働くとはどういうことかについても考えを深めていきます。

授業内で適宜提示します

- - - 履修上の留意点 - - -

この授業はBYOD（Bring Your Own Device）で実施します。何らかのデジタルデバイスを持参してください。

・期末試験のみでなく，日々の提出物にも大きな点数が配点されています。授業に積極的な姿勢で臨んでください。

・経済ニュース（テレビ、Web、新聞、雑誌等）に日頃から触れ，企業の動きに注目しておいて下さい。

・他の受講者の学習を妨げる行為は禁じます。

- - - 授業の進行・方法 - - -

本授業は座学の講義形式で行います。受講生はテキストおよび配付資料で各自予習を行って授業に臨み，授業の中で詳細な説明や具体的な事例を学びます。受講生同士の議論やワーク等はい行いませんが，webツールを使って簡易的な意見表明を行うことで教員の提示する議論に参加することができます。

- - - 授業計画 - - -

- - - アクティブ・ラーニング - - -

いいえ / No

- - - 到達目標 - - -

経営心理学の基礎的な知識および理論について説明することができる(知識・理解)

経営心理学の知識および理論を用いて，企業の管理手法について問題を発見することができる(技能)

経営心理学の基礎的な知識を用いて，企業の管理手法上の問題について解決策を提案することができる(技能)

授業時間外の学習（予習・復習）を通じて、経営心理学の知識・理論と現実との対応について考察でき、授業外でも学びを深めることができる。(態度・志向性)

1. オリエンテーション(スタートアップ授業)
2. 経営と従業員の心理（1）
3. 経営と人の心理（2）
4. モチベーション（1）
5. モチベーション（2）
6．組織コミットメント
7. リーダーシップ（1）
8. リーダーシップ（2）
9. 組織的公正
10. キャリア・マネジメント
11. 組織ストレス
12. 組織市民行動
13. ダイバーシティ・マネジメント
14. プロフェッショナル・マネジメント
15. 総括および授業アンケートFURIKA実施

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業後に企業の問題について調べ，それに対する自身の意見を整理する(90分)

授業前にテキストの指定部分を読み，内容を理解する(90分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価基準：到達目標を達成しているかどうか。

評価方法：期末試験（50％），ミニッツ・ペーパーおよび小課題（40％），質問等授業への積極的な参加（10％）を用いて評価する。

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/hj4afsucb1knps2i26786eadwq144wpc>)

明神 実枝

期別：後期 単位数：2 開講年次：2 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：有り 科目水準：初級 試験実施：有り
授業時間割：後期：金・2時限 試験時間割：2026/01/15 4時限

- - - 概要 - - -

皆さんは友達との待ち合わせや時間つぶしにお店に入ったことがありますか。店に入って商品を見てから買うかどうかを決めたことがありますか。値札を見てから商品を買うかどうかを決めたことがありますか。これらの当たり前となっている買い物の光景はいつから当たり前なのでしょう。これらの光景は、志ある小売経営者によるイノベーションによってもたらされてきました。そのことをまず驚き、そして常識が覆されて買い物の当たり前が刷新されてきた経緯に目を向けたいと思います。

流通のイノベーションが起きてきたのはそう遠い昔ではなく、呉服屋が百貨店に生まれ変わった約100年前のことです。それ以来、イノベーションが繰り返され、流通システムは大きく進化し続けてきました。さて、皆さんはイノベーターとなった偉大なる小売経営者を何人知っていますか。偉大なる小売経営者はどのようなビジネスモデルを構築しましたか。それらは日本の流通システムをどのように進化させましたか。

このような関心を持って流通システムを理解することが本授業の狙いです。

具体的には、日本特有の流通システムを実現した経営者の意思、ビジネスモデルの構築、マーケティング活動などの仕組みについて優れた事例を通して理解し、その際に必要となる理論・概念を身につけます。そうして身につけた理論・概念を駆使して近年の課題を探り、さらには解決策の提案までできるようにすることを目指します。

この授業はBYOD（Bring Your Own Device）で実施します。ノートパソコンを持参してください。

*ドイツの企業でマーケティングに従事した実務経験を活かし、欧米のマーケティングと日本のそれとの違い等も踏まえて講義します。

- - - 授業の進行・方法 - - -

授業は、デジタル教科書をもとにした講義形式と、事例に関する議論を行うケース・スタディ方式で行います。ケース・スタディとは、事例に関する議論を通して理論を学ぶ学習方式です。受講者は予習を行って授業に備えます。授業では予習紹介、クイズ、グループでの議論、理解度チェック問題に取り組んで復習します。

この授業はデジタル教科書を用いて授業を行い、クイズなど教員が作成した内容は教科書上に共有します。

- - - アクティブ・ラーニング - - -

はい / Yes

- - - 到達目標 - - -

流通システムをはじめとする商学の高度な知識を身につけている。(知識・理解)

地域的または国際的な流通システムをはじめとする商学の知識を身につけている。(知識・理解)

流通システムの知識および理論を用いて課題を発見することができる。(技能)

流通システムの知識および理論を用いて解決策を提案することができる。(技能)

授業時間外の学習（予習・復習）を通じて、それらと現実との対応や参考文献などの内容について自主的に考察でき、授業外でも学びを深められる積極性を自ら育むことができる。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：教科書該当章を読み、重要だと考えるキーワードにマーカーを入れ、そう考えた理由と関連事例を挙げる。(90分)

復習：授業中に示された課題に取り組む。(90分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価基準は、上述の到達目標に準じます。
定期試験50%、平常点50%（予習28%、講義中の取り組み・復習22%）で評価します。
尚、講義中の発言・発表、レポートの提出・報告に加点があります。

- - - テキスト - - -

崔相鐵・岸本徹也編著『1からの流通システム』碩学舎、2018年、2,640円、ISBN 9784502261916

- * 購入後、以下URL(EDX UniText)からログイン
<https://www.d-text-service.jp/product/>
- ・組織コードは fufoe
- ・ログインID・パスワードは購入後に設定可

- - - 履修上の留意点 - - -

この授業はBYOD（Bring Your Own Device）で実施します。ノートパソコンを持参してください。

- - - 授業計画 - - -

- 1.イントロダクション(スタートアップ授業)：日本における小売業態の生成と進化
- 2.商業集積
- 3.呉服系百貨店
- 4.電鉄系百貨店
- 5.総合スーパー
- 6.食品スーパー
- 7.小売ビジネスの実際
- 8.コンビニエンス・ストア
- 9.均一価格店
- 10.ドラッグストア
- 11.総合ディスカウントストア
- 12.家具専門店
- 13.衣料専門店
- 14.オンラインモール
- 15.優秀レポート報告
授業アンケートFURIKA実施

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/l321a6do7wcib9otafkhorwsau2ut5a9>)

長束 航

期別：後期 単位数：2 開講年次：2 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：初級 試験実施：有り
授業時間割：後期：金・3時限 試験時間割：2026/01/22 3時限

- - - 概要 - - -

会計とは、ある経済主体に関する経済事象を、主として貨幣額で測定し、それを記録・整理して作成した情報（会計情報）を、当該経済主体の利害関係者に報告する一連の行為をいう。この会計という行為を研究対象とする学問が、会計学である。

会計は、個人という小さい単位から国家という大きい単位まで様々な経済主体によって行われており、それぞれ重要な役割を果たしているが、特に企業において会計が果たしている役割は、どんなに大きく評価してもしすぎることはない。経営意思決定、財産管理、資金調達、人事考課、配当可能額の算定、課税所得の計算など、あらゆる場面で会計情報が利用される。企業会計が、「ビジネスの言語」と称されることがあるのも、あながち大げさな表現というわけではない。

したがって、会計学も企業会計を研究の対象とすることが多く、この講義でも企業会計を中心として取り扱う。なお、企業会計の研究分野は、企業外部の利害関係者（投資家、株主、銀行、税務署など）に対して報告される会計情報を研究対象とする「財務会計論」という分野と、企業内部の利害関係者（経営者など）に対して報告される会計情報を研究対象とする「管理会計論」という分野に大別される。この講義では、やや「財務会計論」の分野を重視した講義を行うが、それは企業会計が、最終的には企業外部の利害関係者向けの内容・形式で会計情報を作成しなければならないという制約のもとで行われているからである。

この講義は、皆さんが会計学を学び始めるにあたって、まず知っておくべき会計学という学問の全体像を理解してもらうためのものである。「財務会計論」、「管理会計論」、「監査論」、「税務会計論」、「経営分析論」その他の会計諸学を専攻するための基礎としてはもちろん、昨今、社会で強く求められるようになってきている「数字の読めるビジネス・パーソン」をめざすための第一歩として、ぜひ履修してほしい。

- - - 授業の進行・方法 - - -

会計学総論の講義は、各回最初に前回の質問への回答や補足説明を行ったうえで講義を行い、その後提出課題をformsで出してもらう形で進めていく。提出課題の提出期限は厳守すること。
なお、講義資料（スライド資料）はPDF形式で配信するので、各自事前にプリントアウトしたうえで、授業を受けながら空欄を補充し、さらに必要に応じてメモを書き加えて完成させること。

- - - アクティブ・ラーニング - - -

いいえ / No

- - - 到達目標 - - -

会計の制度的および理論的フレームワークに関する基礎知識を身につけている。(知識・理解)

会計の制度的および理論的フレームワークを理解し、企業会計の現状と課題を説明することができる。(技能)

会計の制度的および理論的フレームワークを理解し、企業会計の課題に対する解決策を説明することができる。(技能)

予習・復習や提出課題への取り組みなどの授業時間外の学習を通じて、会計学に関する関心を高め、授業の内容以上に学びを深めることができる。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前に授業管理から配信した講義資料をダウンロードし、各回の学修内容を概観しておくこと。(60分)

授業の内容を復習して上記講義資料にメモ等を加筆し、資料の完成度を高めるとともに、毎回の課題を提出すること（forms）。(120分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

原則として定期試験により評価する。ただし、授業後に提出してもらう課題の取り組み状況により、若干の加点を行うことがある（最大10点程度）。些末な知識の有無よりも、会計学の全体像の把握および会計の理論的フレームワークと制度的フレームワークの理解がなされているかどうかを単位認定の判断基準とする。

- - - テキスト - - -

特に使用しない。

- - - 参考書 - - -

中央経済社編『新版会計法規集』第12版 中央経済社
ISBN 978-4502393013
広瀬義州『財務会計』第13版 中央経済社 /
978-4502163418

- - - 履修上の留意点 - - -

会計を理解するためには、簿記の知識がある程度必要となる。したがって、「簿記原理」を履修済みであることが望ましい。

- - - 授業計画 - - -

- 1 会計および会計学の意義と種類（スタートアップ授業）
- 2 財務会計の制度的フレームワーク
金融商品取引法会計
- 3 財務会計の制度的フレームワーク
会社法会計
- 4 財務会計の制度的フレームワーク
会計基準
- 5 財務会計の制度的フレームワーク
財務諸表監査制度
- 6 財務会計の理論的フレームワーク
会計公準と概念フレームワーク
- 7 財務会計の理論的フレームワーク
企業会計原則の一般原則
- 8 財務会計の理論的フレームワーク
財務会計の目的と会計情報の質的特性
- 9 財務会計の理論的フレームワーク
資産負債アプローチと収益費用アプローチ
- 10 財務会計の理論的フレームワーク
財務諸表の表示と財務諸表分析
- 11 財務会計の理論的フレームワーク
資産概念と資産の測定
- 12 財務会計の理論的フレームワーク
負債概念と負債の測定 / 資本概念と資本維持
- 13 財務会計の理論的フレームワーク
収益および費用の意義と計上基準
- 14 財務会計の理論的フレームワーク
財務報告——財務諸表と非財務情報
- 15 管理会計の意義
授業アンケートFURIKAの実施

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/jbdmeo3vb7zmz2c0btksvs6d0gpn3ng>)

鈴木 慎也

期別：後期 単位数：2 開講年次：2 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：中級 試験実施：有り
授業時間割：後期：水・2時限 試験時間割：後日発表

- - - 概要 - - -		- - - 授業計画 - - -	
1980年代以降、「環境」は科学界ばかりか政治・メディアの世界でも大きな話題になっている。二酸化炭素CO2が地球を温めるとか、フロン(クロロフルオロカーボン)が成層圏のオゾンを壊すとか、散乱ごみがマイクロプラスチックとなって海洋を汚染させるとか、国境を越え地球全体に及び現象が議論的である。一方で極地汚染もまだ残る。埋立地からしみ出た物質が飲み水を汚す、といった話は、今や誰もが知っている。だからこそ、現象を科学的な視点で捉えることが重要である。中でも化学反応の絡む現象として、環境と化学の関わり合いの理解が欠かせない。自然界の壮大な営みが今どのように進み、太古からどう進んできたのをつかんで初めて、人間が自然をどれだけ乱しているのかが分かる。		1．シラバスの説明およびイントロダクション(スタートアップ授業) 2．変わりゆく地球 地球をまるごと考える・炭素の循環 3．変わりゆく地球 炭素の循環(地球全体のCO2収支) 4．変わりゆく地球 炭素の循環(CO2が増えたと何が起るか) 5．変わりゆく地球 硫黄の循環 6．変わりゆく地球 残留性有機汚染物質(POPs) 7．大気の化学 大気の成り立ち・定常状態と平衡状態 8．大気の化学 自然の営みが生む大気成分・微量気体の化学反応 9．大気の化学 都市の大気汚染 10．大気の化学 大気汚染と健康・害・汚染物質の退場ルート 11．大気の化学 成層圏の化学 12．陸水の化学 元素の溶けやすさ 13．陸水の化学 陸水のイオン組成を決めるもの 14．陸水の化学 水の成分と生物活動 15．陸水の化学 重金属汚染・地下水の汚染、授業アンケートFURIKAの実施	
本講義では色々な環境問題を考える前に、我々を取り囲む気圏・水圏・地殻・土壌・生物圏とは、どのような物質がどうからみ合う場なのかを、科学(化学)的な視点で学習する。その分、日本国内における環境問題やその歴史に対する説明は必ずしも十分とは言えない。1年次に開講される環境工学概論と合わせて環境問題を理解する姿勢が望ましい。なお、大半の学生にとって化学はほぼ初学者に等しいことを前提に、ごく基本的な内容も含めて解説を加えながら講義を行う。		- - - スタートアップ授業 - - -	
本講義は、講義形式で進め、学習の進捗状況に応じてレポート課題を課し、確認テストを実施する。		スタートアップ授業 (https://fukuoka-u.box.com/s/z1l7pkk2itsi0ny1ad5z62tu0rvpiy3f)	
- - - 授業の進行・方法 - - -		- - - 必修・選択の区分 - - -	
授業は教員が作成したスライド資料をもとに講義形式で行う。スライド資料は、事前にmoodle上にアップロードするので、確認すること。適宜確認テストを行い、レポート課題を課す。		必修	
- - - アクティブ・ラーニング - - -		- - - 授業時間外の学習（予習・習） - - -	
いいえ / No		到達目標の達成のため、まず教科書、筆記用具、ノートを必ず持参し、板書の内容を各自ノートに取りまとめておくこと。確認テストに備え教科書・板書ノートをもとに復習しておくこと。(予習60分・復習120分)	
- - - 到達目標 - - -		- - - JABEEの学習・教育到達目標 - - -	
地球温暖化に代表される環境問題の理解につなげるよう、環境に関わる自然現象を科学的(化学的)に理解できる。(態度・志向性)		Aに該当	
- - - 成績評価基準および方法 - - -			
各回の講義に対する確認テストならびに定期試験の結果をもとに環境に関わる自然現象に対する科学的な理解度を評価の基準とする。またレポート課題について、十分なデータを集めたか、そのデータに基づいて自分の見解を明確に記述しているかを評価の基準とする。定期試験(60%)と確認テスト(またはレポート)(40%)で評価する。フィードバックとして確認テスト回収後、解答の解説を行う。			
- - - テキスト・参考書 - - -			
テキスト：「地球環境化学入門 改訂版」J.E.アンドリュース, P.ブリンブルコム, T.D.ジッケルズ, P.S.リス, B.J.リード著 渡辺正訳 丸善出版株式会社 ISBN-978-4-621-06126-8 2800円+税 参考書：「3R・気候変動検定公式テキスト 一般社団法人持続可能環境センター編著 ミネルヴァ書房 ISBN 978-4-623-09776-0 4000円+税			
- - - 履修上・受講上の留意点 - - -			
環境工学概論の単位を取得済みの者が望ましい。			
- - - オフィスアワー - - -			
FUポータルのオフィスアワーを参照のこと			
- - - その他・必要な予備知 - - -			
特になし			

名倉 徹

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：有り 科目水準：入門 試験実施：有り

授業時間割：後期：木・3時限 試験時間割：後日発表

- - - 概要 - - -		- - - 授業計画 - - -	
みなさんが毎日使っているスマホは、最先端の電子情報通信技術の集合体です。この講義では、スマホの構造としくみを理解することを通じて、情報通信技術の基礎から最先端までを広範囲にわたって学びます。電子情報工学科のみなさんにとって、スマホは「使って楽しい」デバイスではなくて、「作って楽しい」デバイスであってほしい。本講義を、「消費者」から「生産者」へと視点と立場を移すための足がかりにしてほしいと思います。 企業において研究開発に従事してきた実務経験を活かし、実際に携わった事例等を参考に、講義内容を取捨選択して実践的な講義を行う。		1. はじめに (スタートアップ授業) 2. 画像のデジタル表現 3. ディスプレイ 4. カメラ 5. 半導体とトランジスタ 6. プロセッサとメモリ 7. バッテリー 8. 通信 9. 暗号通信 10. センサ 11. IoT とクラウド・エッジ 12. OS とアプリとプログラミング言語 13. AI とディープラーニング 14. AI による認識 15. 宇宙へ (14 回目もしくは 15 回目に授業アンケート FURIKA を実施する)	
- - - 授業の進行・方法 - - -		- - - スタートアップ授業 - - -	
スライドを用いた講義形式とする。毎回の講義最初に紙の資料を配布する。講義では資料に書き込みながら学習することを前提とする。また、配布資料 pdf を講義前に Moodle に載せる。iPad 等で pdf にデジタル的に書き込みながら受講してもよい。毎回講義の最後に小テストを行う。		スタートアップ授業 (https://fukuoka-u.box.com/s/i607cc7is6mwaqqq1ysggc4u1od1whow)	
- - - アクティブ・ラーニング - - -		- - - JABEE 学習・教育到達目標 - - -	
いいえ / No		電子工学、通信工学、情報工学の基礎を幅広く理解すること。(JABEE学習・教育到達目標の(SA-2)に対応)	
- - - 到達目標 - - -			
スマホのハードウェアについて理解できる。(知識・理解)			
スマホの通信について理解できる。(知識・理解)			
スマホのアプリについて理解できる。(知識・理解)			
- - - 成績評価の基準 - - -			
1) スマホのハードウェアについて理解できる。(授業計画1～7) 2) スマホの通信について理解できる。(授業計画8～9) 3) スマホのセンサについて理解できる。(授業計画10) 4) スマホのアプリについて理解できる。(授業計画11～14) 5) 宇宙での電子機器の動作について理解できる。(授業計画15)			
- - - テキスト - - -			
特に指定はしない。			
- - - 成績評価の方法 - - -			
(毎回の小テスト 30%、定期試験 70%) と (定期試験 100%) の大きい方を採用する。			
- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -			
毎回講義内容に関する演習と小テストを行うので解答を各自で確認するとともに、講義資料で復習すること。予習・復習各 90 分程度を目安とする。			

上原 吉就

期別：後期 単位数：2 開講年次：2 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：有り 科目水準：初級 試験実施：有り
授業時間割：後期：木・1 時限 試験時間割：後日発表

- - - 概要 - - -	- - - テキスト - - -
生活習慣病とみなされている疾患の理解と運動の効用を理解する。 メタボリックシンドロームを中心に、肥満・肥満症、高血圧、脂質異常症、糖尿病などの幅広い疾患および運動との関連性、あるいは心臓リハビリテーションの際に重要となる心臓疾患を取り上げ、疾患全般の理解と生活習慣改善に必要な知識を身につけること、さらに運動・スポーツとの関連性を理解することを趣旨とする。 また、この授業では医療現場での経験からスポーツにおける急性あるいは慢性的内科的障害や実際の内科診療での臨床経験等を基に展開する。	講義では授業の理解を深めるための資料を配布する。
- - - 授業の進行・方法 - - -	- - - 参考書 - - -
各授業項目毎にスライドを用いた解説を行い、確認テストを行う。 授業毎に前回授業内容の復習と簡単なまとめを行う。 授業後半では、授業内容の総括と共に各確認テスト提出時の履修学生からの質問やコメントに対しての回答や補足説明を実施する。	健康運動指導士養成講習会テキスト 上, 下 公益財団法人 健康・体力づくり事業財団
- - - アクティブ・ラーニング - - -	- - - 履修上の留意点 - - -
いいえ / No	解剖生理学I、IIの単位を修得済みの者が望ましい。
- - - 到達目標 - - -	- - - 授業計画 - - -
生活習慣病を理解する (知識・理解)	授業概要 (スタートアップ授業) 内科的メディカルチェック 内科的スポーツ障害 (急性) 突然死、虚血性心疾患 心電図の理解、内科救急、救命処置 内科的スポーツ障害 (慢性) アスリートと貧血 生活習慣病・メタボリックシンドローム 肥満・肥満症 耐糖能異常・糖尿病 脂質異常症・高血圧 運動療法と心臓リハビリテーション 呼吸器疾患、がん (悪性新生物) 認知症、ロコモティブシンドローム URIKA入力、まとめ、その他
メタボリックシンドロームの概念を理解する (知識・理解)	- - - スタートアップ授業 - - -
生活習慣病に対処する生活習慣改善を理解する (知識・理解)	スタートアップ授業 (https://fukuoka-u.box.com/s/bxu4ofxns2ikbi8fromznyif9t0pxx16)
心臓の構造と機能を理解する (知識・理解)	
内科的慢性スポーツ障害について理解する(知識・理解)	
内科的急性スポーツ障害について理解する(知識・理解)	
身体活動・運動と疾患および疾患予防を理解する (知識・理解)	
心臓リハビリテーションを理解し実践できる (知識・理解)	
- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -	
授業計画をみて、次の授業範囲の疾患について概説的な内容を予習しておく。(90分)	
授業の最初に前授業内容について小テストを不定期で実施するので、各授業終了後は復習しておく。(90分)	
- - - 成績評価基準および方法 - - -	
成績評価基準・・・生活習慣病の疫学・病態とそれを予防するための生活習慣改善の方法についての基礎的知識を獲得しているかどうかを評価する。 成績評価の方法・・・期末試験、平常点 (ミニッツペーパーあるいは理解度テストなど) で評価する。ミニッツペーパー (小テスト) あるいは理解度テストを適宜行う。 小テスト、理解度テストにおける質問・コメントには授業内で紹介・回答し適宜フィードバックを行う。 成績は期末試験の割合を80%、平常点の割合を20%程度として総合的に判断する。	

築山 泰典

期別：後期 単位数：2 開講年次：2 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：初級 試験実施：有り

授業時間割：後期：金・3時限 試験時間割：後日発表

- - - 概要 - - -		- - - テキスト - - -	
「レジャーやレクリエーション」を論じる際、その背景に存在する「自由時間」との関係を考える必要がある。そのため、この言葉の意味はそれぞれの聞き手にとって日常の過ごし方によって異なり、また同じ人であってもライフステージ（幼児期から高齢期に至る6段階）によって変化するものである。必然的に「多様性を持った言葉である」との認識が必要となる。そして、このレジャー・レクリエーション活動の目指すところはそれぞれのライフステージに応じた“よりよい生活（QOL）の向上”であり、“よりよい健康（Wellness）”にあると考える。そのため、ウェルネスという言葉の理解も授業の中に組み込む。 この講座を通じて、レジャー・レクリエーションに関しての知見を深め、それを活かした「自身のライフスタイル向上」を考えてもらいたい。そして、「実践的に人に伝えていくことのできるレクリエーション指導者としての基盤を形成する」ことが本講座の目標となる。その為、講座の中盤では教育・福祉・地域活動それぞれの側面からレクリエーションの役割について具体的に言及し、「レクリエーションを通じた社会貢献の在り方を」考察していく。また、実際の企画運営時、必要となる「リスクマネジメント」に関して言及し、具体的な企画作成を行う。		レクリエーション・インストラクター養成テキスト 「レクリエーション支援の基礎」 （財）日本レクリエーション協会	
- - - 参考書 - - -		特に指定しません。授業内で紹介します。	
- - - 履修上の留意点 - - -		「レクリエーション・インストラクター」資格取得希望者は、この講義を履修することが望ましい。詳しくは、ガイダンス時に言及するが、スポーツマン（ウーマン）シップに則った受講態度を求める。	
- - - 授業の進行・方法 - - -		- - - 授業計画 - - -	
講義形式での授業展開を主とするが、数回は机上でのグループワークを実施する。 視聴覚教材を活用しながら、考えながら学ぶことを求めることとなる。		- レクリエーションの概念と目的【スタートアップ授業】 - レジャーとレクリエーション - ウェルネスとレクリエーション - ウェルネスとレクリエーション - 教育的側面からのアプローチ - 教育的側面からのアプローチ - 福祉的側面からのアプローチ - 福祉的側面からのアプローチ - 地域活動としてのレクリエーション - 地域活動としてのレクリエーション - プログラムとイベント企画の留意点 - リスクマネジメント - レクリエーション企画演習 - レクリエーション企画演習 - まとめ 授業アンケートFURIKAの実施	
はい / Yes		- - - スタートアップ授業 - - -	
- - - 到達目標 - - -		スタートアップ授業 (https://fukuoka-u.box.com/s/bsab0yvpfzt1g7orhvmx8uld7l9ety9)	
レクリエーションと関連領域における基礎知識を理解し説明することができる(知識・理解)			
レクリエーション支援の在り方を理解し説明することができる(知識・理解)			
レクリエーションの支援方法について理解し、説明できる。(知識・理解)			
- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -			
各回授業終了時に示される次回授業内容の情報収集等の予習(90分)			
授業からの気づきや学びに関する自身での整理(90分)			
- - - 成績評価基準および方法 - - -			
1．学期末にテストを実施する。 2．受講態度を考慮する。 3．授業時の提出物も評価の対象とする。 原則として、定期試験6割、平常点2割、レポート等2割とする。 尚、試験内容及びレポート内容から、レクリエーションに関する知識及び考え方の定着度合いを測ることとする。 尚、レポート作成に関して、生成AIツールでの出力結果をそのまま提出することは、この実習での到達目標に達することが出来なくなり、剽窃や不正行為と判断することもありますので、ご注意ください。			

川島 浩一郎

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
授業時間割：後期：月・4 時限、木・2 時限 試験時間割：2026/01/26 5 時限

概要

前期「フランス語IA」を引き継いで、コミュニケーションの土台となる、フランス語の文を組み立てる際の決まり、すなわち文法を、体系的に学習する授業です。フランス語を使ったコミュニケーションの実践に必要不可欠となる、基礎的な文法事項を学びます。言語の長期的な学習過程においては、文法を理解し実践できるようになることが必要です。

【内容】具体的には、目的語代名詞、強勢形代名詞、代名動詞、半過去、大過去、疑問詞、関係代名詞、中性代名詞、単純未来、前未来、現在分詞、ジェロディフ、受動態、条件法、接続法などの文法項目を学びやすい順番で学習します。

【方法】ひとつひとつの規則を、基本的な文を作る練習問題をとおして定着させます。

【目的】フランス語検定4級レベルの能力を1年間で(前期のフランス語IAと後期のフランス語IBでの学習によって)獲得することを目指します。

【授業形式】授業は、講義形式で文法解説を行ったのち、文法理解を中心とした練習問題に取り組みます。教科書で提供されている練習問題を解くことが中心になりますが、補助的なプリントを用いることもあります。ペアで問題を解いたり、教員に倣って発音練習をしたり、フランス語による一問一答など、インタラクティブ(双方向的)な作業を行うこともあります。積極的な参加を心がけてください。

【注意】なお、このフランス語IBは週に2回授業があります。

授業の進行・方法

- 【講義形式による授業】は、教員が準備した講義資料あるいは直接教科書を使用して進行していきます。
- 【練習問題】に関しては、文法理解の確認を中心に進めていきます。
- 基本的に、予習や(以前の授業の)復習がなされていることを前提に授業を進めます。

アクティブ・ラーニング

はい / Yes

到達目標

フランス語の文法・語彙について基礎的な知識を有している。(DP1-1)(知識・理解)

初歩的なフランス語を理解し、聞き、話し、読み、書くことができる。(DP1-1)(技能)

正確さを重んじ、外国語の習得のために必要な自主的努力を惜しまない。(DP1-1)(態度・志向性)

各回の授業で得た知識を自分なりの方法で自分の中に定着させることができる。(DP1-2)(技能)

フランスを中心に諸外国の文化的・社会的背景について基本的な知識を有している。(DP2-2)(知識・理解)

異文化に適應する柔軟性、また自国の文化を発信する積極性を培う。(DP2-2)(態度・志向性)

外国語によるコミュニケーションを通じて、違いを認め合い相互理解を図ることができる。(DP4-2)(技能)

授業時間外の学習(予習・復習)

予習：テキストのフランス語を書き写し、声に出して読んでください。(45分)

復習：テキストを広げて毎回の授業を振り返り、新たに覚えたことを整理してください。(45分)

成績評価基準および方法

本授業は、各到達目標の達成度を基準として、下記の方法と割合により成績評価します。

- 平常点(積極的な授業参加・発言・小テストなど)：60%(到達目標 , , , ,)
- 定期試験：40%(到達目標 , , , ,)

テキスト

『Voilà -grammaire française de base- ヴワラ!』(著者)伊勢晃、谷口千賀子：早美出版社：2100円(税抜)
ISBN：978-4860420994

履修上の留意点

- 予習および復習がなされていることを前提とした授業です。継続的に出席することが非常に重要です。
- 6回以上の欠席は、授業参加の姿勢において、大幅な減点の対象となります。
- 授業の録音や録画を原則禁止します。
- 定期試験を実施します。

授業計画

- 01.スタートアップ授業(動画配信)
授業週開始までに、スタートアップ授業動画を視聴してください。
- 02.目的語代名詞(1)【11課】
- 03.目的語代名詞(2)【11課】
- 04.強勢形代名詞【11課】
- 05.代名動詞(1)【12課】
- 06.代名動詞(2)【12課】
- 07.半過去(1)【13課】
- 08.半過去(2)【13課】
- 09.大過去【13課】
- 10.疑問詞(1)【14課】
- 11.疑問詞(2)【14課】
- 12.疑問詞(3)【14課】
- 13.関係代名詞(1)【15課】
- 14.関係代名詞(2)【15課】
- 15.関係代名詞(3)【15課】
- 16.前半の【まとめ】(中間フォローアップ授業・動画配信)
- 17.中性代名詞(1)【16課】
- 18.中性代名詞(2)【16課】
- 19.単純未来(1)【17課】
- 20.単純未来(2)【17課】
- 21.前未来【17課】
- 22.現在分詞【18課】
- 23.ジェロディフ【18課】
- 24.受動態(1)【18課】
- 25.受動態(2)【18課】
- 26.条件法(1)【19課】
- 27.条件法(2)【19課】
- 28.接続法(1)【20課】
- 29.接続法(2)【20課】
- 30.【まとめ】+【授業アンケートFURIKAの実施】

スタートアップ授業

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/www8udtdk9dqdzy3n2dc05e5h2efzgff>)

富重 純子

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
授業時間割：後期：月・5 時限 試験時間割：2026/01/20 4 時限

- - - 概要 - - -

文学とはことばによる芸術ですが、伝統的に演劇と、演劇ではない、叙事詩などの文学とに分けられます。この講義では、ドラマと一人称の文学という二つの系譜を考え、たどりながら、西洋文学について考えてみることにします。

西洋文学は、聖書やギリシア神話がおおよその出発点であるとすれば、二千年以上の時間的広がりをもち、言語も古代の言語から現代ヨーロッパの諸言語にわたります。また、詩、演劇、小説、批評的・哲学的エッセイ等、さまざまなジャンルがあります。これだけ多岐にわたる「文学」でありながら、そこにはさまざまな結びつきがあって、境界を定めることはできないながら、「西洋文学的なもの」がたしかに存在しているのです。そしてふしぎなことに、それは、現在私たちが鑑賞する映画や舞台、音楽などに引き継がれています。（「テセウスの船」、「ハウルの動く城」、楽曲名の「罪と罰」、バレエ「くるみ割り人形」・・・）

この授業では、さまざまな作品を紹介しながら、西洋文学の世界を描きだすことを目標とします。これはもちろん、大胆で不可能な目標ですが、この広大な世界に分け入っていきましょう。とりあげる作品と結びつきの深い現代の芸術作品に触れていきたいと思います。

- - - 授業の進行・方法 - - -

授業は基本的に講義形式で行いますが、紹介する作品のシノプシス（梗概）や本文の抜粋を日本語で読むほか、原語でも示すので、部分的には講読形式の授業でもあります。数回、授業の内容を確認したり、理解を深めたりするための小課題を出します。

- - - アクティブ・ラーニング - - -

いいえ / No

- - - 到達目標 - - -

著名な西洋文学の作家と文学作品について知識を有している。
(DP1-1)(知識・理解)

文学や思想について、自分のことばで知見を述べるができる。
(DP1-1)(技能)

ヨーロッパに関わる世界史の基本的知識を有している。(DP2-1)(知識・理解)

文学や芸術作品を通じて、他者・異文化・異文脈を理解することができる。(DP2-2)(技能)

現代の世界の諸問題についての関心を持ち、積極的に理解しようとする。(DP4-2)(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：提示された資料を読んでおく。(45分)

復習：授業でわからなかったところを確認し、授業で得られた知見を図書館等で補う。(45分)

ヨーロッパの文学作品を読む。(90分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

各到達目標の達成度を基準として、下記の方法と割合により成績評価します。
平常点（小課題提出、授業での発言）30%
定期試験70%
いずれも、授業でとりあげた作家・作品について、どれだけの知識を有しているか、また自分の頭で理解しているかを問います。

- - - テキスト - - -

ブレヒト『アンティゴネ』谷川道子訳、光文社古典新訳文庫、ISBN：4334753159

- - - 参考書 - - -

渡辺京二『私の世界文学案内』ちくま学芸文庫、ISBN：4480094334

- - - 履修上の留意点 - - -

授業で触れた作品について、図書館などで手に取ってみるよう心がけてください。文学、音楽、美術など、広くヨーロッパの芸術に触れてみましょう。

- - - 授業計画 - - -

- 1.（スタートアップ授業）授業の進め方と「西洋文学」について
2. ドラマの系譜 悲劇と喜劇
3. シェークスピアとフランス古典劇
4. 啓蒙と市民の劇
5. ブレヒトの劇
6. 『アンティゴネー』
7. 『アンティゴネー』（つづき）
8. 「一人称の文学」の系譜 抒情詩
9. ソネットとバラッドのはなし
10. 告白文学の系譜
11. 手紙、日記考
12. 小説の時代
13. 「小さな」文学のはなし
14. 映画
15. まとめ 授業アンケートFURIKAの実施

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/gn62chcx2tdks34ynpf3g394ewcgde2u>)

辻部 大介、堺 雅志、浦上 雅司、西村 道也、藤井 雅人、太記 祐一、田上 響、東原 正明

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：有り 科目水準：入門 試験実施：有り

授業時間割：後期：月・5 時限 試験時間割：2026/01/21 5 時限

- - - 概要 - - -

- - - テキスト - - -

専門分野を異にする8名の教員(人文学部、法学部、経済学部、理学部、工学部、スポーツ科学部所属の専任教員)が、おのおの1～2回の講義を担当し、地中海世界から北方ヨーロッパ、中央ヨーロッパにおよび各地域に、また、地理、歴史、美術、宗教、言語、スポーツ、政治、建築といった諸分野にまたがる、ヨーロッパの社会や文化の諸相を、学生の知的欲求にうったえるさまざまな個別的事例に基づいて講義します。現代ヨーロッパだけでなく、現代ヨーロッパを作り上げる基盤となった古代、中世、ルネサンスといった過去の時代の社会や文化についてもとりあげていきます。

- - - 履修上の留意点 - - -

配布資料は、FU_Box内に作る共有フォルダに、授業当日の朝までにアップロードします。各自ダウンロード・印刷のうえ授業に臨んでください。

- - - 授業計画 - - -

- 1 シラバスの説明・オリエンテーション（スタートアップ授業）（辻部・堺）
- 2 ヨーロッパの成り立ち—中世まで—（堺）
- 3 美術遺産とイタリア（浦上雅司）
- 4 カトリック教会とイタリア（浦上）
- 5 バルカン半島の歴史—ビザンツ帝国を中心に（西村道也）
- 6 バルカン半島の歴史—オスマン帝国とユーゴスラビアを中心に（西村）
- 7 ドイツの地域生活とスポーツ（藤井雅人）
- 8 スポーツ強国としてのドイツ（藤井）
- 9 中世のゴシック建築 フランスの大聖堂を中心に（太記祐一）
- 10 建築文化のHUBとしての19～20世紀（太記）
- 11 ヨーロッパにおける生物分類と進化論の発展（田上響）
- 12 現代オーストリアの政治体制—成立と発展（東原正明）
- 13 現代オーストリアの政治体制—ナショナリズムの台頭（東原）
- 14 フランスの旧植民地：アルジェリア（辻部）
- 15 講義のまとめと展望・授業アンケートFURIKAの実施（辻部・堺）

- - - 授業の進行・方法 - - -

授業は、各教員が作成した講義資料（主としてスライド）をもとに、講義形式で行います。毎回の授業後に、ミニッツペーパーを記入・提出してもらいます。そこで寄せられた感想や質問について、授業冒頭で簡単なフィードバックを行うこともあります。

- - - アクティブ・ラーニング - - -

いいえ / No

- - - 到達目標 - - -

ヨーロッパ社会のありようをヒントに今後の日本社会について考えていくための視座を得ようとする志向性を有している。(DP1-2)(態度・志向性)

ヨーロッパについて、地理・歴史・美術・宗教・言語・スポーツ・政治・建築の諸分野にまたがる幅広い知識を獲得している。(DP2-1)(知識・理解)

講義で身につけた知識をもとに、自らの考察を明瞭に記述することができる。(DP4-1)(技能)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業時にとったノートを読み返し、授業内容の要点を頭の中で整理する。キーワードについては、自分の言葉で説明できるようにする。(90分)

よりくわしく知りたい点を書き出し、インターネットや図書館で調べ、わかったことをノートしておく。(90分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

平常点（毎回の授業の終わりに記し提出してもらうミニッツペーパーによる）30%、定期試験の成績70%の割合で評価する。平常点において到達目標のうち態度・志向性の到達度を、定期試験において知識・理解および技能の到達度を、それぞれ測る。試験問題および評価基準は、1）8名の講義担当者それぞれの講義内容をどれだけ理解し、具体的な事項をどれだけ知識として定着させたか、2）15回の講義内容全体をふまえて、現代のヨーロッパと日本との関連を内省するための観点をどれだけ獲得できたか、を問うものとする。

使用しない。必要に応じて、各講義担当者が資料を配布（FU_Box内の所定のフォルダにアップロード）する。

- 1 シラバスの説明・オリエンテーション（スタートアップ授業）（辻部・堺）
- 2 ヨーロッパの成り立ち—中世まで—（堺）
- 3 美術遺産とイタリア（浦上雅司）
- 4 カトリック教会とイタリア（浦上）
- 5 バルカン半島の歴史—ビザンツ帝国を中心に（西村道也）
- 6 バルカン半島の歴史—オスマン帝国とユーゴスラビアを中心に（西村）
- 7 ドイツの地域生活とスポーツ（藤井雅人）
- 8 スポーツ強国としてのドイツ（藤井）
- 9 中世のゴシック建築 フランスの大聖堂を中心に（太記祐一）
- 10 建築文化のHUBとしての19～20世紀（太記）
- 11 ヨーロッパにおける生物分類と進化論の発展（田上響）
- 12 現代オーストリアの政治体制—成立と発展（東原正明）
- 13 現代オーストリアの政治体制—ナショナリズムの台頭（東原）
- 14 フランスの旧植民地：アルジェリア（辻部）
- 15 講義のまとめと展望・授業アンケートFURIKAの実施（辻部・堺）

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/2dtddf3238jrpfwlm4hqb923mkxwxxyeo>)

柳 忠熙

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
授業時間割：後期：火・1時限 試験時間割：2026/01/20 4時限

――― 概要 ―――

みなさんは 韓流 という言葉をよく耳にしているかもしれません。最近、日本では、K-popやドラマや映画など、さまざまな韓国のコンテンツが紹介され、みなさんにも親しみのあるものになっていると思います。これまでの記憶と経験を思い出しながら、韓国・朝鮮の文学作品と映画の内容を確認し、韓国・朝鮮文化を考える新しい経験をしてみませんか。

この授業では、日本の隣の国である韓国・朝鮮の文学に関する概略的な知識と理解を得ることを目指します。

古代から現代にかけての韓国・朝鮮文学の流れを学び、各時期の韓国・朝鮮文学作品の内容と、その作品が置かれた歴史・社会・文化・文化的な背景についての概略的な知識と理解を得ることができます。

そして、各時期の主な韓国・朝鮮文学テキストと関連映画に触れてみる（原文や日本語翻訳や映画の鑑賞など）ことを通じて、朝鮮半島に生きた人々の社会や歴史の変化を理解し、現在の韓国・朝鮮の歴史・社会・文化の特徴に対する自分なりの観点を持つことになります。

――― 授業の進行・方法 ―――

本授業は講義形式で行います。
授業はパワーポイントを利用して前回の授業感想文への教員の答えと本講義の形で進めていく。
映画を鑑賞する場合は、2回にわたって映画を観た上、教員による解説の講義を行う。

――― アクティブ・ラーニング ―――

いいえ / No

――― 到達目標 ―――

韓国・朝鮮の文学・社会・歴史についての基礎知識を身につけることができる。(DP1-1)(知識・理解)

文学作品を通じてさまざまな人・社会・文化などを理解することができる。(DP2-1)(知識・理解)

朝鮮半島に生きた人々のあり様を理解することができる。(DP2-2)(知識・理解)

具体的な根拠をもって自分なりの観点を述べることができる。(DP3-1)(態度・志向性)

日韓・日朝関係についての自分なりの観点を得ることができる。(DP4-2)(態度・志向性)

――― 授業時間外の学習(予習・復習) ―――

事前に配付するレジュメのファイルを予習すること。(40分)

復習時にプリントを再読し、不明な点については、参考文献の学習や次回の講義での質問など、解決に努めること。(40分)

授業後、授業の内容についての感想と疑問を授業感想文として作成すること。(40分)

映画鑑賞文や読書感想文などの課題に取り組むこと。(60分)

――― 成績評価基準および方法 ―――

韓国・朝鮮文学に関する基礎知識を習得しているのか、またその知識をもって具体的な例をあげながら韓国・朝鮮文学の特徴と内容を説明することができるかを評価基準とし、以下の割合で総合的に判断する。

- ・定期試験：40%
- ・映画鑑賞の感想文：30%（A4の1頁程度×3回提出）
- ・作品の感想文：10%（A4の2頁程度）
- ・授業への取り組み：20%（授業の内容に対する感想や質問。教員の質問に対する返答。）

――― テキスト ―――

授業レジュメのファイルを事前に配布する。各自手元に用意した上で（パソコン、タブレット、印刷など）、授業に参加すること。

――― 参考書 ―――

- 李光鎬編、尹相仁・渡辺直紀訳『韓国の近現代文学』（法政大学出版局、2001年）ISBN: 4588080083
- 野崎充彦『朝鮮の物語』（大修館書店、1998）ISBN: 9784469231427
- 染谷智幸・鄭炳説編『韓国の古典小説』（ベリかん社、2008年）ISBN: 9784831512239
- 申明直・張世眞・権昶奎著、浦川登久恵・野口なごみ訳『韓国文学ノート』（白帝社、2008年）ISBN: 9784891749491
- 権寧珉編、田尻浩幸訳『韓国近現代文学事典』（明石書店、2012年）ISBN: 9784750331683
- 小倉紀蔵『朝鮮思想全史』（ちくま新書、2017年）ISBN: 9784480071040
- 秋月望監修『韓国映画で学ぶ韓国の社会と歴史』（キネマ旬報ムック、2015年）ISBN: 4873768179
- 斎藤真理子編『韓国・フェミニズム・日本 完全版』（河出書房新社、2019年）ISBN: 9784309028378
- 韓国映像資料院編・桑畑優香訳『韓国映画100選』（クオン、2019年）ISBN：9784904855935
- 波田野節子・斎藤真理子編著ほか『韓国文学を旅する60章』（明石書店、2020年）ISBN: 9784750351070
- 斎藤真理子『韓国文学の中心にあるもの』（イースト・プレス、2022年）ISBN: 978-4781620930

――― 履修上の留意点 ―――

- ・配布されたプリントを毎回すべて持参すること。
- ・授業中に鑑賞する映画（3本）についての感想文を提出すること（3回）。
- ・韓国・朝鮮文学（日本語訳）の課題リストから1作品を選んで読んで、その感想文を提出すること。
- ・毎回、授業前後の指定の締切まで感想や質問などを記入し、FUポータルの課題に提出すること。
- ・授業の内容や評価方法は状況（例：遠隔授業など）によって変更の可能性がある。

――― 授業計画 ―――

- オリエンテーション（スタートアップ授業）
- 韓国・朝鮮の文学とは
- 韓国・朝鮮の古典文学（1）
- 韓国・朝鮮の古典文学（2）
- 古典文学関連映画の鑑賞(1)
- 古典文学関連映画の鑑賞(2)解説
- 開化期・植民地期の文学（1）
- 開化期・植民地期の文学（2）
- 近代文学関連映画の鑑賞(1)
- 近代文学関連映画の鑑賞(2)解説
- 韓国・朝鮮の現代文学（1）
- 現代文学関連映画の鑑賞(2)
- 現代文学関連映画の鑑賞(3)解説
- 韓国・朝鮮の現代文学（3）
- 全体のまとめ、授業アンケートFURIKAの実施

- ・時期区分とその内容
 - 韓国・朝鮮の古典文学：古代～朝鮮時代、例）神話・郷歌・時調・漢詩文・パンソリ・古小説など）
 - 開化期・植民地期の文学：19世紀末～20世紀半ば、例）新小説・翻訳翻案物・新体詩・代小説・日本語創作など）
 - 韓国・朝鮮の現代文学：20世紀半ば～現在、例）高度成長期の文学、今日の韓国文学など。

――― スタートアップ授業 ―――

スタートアップ授業
(https://fukuoka-u.box.com/s/nf52j7gchkd47elekk9moyt1zqlenzhf)

重松 幹二、（工）、松井渉（日本気象協会）、高山肇夫（工）、佐藤研一（工）、柴田久（工）、高橋淳夫（読売新聞社）、杉山高志（九州大学）、伊藤豪（商）、岩永和代（医）
期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：有り 科目水準：入門 試験実施：有り
授業時間割：後期：水・5 時限 試験時間割：2026/01/21 5 時限

- - - 概要 - - -

平成7年の阪神・淡路大震災、平成23年の東日本大震災、平成28年の熊本地震、そして令和6年元旦の能登半島地震と、甚大な災害が国内で発生した。一方福岡では、平成11年および15年に御笠川氾濫における博多駅周辺の水害、平成17年には福岡県西方沖地震が発生し、安全とされていた福岡市内でも日頃から災害に対して高い注意意識が必要であることが明らかとなった。また、将来関東・東海・関西などに就職する学生にとっても、大学で防災・減災に関する知識を身に付けておくことは極めて重要である。

この講義では、防災に関する基礎知識を学ぶことにより、災害から自分や家族を守る術、被害を最小にする準備と対応方法を修得する。特に、
・自助（自分や家族の命はまず自分たちで守らなければならない）
・共助（被災した近所の人を助けることの重要性）
・公助（公的機関による救援行動の大災害時における脆弱さ）
の考え方を柱とし、各トピックスを理解することで、一生涯役に立つ教養を身に付けることができる。

講義は学内の各学部教員に加え、多方面の外部講師によるオムニバス形式で進められ、文系理系両側面から防災に関する知識を広く得ることに特徴がある。実務経験者の講師として、松井渉は気象予報士であるとともにNHKの気象ニュースキャスターを担当しており、気象予報の仕組みや自然災害全般に関する講義を行う。高橋淳夫は読売新聞社の記者として東日本大震災や原発事故の取材経験があり、報道機関の取材行動や記事のまとめ方、取材を通して得られた災害周辺状況について講義する。また、福岡市消防局の中村翔および福岡市市民局地域防災課の矢野貴広をゲストスピーカーとして呼び、災害に対する行政機関の考え方と市民への期待を講義する。

- - - 授業の進行・方法 - - -

本授業は講義形式で進め、毎回小テストを課す。

- - - アクティブ・ラーニング - - -

いいえ / No

- - - 到達目標 - - -

自然災害の発生メカニズムと想定される被害、気象予報の仕組みを知ることで警報や注意報などの用語を正しく理解することができる。(DP1-1)(知識・理解)

「自助・共助・公助」の意味とそこで発生しうる問題点、市役所や消防局の事前対策と発災時の行動を理解することで、個人としてより良い対応を考える力を身に付けることができる。(DP1-2)(態度・志向性)

災害発生時の初動およびその後の復旧・復興に必要な行動を理解することで、卒業後にどのような職業に就いても、どのような地域に居ても、防災や減災に対する志向力を身に付けることができる。(DP1-2)(態度・志向性)

防災が闘う最大の敵は自然災害ではなく個人の「正常化の偏見（正常性バイアス）」であることを知り、総合的な知識と想像力、多角的な視野が必要であることを理解することができる。(DP2-1)(知識・理解)

自分や家族のみならず、社会全体の安全に対する高い倫理観を持ち、短期的・長期的な行動に移すことができる。(DP2-2)(態度・志向性)

既存の学問分野や既存の知識にとらわれず、想像力を養うことで、防災や減災には1つの正しい答えはなく、相手の立場を理解してより良い選択を探し出す技能を身に付けることができる。(DP4-1)(技能)

防災や減災に限らず、日ごろから積極的に地域社会に参画・貢献できる人物へと成長することができる。(DP4-2)(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

次の授業のために必要な予習内容を指示するので、90分程度の予習の時間を要する。(90分)

授業終了後に毎回小テストを行うとともに、解答締切後に正答をFU_boxを利用して配布するので、90分程度の復習を行うこと。(90分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

授業終了後、毎回FUポータルを利用した選択問題あるいは記述問題による小テストを実施する。その日の個別の授業内容が理解できたかを評価の基準とする。単に出席しただけでは評価しない。

定期試験では、災害から自分を守る、災害の状況を知る、地域を守る、災害と社会システム、いのちを守る、の各項目の知識およびそれらを統合した知識が得られたかを評価の基準とする。

定期試験(70%)と毎回行う小テスト(30%)を総合して最終成績とする。

- - - テキスト - - -

プリントを配布する。

また、FU_boxに受講者専用のフォルダを設け、手元のスマホを使って授業中でもスライドを閲覧できるようにする。

- - - 履修上の留意点 - - -

緊急時には対策本部や災害現場に出動しなければならない講師が多いため、急な休講や講義順が変更となる場合がある。休講となった場合は補講を行うので、掲示板に注意すること。

- - - 授業計画 - - -

1. [防災意識の必要性] 自助・共助・公助（重松）＜スタートアップ授業＞

2. [災害の状況を知る] 気象予報、警報・注意報（松井）

3. [災害から自分を守る] 過去の大震災や風水害からの教訓（高山）

4. [災害から自分を守る] ライフラインの被害想定と断絶時対応（佐藤）

5. [災害の状況を知る] 最近の自然災害（福岡県西方沖地震、御笠川）（松井）

6. [災害と社会システム] 都市災害、防災計画・技術、災害とインフラ・デザイン（柴田）

7. [災害から自分を守る] 個人の平常時の準備と災害時対応（重松・ゲストスピーカー：中村）

8. [地域を守る] 防災関係機関の対応（重松・ゲストスピーカー：矢野）

9. [地域を守る] 地域の防災活動、自主防災組織、消防団活動（重松・ゲストスピーカー：中村）

10. [災害の状況を知る] 災害に対する報道機関の取り組み（高橋）

11. [災害と社会システム] 被災社会の多様性（高橋）

12. [いのちを守る] 災害心理、被災者の行動意識（杉山）

13. [災害と社会システム] 災害と損害保険（伊藤）

14. [いのちを守る] 災害医療、トリアージ、高齢者・乳幼児対応（岩永）

15. [防災活動の必要性] 防災活動の必要性、私達にできること、授業アンケートFURIKAの実施（重松）

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/vmmvovkp0yditruwpq1kr621cig9w525>)

近藤 祐磨

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し
授業時間割：後期：木・5時限 試験時間割：定期試験なし

概要

地誌学は、特定の地域における地域的性格について、地形、気候、土壌、村落、都市、産業、交通などといったさまざまな自然的または人文社会的事象を総合的に考察し明らかにする学問である。地誌学は地理学の基本体系の一つであり、地表における個々の事象の地域差やその要因を明らかにする系統地理学と対をなす。「特定の地域」のスケールの設定の仕方は、東アジア／日本／九州地方／福岡県などのように多様であるが、本授業では「沿岸域」と設定して、その地誌を描く可能性を考えてみたい。その際、教員自身による研究の成果も反映させて、より実感を伴った理解を促す。

地誌学を含む地理学の扱う研究対象や内容は多岐にわたり、全てを本授業で網羅することは困難であるが、地理学の基本的な見方・考え方を修得し、本授業以外の学びや日常生活において、地理学的な好奇心・行動力・考察力を発揮できるようになることを目指す。

本授業は講義形式で行われる。

授業の進行・方法

本授業は、教員が作成した講義資料をもとに講義形式で行います。講義資料は事前にMoodle上で掲載するので、各自でダウンロードまたは印刷して持参してください。

なお、本授業はアクティブ・ラーニング形式には該当しませんが、数々の問いを適宜受講者に対して投げかけます。そのため、受動的ではなく、積極的に思考しながら受講してください。

授業支援と双方向性確保のため、Moodle上に掲示板（フォーラム）を設置します。授業を聞いて考えたことや質問などを自由に投稿してください。

アクティブ・ラーニング

いいえ / No

到達目標

地誌学の基礎的な学説・理論を理解し、説明できる。(DP1-1)(知識・理解)

本講義以外の学びや日常生活において、地理学的な好奇心・行動力・考察力を発揮できる。(DP1-1)(態度・志向性)

多様な考え方・価値観に触れ、地理的な事象を多角的に見ることが出来る。(DP2-1)(知識・理解)

地域や空間に対する人々の多様な考え方・価値観を整理したうえで、自らの考えや立ち位置を表現することができる。(DP2-2)(態度・志向性)

授業時間外の学習(予習・復習)

【予習】初回に挙げた文献を読んでおくこと。(60分)

【復習】その回に別途挙げた文献を読んでおくこと。また、授業で学んだ理論や事例について、各自追加で調べて、知見を深掘りしたり広げたりしておくこと。(120分)

成績評価基準および方法

評価基準：授業内容に基づく地誌学の見方・考え方や基本的な学説を理解できているか、そしてその学説について考察して自分の言葉で表現できるかを、授業内に実施する2回の振り返りの試験で評価するほか、授業内容に関する小レポート課題で評価します。

評価方法：授業内試験（前半45％＋後半45％）と小レポート課題（10％）。いずれもMoodle上で実施します。
加えて、掲示板（フォーラム）に書き込んだ内容のうち、特に授業への貢献度が高いものについては、上記の合計点に上限10点で加算します。

本授業は定期試験を実施しないため、再試験を受験することができません。

テキスト

使用しません。配布資料をMoodle上にアップロードします。各自でダウンロードまたは印刷して持参してください。

参考書

みわたす・つなげる地誌学 ISBN 9784772281225

その他は適宜指示します。

履修上の留意点

授業内でMoodleを使用するため、ノートPCまたはタブレット端末、スマートフォンの持参が必要です。

履修にあたり、予備知識は特に要しませんが、一斉型の講義形式ながらも、思考や自学を促す場面を多く設定しています。人数の多い講義ですが、能動的・積極的な態度で受講してください。

日常のさまざまな場面が地理学的な考察につながります。講義内容を日常生活のあらゆる場面と関連させ、興味のあることを自ら深めるようにしてください。

履修にあたって合理的配慮が必要な場合は、あらかじめ障がい学生支援センターに相談・申請してください。

出席登録後の退室や代理出席登録（いわゆる「ピ逃げ」や代返）は実態なき出席であり、出席に関する公的記録を欺く重大な不正行為です。試験やレポートなどにあたって生成AIを利用または大きく依拠することも重大な不正行為です。厳正に対応します。

授業計画

オリエンテーションと本講義の理念（スタートアップ授業）

地誌学の位置づけ

沿岸域の地形

沿岸域の気候

沿岸域における農業

沿岸域における漁業

沿岸域における工業

前半の振り返り（試験と解説）

沿岸域における村落と都市

沿岸域における自然災害

沿岸域の防災・減災

海岸マツ林で考える地誌1

海岸マツ林で考える地誌2

海岸マツ林で考える地誌3

後半の振り返り（試験と解説）・授業アンケート
FURIKAの実施

内容は進度などにより変更する場合があります

スタートアップ授業

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/ti1st6scqjd4kax1vak1hxn95wl7ru9>)

飛田 努

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
授業時間割：後期：金・2時限 試験時間割：2026/01/21 5時限

概要

本講義は、アントレプレナーシップ（企業家精神）と呼ばれる考え方を身につけることで、不確実な将来に向けて今のようにして意思決定を行うか、リスクに対してどのように向き合うか、他者と協同（コラボレーション）しながら何かを形にしていくこと、リーダーシップは生まれ持ったものではなく、あとから身につけることができるものだといったようなことを学ぶ。そして、それが事業を行うこと、仕事をするにつながついていくことを身につけることを目標とする。特に、「失敗」が怖い人にとっては、大学生のうちに小さな失敗を繰り返し経験しておくことで、万が一失敗したとしてもどのように対処すれば良いのかを学ぶことができる。

そこで本講義では、受講生が日頃感じている課題を「ビジネスを通じて解決する」ことを目指して、擬似的に事業案（ビジネスアイデア）を作ることを具体的な最終ゴールに定めている。もちろん、課題がなくても良い。とりあえず「起業」だったり、「なにかに挑戦してみたい」という興味関心がある学生であれば良い。講義を受講する学生たちと話をし、グループワークを通じて、「自分にもなにかできるのではないか」と感じてもらえれば、それは講義目標の達成になる。

また、講義では起業家・実務家による講演を通じて、「新しい事業を創造する」ことの面白さ、魅力、難しさ、楽しさを知る機会を作る予定である。大学で学んだ専門性をどうやって社会人として生かしていくかを学ぶヒントを得られるような講義にしていきたい。

これまであった事業案

女子中高生向けの下着（女性向け）、わら半紙用の修正テープ、左利き用の筆ペン、女子大生向けの化粧品開発、地域交通の課題（特にお年寄りの移動）、孤食（ぼっち飯）問題など多岐にわたります。

授業の進行・方法

本講義は講義形式をベースとしながら、課題を解決する事業案を創るワークショップも併用して実施します。具体的には受講者で3-6人程度のグループを作り、グループワークを通じて新たな事業案を創出していきます。そのために必要な知識や理論を講義で補足していきます。

アクティブ・ラーニング

はい / Yes

到達目標

アントレプレナーシップを学習することを通じて、卒業後、生涯にわたり持続的に学び続ける姿勢を身につける。(DP1-2)(知識・理解)

新規事業の立案など課題解決を行うため、さまざまな領域の学問を学ぶことを通じて広い視野を培い、物事を多角的に見ることができる。(DP2-1)(技能)

新規事業立案のリサーチを行うことなどを通じて、さまざまな他者の考え方・価値観があることを踏まえ、物事に柔軟に接することができる。(DP2-2)(態度・志向性)

講義やグループワークを通じて身につけた知識やスキルを相互に関連づけ、さまざまな領域で活用・応用・工夫ができる。(DP4-1)(技能)

新規事業を立案するワークショップを通じて、チーム・地域・社会に主体的に関わり、人々の間をつないで成長に貢献することができる。(DP4-2)(態度・志向性)

授業時間外の学習(予習・復習)

講義の事前予習として、テキストの指定箇所を予め読み、理解できていることと理解できていないことを峻別しておく。(60分)

課題発表等がある場合には、事前にレジュメ、報告資料等を作成し、端的に発表できるように準備を行う。(60分)

講義の復習として、講義内でのディスカッション等をふりかえり、どのような学びを得たのか、現在の課題等を認識できるようにする。(60分)

成績評価基準および方法

定期試験による評価50%、グループ内での発言や他のメンバーのサポートなど目に見える形での学びの貢献20%、中間・最終プレゼンテーション30%。

試験は、学生がワークショップにおいて各自が作成した社会課題を解決する事業案をベースに執筆したものを評価します。中間・最終プレゼンテーションは担当教員から指定されたプレゼンテーション内容に基づき、講義内で説明する評価基準をベースに評価します。

テキスト

特に指定しませんが、講義やグループワークの途中に下記の参考書を参考に議論をすることはあります。

参考書

山川恭弘（2020）『全米ナンバーワンビジネススクールで教える起業家の思考と実践術: あなたも世界を変える起業家になる』東洋経済新報社 ISBN 978-4492534229
馬田隆明（2022）『解像度を上げる——曖昧な思考を明晰にする「深さ・広さ・構造・時間」の4視点と行動法』英治出版 ISBN 978-4862763181

履修上の留意点

座学＋グループワークを中心とした講義です。また、社会課題を解決できる事業案を作ることが講義の最終目標ですので、（なんでも良いので）課題意識を持って授業に取り組んでください。

授業計画

- 第1回 講義ガイダンス（スタートアップ授業として行います）
第2回 アントレプレナーシップとコレクティブ・ジーニアス
・本講義を貫く大きなテーマである「アントレプレナーシップ（企業家精神）」と「コレクティブ・ジーニアス（集合天才）」について講義します。
第3回 リスクと不確実性を正しく認識する
・企業家の活動様式に見られる大きな特徴は、事業機会をいかに見出し、リスクと不確実性を考慮しながら事業を構築していくことにあります。この理論について解説します。
第4回 実務家・企業家による講演（1）
・企業家がいかにビジネスを興すという生き方を選んだのかについて、生の声をお聞きして学習します。
第5回 リーダーシップ
・チームを導くリーダーシップという視点だけでなく、自分がいかにチームに貢献できるかという視点の重要性について講義します。
第6回 事業機会の探索
・事業機会をいかに見出すか。その方法論について議論します。この回以降、グループワークが中心になります。
第7回 課題の探索
・機会という抽象的な概念をより具体的な課題に変換していきます。
第8回 課題のリサーチ
・課題がどのような構造になっているのかを明らかにするため、調査を行います。インタビューやアンケートなど、潜在的な顧客に対する調査を行う方法を学習します。
第9回 事業案の発表（1）
・中間報告的にここまでのグループワークで見出した事業アイデアについて発表します。
第10回 優良企業のビジネスモデルを分析する
・自らのビジネスプランを洗練させるため、優良企業がどのようにして事業を構築させているのかを説明していきます。
第11回 顧客ニーズの把握
・ある程度固まったビジネスモデルをベースに顧客が何を望んでいるのかを調査します。
第12回 実務家・起業家による講演（2）
・企業家がいかにビジネスを興すという生き方を選んだのかについて、生の声をお聞きして学習します。
第13回 事業案のブラッシュアップ（1）
・グループワークを中心に最終報告に向けた準備を進めていきます。
第14回 事業案のブラッシュアップ（2）
・グループワークを中心に最終報告に向けた準備を進めていきます。
・FURIKA実施予定
第15回 事業案の発表（2）
・最終報告としてグループごとにビジネスモデルについて報告をします。

スタートアップ授業

スタートアップ授業
(https://fukuoka-u.box.com/s/gdpjjief9zkosrj53f9tn98s2tcf39k9)

近藤 祐磨

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し
授業時間割：後期：金・5 時限 試験時間割：定期試験なし

- - - 概要 - - -

地理学は、地域差を追究する学問であり、「空間」の科学である。地理学という学問分野は、専門性と同時に、他の学問分野との関わりや対話を経ながら発展するという学際性・総合性もあわせもつ。本授業では、日々の暮らしやその延長線上にある具体的な事象・現象を、地理学的な視点に立ってとらえるとともにどのように位置づけられるかを解説する。具体的には、衣食住や、暮らしを彩るアートなどのトピックスを挙げる。さらに、地理学の大きなテーマである「自然と人間の関係」について、事例を交えながら多角的に解説する。その際、教員自身による研究の成果も反映させて、より実感を伴った理解を促す。

地理学の扱う研究対象や内容は多岐にわたり、全てを本授業で網羅することは困難であるが、地理学の基本的な見方・考え方を修得し、本授業以外の学びや日常生活において、地理学的な好奇心・行動力・考察力を発揮できるようになることを目指す。

本授業は講義形式で行われる。

- - - 授業の進行・方法 - - -

本授業は、教員が作成した講義資料をもとに講義形式で行います。講義資料は事前にMoodle上で掲載するので、各自でダウンロードまたは印刷して持参してください。

なお、本授業はアクティブ・ラーニング形式には該当しませんが、数々の問いを適宜受講者に対して投げかけます。そのため、受動的ではなく、積極的に思考しながら受講してください。

授業支援と双方向性確保のため、Moodle上に掲示板（フォーラム）を設置します。授業を聞いて考えたことや質問などを自由に投稿してください。

- - - アクティブ・ラーニング - - -

いいえ / No

- - - 到達目標 - - -

地理学の基礎的な学説・理論を理解し、説明できる。(DP1-1)(知識・理解)

本講義以外の学びや日常生活において、地理学的な好奇心・行動力・考察力を発揮できる。(DP1-1)(態度・志向性)

多様な考え方・価値観に触れ、地理的な事象を多角的に見ることができる。(DP2-1)(知識・理解)

地域や空間に対する人々の多様な考え方・価値観を整理したうえで、自らの考えや立ち位置を表現することができる。(DP2-2)(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

【予習】初回に挙げた文献を読んでおくこと。(60分)

【復習】その回に別途挙げた文献を読んでおくこと。また、授業で学んだ理論や事例について、各自追加で調べて、知見を深掘りしたり広げたりしておくこと。(120分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価基準：授業内容に基づく地理学の見方・考え方や基本的な学説を理解できているか、そしてその学説について考察して自分の言葉で表現できるかを、授業内に実施する2回の授業内試験で評価します。

評価方法：授業内試験（前半50%＋後半50%）。Moodle上で実施します。

加えて、掲示板（フォーラム）に書き込んだ内容のうち、特に授業への貢献度が高いものについては、上記の合計点に上限10点で加算します。

本授業は定期試験を実施しないため、再試験を受験することができません。

- - - テキスト - - -

使用しません。配布資料をMoodle上にアップロードします。各自でダウンロードまたは印刷して持参してください。

- - - 参考書 - - -

はじめて地理学 ISBN 9784860645298
あれもこれも地理学 ISBN 9784860646080
みわたす・つなげる人文地理学 ISBN 9784772281218
その他は適宜指示します。

- - - 履修上の留意点 - - -

授業内でMoodleを使用するため、ノートPCまたはタブレット端末、スマートフォンの持参が必要です。

履修にあたり、予備知識は特に要しませんが、一斉型の講義形式ながらも、思考や自学を促す場面を多く設定しています。人数の多い講義ですが、能動的・積極的な態度で受講してください。

日常のさまざまな場面が地理学的な考察につながります。講義内容を日常生活のあらゆる場面と関連させ、興味のあることを自ら深めるようにしてください。

履修にあたって合理的配慮が必要な場合は、あらかじめ障がい学生支援センターに相談・申請してください。

出席登録後の退室や代理出席登録（いわゆる「ピ逃げ」や代返）は実態なき出席であり、出席に関する公的記録を欺く重大な不正行為です。試験やレポートなどにあたって生成AIを利用または大きく依拠することも重大な不正行為です。厳正に対応します。

- - - 授業計画 - - -

オリエンテーションと本講義の理念（スタートアップ授業）

地理学の基礎

「衣」の地理学

「食」の地理学

「住」の地理学

地域におけるアート1

地域におけるアート2

地域におけるアート3

前半の振り返り（試験と解説）

動物と人間の関係1

動物と人間の関係2

植物と人間の関係1

植物と人間の関係2

地域環境の保全

後半の振り返り（試験と解説）・授業アンケート

FURIKAの実施

内容は進度などにより変更する場合があります

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
(<https://fukuoka-u.box.com/s/yi5rf9d2uxn73qqv9lokh1yj8v8dif4r>)

片岡 宜行

期別：通年 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し
授業時間割：通年：金・5時限 試験時間割：定期試験なし

- - - 概要 - - -

この授業では、ドイツ語の基礎的な文法を学びながら聞き取りと会話の練習を行い、ドイツ語で簡単な会話ができるようになることをめざします。易しい文から少しずつ学んでいくので、英語に苦手意識がある人も不安に思う必要はありません。異なる文化に属する人々と心を通わせ、異文化を理解するには、互いの言葉を学ぶことが必要不可欠です。しっかり勉強して、ぜひ旅先で学んだ表現を使ってみましょう。

外国語の運用力を身につけることは、言葉への理解を深める出発点にもなります。ドイツ語は英語ととても近い関係にある言語で、ドイツ語を学ぶことで英語の特徴がよく見えてきます。また、母語を再認識し、母語の運用力を高めるという効果もあります。さらに、ドイツ語学習を通して新しい知識や技能を着実に習得するスキルを身につけておけば、将来どんな場面でも役に立ちます。

この授業では、ドイツに関わる様々なテーマについて簡単な調査を行い発表してもらい、討論を行うことも予定しています。発表や討論は、教科書各課の「プロジェクト活動（Projektarbeit）」を扱う際に行いますが、テーマは受講者の皆さんの関心に基づいて選択することもあります。授業後には発表と討論の成果を簡単にまとめてもらいます。受講者相互で発表しあい、楽しく知識を深めていきましょう。

- - - 授業の進行・方法 - - -

この授業は、知識の習得を授業前に済ませ、その知識を用いた活動（会話練習など）を授業時に行う反転授業の形で行います。また、発表や討論を通じて受講者がともに学ぶ機会を設けます。

- - - アクティブ・ラーニング - - -

はい / Yes

- - - 到達目標 - - -

- (1) 学んだドイツ語の知識を活用し、簡単な聞き取りと会話ができる(DP1-2)(技能)
- (2) 新しい知識や技能を積極的に習得する姿勢を持っている(DP1-2)(態度・志向性)
- (3) ドイツ語圏の文化・社会に関する特定のテーマについて説明できる(DP2-2)(知識・理解)
- (4) 発表や討論に積極的に取り組み、共同での学習に貢献することができる(DP4-2)(技能)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：教科書の文章を読み、文章中の語句の意味を調べる。また、発表を行う授業の前にはその準備を行う。(45分)

復習：授業で学んだ表現を繰り返し口頭で練習し、知識を定着させる。また、発表と討論を行った際には、その成果をまとめる。(45分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

本授業は、各到達目標の達成度を基準として、下記の方法と割合により成績評価します。

授業期間内テスト：50%（到達目標：1、2）

平常点（予習・復習への取り組み、授業での発表や討論への積極的な参加）：50%（到達目標：1、2、3、4）

このクラスは定期試験期間中に試験を実施しません。よって再試験も実施しませんので注意してください。

- - - テキスト - - -

[Title] 『ドイツ語の時間 わくわくライブツィヒ』
[Author(s)] 清野智昭
[Publisher] 朝日出版社
[ISBN] 978-4-255-25460-9
「ドイツ語IA」と共通

教科書のサンプル動画はこちら

- - - 履修上の留意点 - - -

段階的に学習するため、授業に出席することが重要です。また、授業時間外の学習に着実に取り組んでください。辞書を購入する必要はありません。

- - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション（スタートアップ授業）
2. あいさつ表現など
3. 第1課 場面1（ライブツィヒ中央駅）
4. 第1課 場面2（まだライブツィヒ中央駅）
5. 第1課 プロジェクト活動（ヨーロッパの都市）
6. 第2課 場面1（まだまだライブツィヒ中央駅）
7. 第2課 場面2（シューベルト家）
8. 第2課 プロジェクト活動（部屋の名称）
9. 第3課 場面1（市場で）
10. 第3課 場面2（焼きソーセージ・インピスの前で）
11. 第3課 プロジェクト活動（レシピを読む）
12. 第4課 場面1（私の日常）
13. 第4課 場面2（ローゼンタールでのジョギング）
14. 第4課 プロジェクト活動（天気）
15. 授業期間内テスト1
16. 前期の復習（中間フォローアップ授業）
17. 第5課 場面1（動物園で）
18. 第5課 場面2（学生食堂で）
19. 第5課 プロジェクト活動（動物園）
20. 第6課 場面1（諸国民戦争記念碑）
21. 第6課 場面2（診療所で）
22. 第7課 場面1（ブティックで）
23. 第7課 場面2（アウアーバッハス・ケラー）
24. 第7課 プロジェクト活動（モードと衣料）
25. 第8課 場面1（ワインテイスティング）
26. 第8課 場面2（中庭で）
27. 第9課 場面1（トーマス教会で）
28. 第9課 場面2（旧国家保安省博物館前）
29. 第9課 プロジェクト活動（ドイツの歴史）
30. 授業期間内テスト2、授業アンケートFURIKA実施

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/5kgeh5r9bgaotrnrwhktsxzwzbaj6towx>)